

2024 年度

補足資料



玉昌会グループ

医療法人玉昌会／社会福祉法人幸友会／株式会社JOY

目 次

【医療法人玉昌会 法人活動】

外部役員・嘱託講師	2
派遣・ボランティア	5
トピックス	6
新聞掲載・マスコミ報道	15
業績一覧	21
人事	28

【加治木温泉病院】

院長よりご挨拶	31
運営方針	33
沿 革	34
概 要	36
統 計	38
委員会	50
地域ハブ・リハビリテーション広域支援センター事業	52
学術活動 院内研修	53
実習受入れ	56

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル】

院長よりご挨拶	59
運営方針	61
沿 革	62
概 要	64
統 計	66
委員会	79
学術活動 院内研修	81
実習受入れ	83

【JOY メディカルクリニック

／介護医療院おはな】

院長よりご挨拶	85
運営方針・沿 革	86
概 要	87
統 計	88
委員会	93

【在宅事業】

概 要	95
学術活動 院内研修	96

【社会福祉法人 幸友会】

理念・保育目標	98
組織図・沿革	99
概要	100
職員研修	101
主な年間行事	102

【株式会社 JOY】

代表よりご挨拶	104
経営理念・行動指針	105
事業内容・組織図	106
各事業所の概要	107
トピックス	108

医療法人 玉昌会

法人活動

外部役員・嘱託講師（2024年度）

関連機関名	役職	担当者
日本医療経営実践協会	九州支部理事南九州支局長	高田 昌実
NPO法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード	理事／鹿児島支部長	高田 昌実
鹿児島県透析医会	会長	萩原 隆二
鹿児島県慢性期医療協会	監事	萩原 隆二
鹿児島県慢性腎臓病（CKD）対策協議会	委員	萩原 隆二
鹿児島県移植医療アイバンク推進協会	理事	萩原 隆二
日本外科学会	特別会員	夏越 祥次
日本消化器外科学会	名誉会長、名誉会員	夏越 祥次
日本食道学会	名誉会員	夏越 祥次
日本胸部外科学会	特別会員	夏越 祥次
日本胃癌学会	特別会員	夏越 祥次
日本癌治療学会	功労会員	夏越 祥次
日本臨床外科学会	評議員	夏越 祥次
日本消化器癌発生学会	名誉会員	夏越 祥次
日本リンパ学会	常任理事、編集委員	夏越 祥次
胃外科術後障害研究会	名誉会員	夏越 祥次
手術手技研究会	監事	夏越 祥次
日本SNNS研究会	世話人	夏越 祥次
臨床解剖研究会	世話人	夏越 祥次
食道胃外科フォーラム	世話人	夏越 祥次
NPO法人国際食道疾患会議	理事	夏越 祥次
Digestive Surgery	Associate Editor	夏越 祥次
Japanese Journal of Lymphology	Editorial Board	夏越 祥次
鹿児島県地域医師育成	特別顧問	夏越 祥次
メディポリス医学研究所	理事	夏越 祥次
始良地区地域医療構想調整会議	委員	夏越 祥次
鹿児島県地域医療対策協議会	委員	夏越 祥次
鹿児島大学病院地域医療センター運営協議会	委員	夏越 祥次
地域枠制度の今後のあり方についてのWG	委員	夏越 祥次
日本蛍光ガイド手術研究会	世話人	夏越 祥次
日本がん転移学会	名誉会員	夏越 祥次
日本胸部外科学会九州地方会	名誉会員	夏越 祥次
日本大腸肛門病学会九州支部	幹事	夏越 祥次
日本癌局所療法研究会	特別会員	夏越 祥次
九州内視鏡・ロボット外科手術研究会	名誉会員	夏越 祥次
京都大学臨床研究審査委員会	技術専門員	夏越 祥次
始良訪看ステーション・在宅医療委員会	委員	夏越 祥次
始良伊佐地域MC協議会ワーキング部会	委員	夏越 祥次
始良市立加治木中学校	学校医	折田 悟
医療法人 大徳会 桜ヶ丘病院とその関連施設	産業医	有馬 卓志
株式会社 アクシーズ	産業医	有馬 卓志
鹿児島大学医学部	臨床教授	三好 逸男
日本皮膚免疫アレルギー学会	評議員	三好 逸男
鹿児島大学水産学部	非常勤講師	福崎 誠

外部役員・嘱託講師（2024年度）

関連機関名	役職	担当者
鹿児島船員労働安全衛生協議会	船員法指定医	福崎 誠
日本性機能学会	評議員	内田 洋介
日本思春期学会	理 事	内田 洋介
日本性科学会第39回学術集会	会 長	内田 洋介
鹿児島大学医学部	非常勤講師	内田 洋介
鹿児島県医療法人協会立看護専門学校	非常勤講師	内田 洋介
神村学園専修学校	非常勤講師	内田 洋介
神村学園高等部	非常勤講師	内田 洋介
鳳凰高等学校	非常勤講師	内田 洋介
鹿児島県立蒲生高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島県立伊佐農林高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島市立鹿児島商業高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島県立楠隼中学校	講 師	内田 洋介
鹿児島市立長田中学校	講 師	内田 洋介
始良市立山田中学校	講 師	内田 洋介
大村報徳学園	講 師	内田 洋介
始良市立加治木中学校	学校薬剤師	中村 真之
始良市立加治木小学校	学校薬剤師	中村 真之
錦江幼稚園	学校薬剤師	中村 真之
鹿児島県病院薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区学校保健会	副会長	中村 真之
始良市学校保健会	副会長	中村 真之
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	中村 真之
始良市成年後見利用促進協議会	委 員	渡辺 純子
鹿児島県理学療法士協会	代議員	大迫 尚仁
鹿児島市介護認定審査会	委 員	大迫 尚仁
荒田校区社会福祉協議会	福祉委員	大迫 尚仁
鹿児島県理学療法士協会	臨床教育支援部 部長	増山 泰英
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	増山 泰英
鹿児島県理学療法士協会	編集部長	原口 拓人
鹿児島県理学療法士協会	編集部 委員	吉村 優希
鹿児島県理学療法士協会	編集部 委員	本村 楓
鹿児島県理学療法士協会	始良地区 委員	畠中 博史
鹿児島県理学療法士協会	始良地区 委員	岩切 はるか
鹿児島県臨床工学技士会 災害対策委員会	委 員	梅橋 直史
鹿児島県言語聴覚士会	会 長	原口 友子
日本言語聴覚士協会	代議員	原口 友子
鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会	副会長	原口 友子
鹿児島県災害リハビリテーション推進協議会（KJ R A T）	世話人	原口 友子
鹿児島リハビリテーション医学研究会	世話人	原口 友子
鹿児島高次脳機能研究会	世話人	原口 友子
鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会	世話人	原口 友子
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	原口 友子

外部役員・嘱託講師（2024年度）

関連機関名	役職	担当者
鹿児島医療技術専門学校	非常勤講師	原口 友子
志學館大学	非常勤講師	原口 友子
第13回日本語聴覚士協会九州合同学術集会鹿児島大会	大会長	原口 友子
日本慢性期リハビリテーション学会	病後委員会 委員	原口 友子
日本高次脳機能学会	代議員	有川 瑛人
認知リハビリテーション研究会	世話人	有川 瑛人
鹿児島県言語聴覚士会	理 事	有川 瑛人
志學館大学	非常勤講師	有川 瑛人
鹿児島医療技術専門学校	非常勤講師	有川 瑛人
第13回日本語聴覚士協会九州合同学術集会鹿児島大会	実行委員	有川 瑛人
始良市自立支援協議会	こども部会 部員	原 有希
始良市教育支援委員会	委 員	小崎 由果
鹿児島県作業療法士協会	代議員	藤本 皓也
宮崎保健福祉専門学校	非常勤講師	藤本 皓也
鹿児島県言語聴覚士会	理 事	末吉 孝行
霧島・始良地区放射線技師会	学術担当世話人	川原 翔太
AMI株式会社	アドバイザー	川原 翔太
看護協会始良伊佐地区医療安全ネットワーク	委 員	池田 かおり
看護協会鹿児島地区医療安全ネットワーク情報交換会	委 員	成枝 真紀
始良市防火協会	理 事	山元 直子
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 まちづくり・環境部会	代議員	飯伏 真一
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 健康福祉部会	代議員	鈴木 淑子
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 連携パスMSW小委員会	委 員	尾ノ上 正実
日本年金機構 鹿児島北年金事務所	年金委員	西田 寿子
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	西田 寿子
鹿児島北社会保険委員会	幹 事	西田 寿子
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	佐藤 鳴美
鹿児島県整形外科地域連携研究会	委 員	南 加奈
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会	理 事	南 加奈
鹿児島県看護協会（鹿児島地区）	教育委員	吉富 妙子
鹿児島純心女子短期大学	外部評価委員	二宮 尚代
鹿児島県整形外科地域連携研究会	委 員	池田 大知
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会	理 事	中野 麻由
公益社団法人 鹿児島県看護協会	令和6年度 選挙管理委員	藤井 みゆき
鹿児島大学 稲盛アカデミー	世話人	菊池 博之
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 健康福祉部会	代議員	菊池 博之

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル】

- 荒田校区 sy 会福祉協議会 子育てサロン 3名
2024年5月15日
- NPO 法人鹿腎協通常総会 救護班 2名
2024年6月16日
- キラメキ健幸ひろば『フレイル予防』 6名
2024年6月29日
- エコテラス夏祭り 看護師お仕事体験 6名
2024年8月24日
- まちの保健室（第42回看護展） 1名
2024年9月1日
- 鹿児島商工会議所健康教室『気軽にできるエクササイズ』 2名
2024年10月3日
- キャリア教育講話『職業人に学ぶ』宇検村立名柄中学校 オンライン 1名
2025年1月24日

【加治木温泉病院】

- 障がい者支援施設さちかぜ 普通救命講習 1名
2024年7月11日
- 始良市水道事業部 上級救命講習 1名
2024年7月20日
- 始良市消防本部 普通救命講習 1名
2024年8月4日
- エコテラス夏祭り 看護師お仕事体験 2名
2024年8月24日
- 十島村運動機能向上教室（口之島） 1名
2024年9月10日
- 十島村運動機能向上教室（宝島） 1名
2024年11月5日
- 十島村一体的実施フォローアップ（宝島） 1名
2025年2月21日
- 地域リハビリテーション広域支援センター
始良市、霧島市、湧水町へ派遣 延べ164名
2024年度

2024 年度 玉昌会トピックス

➤ 4 月

【玉昌会グループ入社式】



新しく玉昌会グループの仲間になる新入職者 37 名の入社式を開催しました。

【技能実習生 2 名が入職】



ベトナムより技能実習生 2 名が入職されました。
3 年間介護を勉強されます。

➤ 5 月

【ヒューマンライフライン協議会～ミライヲテラス～を発足しました】



公益社団法人昭和会、南国ホテルズ株式会社、医療法人玉昌会は、地域の課題解決や連携を強化し、住みよいまちづくりの実現に向け、5 月 1 日、「ヒューマンライフライン協議会～ミライヲテラス～」を発足しました。

【両病院広報誌をリニューアル】



広報誌読者の皆様により良い情報提供を目指し、2024 年 5 月発行分から広報誌をリニューアルしました。

【加治木温泉病院 沖縄美ら海水族館 遠隔授業】



沖縄美ら海水族館でジンベエザメ「ジンタ」が飼育年数 30 年になることを記念し、等身大タペストリー全国リレー企画で巡って加治木温泉病院にて展示をしました。特別企画として水族館と繋ぎ、当院ご利用のお子様を対象に海の世界について「特別遠隔授業」を実施しました。

➤ 6 月

【玉昌会グループ Global Wellness Day イベント開催】



ウェルネスアクションに役立つイベントを始良市 WellBe Club と鹿児島市キラメキテラスヘルスケアホスピタルにて開催しました。

【第 12 回玉昌会グループ学会 2024 を開催】



第 12 回玉昌会グループ学会 2024 を、ホテルウェルビューかごしまにて開催しました。会場にて参加者を入れての開催としては 5 年振りとなり、多くの方々にご参加いただきました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 「病院機能評価 3rdG:Ver. 3.0」へ認定更新】



キラメキテラスヘルスケアホスピタルは、2024 年 6 月 7 日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構より「機能種別版評価項目 3rdG:Ver. 3.0（主たる機能：慢性期病院、副機能：リハビリテーション病院）」を認定されました。

➤ 7月

【荒田校区コミュニティ協議会×ヒューマンライフライン協議会 包括連携協定締結式】



地域の多様な課題の解決に向けて協力しようと、鹿児島市の荒田校区コミュニティ協議会と、公益社団法人昭和会・南国ホテルズ株式会社・医療法人玉昌会で作るヒューマンライフライン協議会～ミライヲテラス～が「包括連携協定」を締結しました。

【海外企業家視察団体がキラメキテラスを視察】



中国、台湾、アメリカからの企業家たちが組織する視察団体が、医療・住居・商業の三つの要素を組み合わせた一体型のコミュニティを提供する複合施設キラメキテラスに強い関心を示し、視察されました。

➤ 8月

【センテラス天文館「エコテラス夏まつり」お仕事体験ブースを出展】



玉昌会看護部合同で参加し、“看護師さんのお仕事体験ブース”を出展しました。2日間で約400名の子供たちが実際の医療のお仕事の体験しました。

➤ 9月

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル KKB 鹿児島放送より取材を受けました】



鹿児島大学農学部 渡部由香准教授が下水処理水を有効活用した野菜栽培でカリウム含有量が減少することが判明したという研究結果の発表を受け、透析患者に有効ではないかという事で、鹿児島県透析医会会長 萩原名誉院長と栄養室へ取材依頼がありました。

【加治木温泉病院 鹿児島県で初めて病院機能評価「高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）」認定】



加治木温泉病院が鹿児島県で初めて、回復期リハビリテーション病棟の機能において、より充実した高水準のリハビリテーションを維持している病院として、公益財団法人日本医療機能評価機構から「高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）」の認定を受けました。

➤ 10月

【玉昌会グループ 健康増進委員会主催 ウェルネスフェスタ 2024～輪～ 開催】



玉昌会グループ全職員（職員家族を含む）を対象に、「運動による職員の健康づくり」や、「職員同士のコミュニケーション活性」などを目的とし、玉昌会グループの「輪」を広げていくために本イベントが開催されました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 式典に瑠子女王殿下のご臨席を賜りました】



NPO 法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会 の名誉総裁であられる三笠宮家の瑠子女王殿下が、キラメキテラスヘルスケアホスピタルにて行われた式典（ヒアリングフレイル予防認定施設 認定式、玉昌会グループ及び NPO 法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会における包括連携協定 締結式）にご臨席を賜りました。

※写真は玉昌会 HP より引用

➤ 11 月

【ウェルネス MIRAI プロジェクト 「キッズホスピタル」開催】



WellBe Club の 7 周年イベントにて、子供たちが楽しみながら医療のお仕事体験ができる“ウェルネス MIRAI プロジェクト 「キッズホスピタル」”を開催しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル きら・キラ保育園の園児より感謝のプレゼント】



勤労感謝の日を前に、きら・キラ保育園の可愛い園児たちが、病院で働くスタッフに感謝のプレゼントを持ってきてくれました。

【荒田校区コミュニティ協議会・ヒューマンライフライン協議会 合同防災イベント開催】



包括連携協定を締結した荒田校区コミュニティ協議会とヒューマンライフ協議会は、地域住民の災害への備え、防災意識の向上を図るため、初の合同防災訓練を行いました。

【地域公開講座「未来社会をあなたとともに」を開催】



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学・教授 下堂 蕨先生を講師にお招きし、地域公開講座「未来社会をあなたとともに」を開催しました。

「脳卒中の予防とリハビリテーション 一健やかな老後を迎えるために」をテーマにご講義いただきました。

➤ 12月

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 「第7回鹿児島市景観まちづくり賞」建築部門受賞】



キラメキテラスヘルスケアホスピタルは、建築物として優れ、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えている建築物を表彰する「第7回鹿児島市景観まちづくり賞」建築部門を受賞し、下鶴 隆央 鹿児島市長より表彰状を授与されました。

➤ 1月

【エコアクション21 環境経営レポート大賞・九州にて「九州地方環境事務所長 特別賞」を受賞】



第17回 エコアクション21 環境経営レポート大賞・九州の表彰式が福岡にて開催され、医療法人玉昌会は「九州地方環境事務所長 特別賞」を受賞しました。

医療法人玉昌会は、グループ全体で環境活動に取り組んでまいります。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 令和6年度「未来を拓くキャリア教育推進事業」スタッフが講師として参加】



鹿児島県教育委員会と経済7団体の連携により、事業所から学校への講師を派遣する事業「未来を拓くキャリア教育推進事業」にて、当院リハビリテーション室スタッフ（理学療法士）への講演依頼を頂き、奄美大島にある宇検村立名柄小中学校の生徒の皆さんにオンライン講話を実施しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 日本医療福祉建築協会会員の皆様が見学されました】



医療・住居・商業の三つの要素を組み合わせた一体型のコミュニティを提供する複合施設キラメキテラス内の2つの病院見学に、全国各地から日本医療福祉建築協会（JIHa）会員の皆様が見学されました。

➤ 2月

【両地区 地域連携 NetWorks 情報交換会開催】



鹿児島地区・始良地区とも、同月に地域連携 NetWorks 情報交換会を開催しました。コロナ禍が明けて以降、両地区とも多くの連携機関との交流・情報交換が活発になっています。2024年度は両地区とも2回開催しています。

【介護医療院おはな 木田御神馬の施設訪問がありました】



木田御神馬の施設訪問があり、馬踊りの三味線と鉦太鼓の音に入所されている皆さん喜ばれていました。

【「BCP 大規模災害模擬訓練」を実施しました】



昨今の日向灘を震源とする地震を想定し、これに対する備えを強化するため、玉昌会グループ全施設にて「BCP 大規模災害模擬訓練」を実施しました

【加治木温泉病院 読売ムック「病院の実力 2025」取材を受けました】



リハビリテーション科 有馬美智子医師が、“回復期リハビリテーション病棟の最前線”というテーマで、2月発売の読売ムック「病院の実力 2025」の取材を受けました。

➤ 3月

【健康経営優良法人 2025 に認定】

医療法人玉昌会・社会福祉法人幸友会・株式会社 JOY が、健康経営優良法人 2025 として認定されました。

- 医療法人玉昌会

健康経営優良法人 2025 大規模法人部門（ホワイト 500） 2019 年以降 7 度目の認定



- 社会福祉法人幸友会・株式会社 JOY

健康経営優良法人 2025 中小規模法人部門（ネクストブライト 1000）



南日本新聞 2024年5月22日掲載

通院児らに遠隔授業 加治木で沖縄の水族館

※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。

新 本 新 2024年(令和6年)5月22日

「ジンタ」等身大タペストリーの前で記念撮影する子どもら
＝始良市の加治木温泉病院

始良市の加治木温泉病院で18日、沖縄美(ちゅ)ら海水族館の飼育員らによる特別遠隔授業があった。リハビリで通院する児童や病院職員の子どもら27人が、ジンベエザメなどの魚の生態について楽しく学んだ。

世界の水族館で最も長生きしている同館のジンベエザメ「ジンタ」が、来年3月に飼育30年になる記念イベントの一環で行われた。

飼育員はビデオ会議システム「ズーム」を使って、ジンベエザメは魚の仲間で、危険を感じると目を引つ込めることなどをクイズを交えながら教えた。全長9メートルのジンタに実際にえさをやるどころが映し出されると、大きな歓声が上が

通院児らに遠隔授業 加治木で沖縄の水族館



た。始良小学校1年の松元健君はクイズで全問正解。「楽しかった」と笑顔を見せた。ジンタの等身大タペストリーも展示され、子どもらは記念撮影していた。タペストリーは、全国9カ所の病院・特別支援学校12カ所を旅する予定。(豊島浩一)

南日本新聞 2024年7月9日掲載

キラメキテラス街区 3事業者協議会 荒田校区と協定へ

※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。



キラメキテラス街区

3事業者協議会

荒田校区と協定

災害時の相互支援へ

鹿児島市高麗町のキラメ

キテラス街区の3事業者でつくるヒューマンライフライン協議会（昭和会、玉昌会、南国ホテルズ）は2日、地元の荒田校区コミュニティ協議会と包括連携協定を締結した。写真。地域の福祉環境や防災活動の充実、災害時の相互支援を図る。

両協議会は、昨年からは健康教室やイベントを共同で開催してきた。締結を受け、11月末に合同の防災訓練を予定している。他にも地域課題解決に向けた支援や文化活動の充実など、多世代が住みよいまちの実現を目指す。

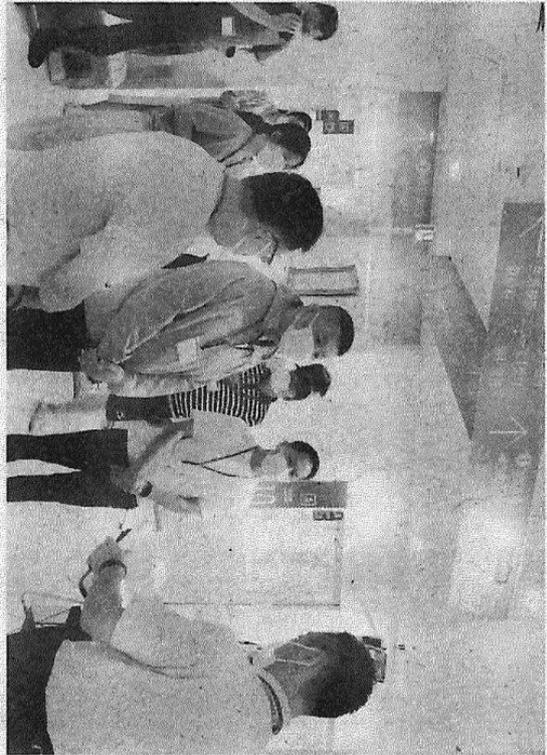
締結式で、荒田校区コミュニティ協議会の鮫島宗一郎会長は「健康、福祉、防
災などで互いに協力していきたい」とあいさつ。ヒューマンライフライン協議会の今給黎和幸会長は「県内には高齢化や人口減少などの課題がある。医療や介護に携わる私たちが支えるまちづくりが求められる」と話した。（児玉菜々子）

南日本新聞 2024年8月1日掲載

海外企業家ら

※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。

31日、鹿児島市
病院内を視察する海外の企業家ら



海外の企業家を中心とする視察団が31日、鹿児島市高麗町の複合施設「キヌメキナクス」を訪れた。中国や台湾、米国から37人が参加し、医療や住居、商業施設

海外企業家ら 街づくり学ぶ

設が一体となった街づくりに興味を示した。同施設は、総合病院やホテル、スパ、マンションといった6棟で構成する。施設の一つキヌメキナクスヘルスクアハウスピタルを運営する医療法人玉昌会の高田昌実理事長(69)は「今後高齢化で医療と介護の必要性が増すのを見据え、市民を守るための機能を一カ所に備えた新しい事例」と説明した。日本の先進事例を紹介するツアーの一環で、同日は病院を中心に視察した。清華大学建築学院(中国)の李樹華教授(61)は「病院やホテルも一緒になって街をつくるという構想に驚いた。世界に広げたい」と話した。(池袋陽香)

南日本新聞 2024年12月17日掲載

リハビリに対話支援機器

※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。

鹿児島市のキラメキテラスヘルスケアホスピタルは、聴力の低下による心身の衰え「ヒアリングフレイル」の予防や知識の普及啓発に取り組む。同病院リハビリテーション室が10月、NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会（東京）のヒアリングフレイル予防認定施設の第1号に認定された。

2018年に高齢者が聴き取りにくい高周波音域をクリアにする対話支援

リハビリに対話支援機器

キラメキテラス(鹿児島市)

対話支援スピーカーを使っての機能訓練



機器（スピーカー）を受付窓口に設置し、リハビリ室にも導入した。難聴高齢者

が療法士の指示を聴き取りやすくなり、療法士も声を上げて指示を繰り返すなどの負担が減ったという。

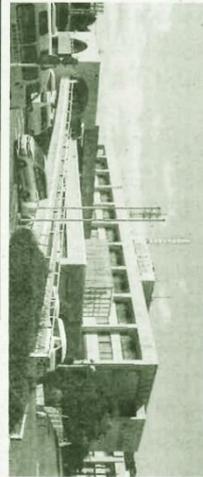
現在は各病棟に配置し、歩行訓練や小児の聴覚リハビリにも活用。難聴が疑われる患者は入院時に聴力検査をしている。平川智士技士長は「認知症リスクも高まる難聴の管理は重要。取り組みを広げ、健やかに暮らせる地域づくりにつなげたい」と話す。

毎日新聞 2024年12月25日掲載

理事長寄稿

※掲載使用について広告代理店確認済み。

安心な地域医療をめざして



医療法人 玉昌会
加治木温泉病院

鹿児島県始良市加治木町木田4714

TEL:0995-62-0001

FAX:0995-62-3778

玉昌会グループは、基本理念の「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです」並びに「低賞感微」の行動指針の下で、職員の心身共に健康な活動を目的とする健康経営を法人経営の根幹に置き、2019年から6年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」の認定を受けました。鹿児島市で、2021年2月に開院した198床のキヌメキテラスヘルスケアアスビスタルは146床の回復期機能を中心に、慢性期にも対応する病院へ進化しました。

隣接する高度急性期医療を担う「昭和会 いまきいれ総合病院」とはアトリアム(通路)で物理的に繋がるといふ日本初の試みを通して、2つの病院が連携し、チーム医療・介護の総合的医療・介護サービス機能向上に取り組み、安全安心な街づくりに貢献しています。

始良市では、230床の加治木温泉病院とJOYメダイカルクリニック並びに120床の介護医療院を運営し、始良市の地域包括ケアシステムを支える水平分業型の地域完結型医療介護システムの構築に向けて「JOYタウン計画」の準備を進めています。

加治木温泉病院は2024年9月に公益財団法人日本医療機能評価機構から、回復期リハビリテーション病棟機能の「高度・専門機能リハビリテーション(回復期)」の認定を鹿児島県で初めて受けました。又12月に急性期一般入院科6の病棟を開設し、地域に必要とされる高齢者救急を担う急性期、回復期、慢性期、介護医療院を持つ医療と介護サービスをシームレスに提供できる病院に進化いたしました。今後も皆様と共に合理的配慮の下、地域共生社会に必要とされる全世代のヘルスケアに対応する、新しい医療概念の「病氣も治し社会と生活を支える、医療・介護・障害福祉サービスと生活支援サービスを総合的に提供できる体制」の構築を目指し、将来予想される多様な大規模災害等にも備え、事業を継続し地域と社会に貢献していきたいと考えております。何卒皆様方には今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



高田 昌実 理事長

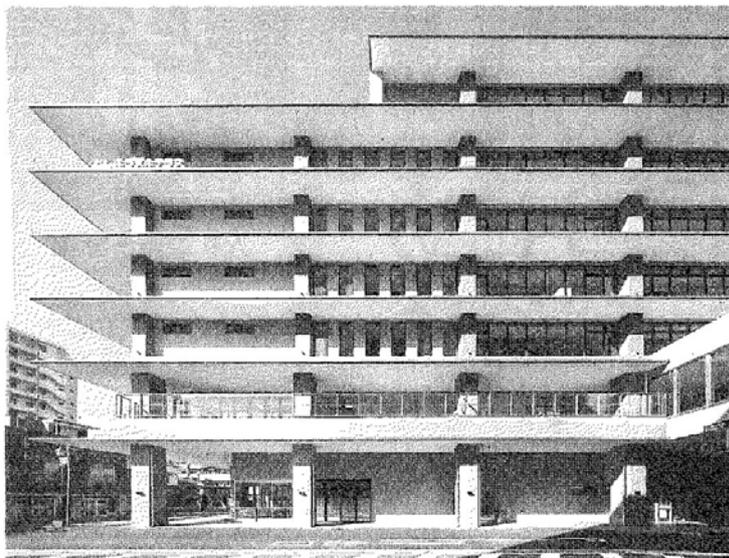
鹿児島建設新聞 2025年2月25日掲載

鹿児島市・景観まちづくり賞 建築部門

※クレジット表記で掲載可能確認済み。

鹿市・景観まちづくり賞①

建築部門



名称 キラメキテラスヘルスケアホスピタル
用途 病院
所在地 高麗町43-30
建物規模 R C造一部S造9671.57㎡
建築主 医療法人玉昌会
キラメキテラスヘルスケアホスピタル
設計者 三菱地所設計
施工者 松尾建設

キラメキテラス
ヘルスケアホスピタル

軒の深い庇の重なりが施設の外観を形成する。鹿児島の厳しい日射に対応するだけでなく、7層にも積み重なる水平線は、抑制された色使いとともに、周囲の建物とは異なる控えめながらも印象的な表情を建物に与えている。

内部に関しては、南北に長い病棟を三つのブロックに分けたゾーニングが、院内で過ごす患者への配慮などを感じさせる。景観まちづくりの観点からは、街区全体の印象も重要。運用ルールも含めたキラメキテラスの全体性獲得に期待が寄せられる。

学会発表

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: 食道癌BR症例 (T3br) に対する治療戦略 (特別発言). 第124回日本外科学会定期学術集会 (パネルディスカッション), 名古屋, 4月19日, 2024.
2. 小川耕平, 窪田正大, 藤本皓也, 飯山春樹, 岩城優, 原村恵奈, 夏越祥次: ロボット療法が上肢片麻痺と注意障害に改善をもたらした生活期脳卒中患者一症例. 第39回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 4月26日, 2024.
3. 有川瑛人, 徳田祐介, 原口友子, 窪田正大: 書字過多を伴う超皮質性失語. 第39回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 4月26日, 2024.
4. 夏越祥次: 癌病態の核心に迫る ~癌と腸内細菌の関わり~ (特別発言) 第33回日本癌病態治療研究会 (シンポジウム) 唐津市, 5月16日, 2024.
5. 中西祐介, 梅橋直史, 川原翔太, 小川晋平: ワイヤレス心音図検査装置 (AMI-SSS01-W) を使用した透析中患者の心音変化のモニタリング. 第69回日本透析医学会学術集会総会, パシフィコ横浜, 6月7日, 2024.
6. 川原翔太, 梅橋直史, 中西祐介, 小川晋平, 夏越祥次, 高田昌実: 心音図検査の有用性. 第69回日本透析医学会学術集会総会, パシフィコ横浜, 6月7日, 2024.
7. 岩城優, 川平和美, 藤本皓也: 上腕骨近位端骨折後の拘縮に対し, 肩関節訓練装置 AR2 を用いたリーチング訓練を実施した 1 例. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 6月13日, 2024.
8. 亀川桃歌, 有川瑛人, 原口友子, 津田哲也: 左頭頂葉病変による漢字失書例の書字訓練—漢字要素の構成課題は形態の想起を促進するか—. 第25回日本言語聴覚学会, 神戸市, 6月21日, 2024.
9. 夏越祥次: 高齢者消化器癌症例に対する術式選択と周術期化学療法 (特別発言). 第79回日本消化器外科学会総会 (横断的企画), 下関市, 7月18日, 2024.
10. 有川瑛人, 原口友子, 窪田正大, 船山道隆: 超皮質性失語例が呈した書字過多—Externally triggered hypergraphia after frontal damage—. 第48回日本神経心理学会, 京都市, 9月6日, 2024.
11. 池亀美羽, 窪田正大, 藤本皓也, 小川耕平, 岩城優, 有馬美智子: 認知症のある重度片麻痺に対してロボット療法を用いた1症例. 第33回鹿児島作業療学会, 鹿児島市, 9月7日, 2024.
12. 川原翔太, 磯邊拓哉, 久保尚美, 永田舞, 中村美邪日, 佐藤鳴美, 小川晋平, 夏越祥次, 高田昌実: 潜在的な心雑音・心不全の実態把握. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術集会, パシフィコ横浜, 9月7日, 2024.
13. 川野敬太, 井手祐輔, 今村香織, 内村隼秀, 上奥誠, 山元直子, 高田昌実, 夏越祥次: 電子力

- ルテアプリを利用した未収金回収システムの構築. 第65回全日本病院学会, 京都府, 9月28日～29日, 2024.
14. 有川瑛人, 原口友子, 飯干紀代子: 復唱時に多彩な錯語が出現する深層失語1例の障害メカニズム. 第34回認知リハビリテーション研究会, 東京, 10月5日, 2024.
 15. 佐々木翔健, 吉村優希, 原口徹郎, 木山良二, 有馬美智子: 慣性センサーを用いた歩行指標と歩行自立度の関連. 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 東京, 10月12日, 2024.
 16. 徳永慎也, 中川原勇太郎, 川平和美, 木山良二, 川路幸仁: 腰部痛を呈した脊椎圧迫骨折患者に対するTENSの効果. 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 東京, 10月13日, 2024.
 17. 有川瑛人, 原口友子, 窪田正大, 大濱倫太郎: Motorneurondiseaseを伴うprimaryprogressiveaphasiaの発話特徴—発話失行の観点に基づく分析—. 第48回日本高次脳機能学会, 東京, 11月8日, 2024.
 18. 小川耕平, 窪田正大, 藤本皓也, 鮫島亮子, 吉田絢美, 夏越祥次: 高次脳機能障害を合併した生活期脳卒中患者に対するロボット療法の上肢片麻痺への有用性について. 第58回日本作業療法学会, 札幌市, 11月9日, 2024.
 19. 内村尚憲, 南加奈, 山之上清子, 橋元亮祐, 西田都, 立石直樹, 小湊裕一, 渡辺純子, 夏越祥次, 高田昌実: 退院支援強化に向けた後方連携促進の試み. 第32回慢性期医療学会, 神奈川県, 11月14～15日, 2024.
 20. 英加那子, 福村真奈美, 堂森めぐみ, 藤井みゆき, 穂満博文, 夏越祥次, 高田昌実: ピクトグラムを用いた介護、看護、リハビリの連携. 第32回日本慢性期医療学会, 横浜市, 11月14～15日, 2024.
 21. 中西祐介: COVID19感染による手術延期で腹膜透析(PD)から血液透析(HD)への切り替えを回避できた一例. 第30回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 福岡国際会議場, 11月16～17日, 2024.
 22. 梅橋直史, 岩井田良介, 横山望貴, 長井匠, 緒方篤史, 今泉航洋, 米澤強, 中西祐介, 穂満博文, 夏越祥次: AVG造設後、早期にステントグラフト留置を行いVAIVT間隔が延長した2症例. 第19回九州・沖縄臨床工学会, 鹿児島, 1月18～19日, 2025.
 23. 梅橋直史: 災害時支援物資センター ～役割と開設に向けて～. 第19回九州・沖縄臨床工学会, 鹿児島, 1月18～19日, 2025.
 24. 平田拓朗, 佐々木翔健, 原口徹郎, 米山拓, 木山良二: 脳梗塞発症後に意識レベルの低下を呈した症例に対する装具療法の実践. 第38回鹿児島県理学療法士学会, 鹿児島市, 2月9日, 2025.
 25. 山下のぞみ, 原口久未子, 南加奈, 野間広大, 藤本皓也, 藤井みゆき, 有馬美智子, 夏越祥次,

高田昌実:退院前訪問に看護師が同行することで退院後の生活に合わせた支援が行えた1例.回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会in札幌, 2月21日, 2025

26. 有川瑛人, 原口友子, 増山泰英, 川原翔太, 米山拓, 夏越祥次, 高田昌実, 窪田昌行, 馬場園明:「高度・専門機能:リハビリテーション(回復期)」認定に向けた取り組みと今後の課題.第15回医療経営マーケティング研究会, Web, 3月8日, 2025.
27. 堂森めぐみ, 満山まどか, 辰元麻美, 徳満ふみ, 藤井みゆき, 中西祐介, 穂満博文, 夏越祥次, 高田昌実:片麻痺患者への腎臓リハビリテーションを試みて.第15回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 横浜市, 3月15~16日. 2025.

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

1. 大迫尚仁, 丸山元大, 徳田菜々子, 平嶋佑太郎, 平川智士, 上村章, 高田昌実:ICTを活用し,訪問リハビリテーションのDXを目指した取り組み.第24回日本リハビリテーション協会学術大会, 山形市, 6月1日, 2024.
2. 五十峯かずみ, 平川智士, 大迫尚仁, 上村章, 高田昌実:腰痛予防の取り組みについて~腰痛実態調査の実施.第8回日本予防理学療法学会, 福島市, 6月1日, 2024.
3. 有馬美奈子, 平川智士, 上村章, 田島紘己, 川平和美, 高田昌実:促通反復療法と振動・電気刺激療法を併用して関節可動域と浮腫が改善した左橈骨尺骨遠位端骨折・肘関節脱臼の一例.第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京都, 6月14日, 2024年.
4. 三好逸男:今でも流行している疥癬.第197回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 鹿児島大学医学部, 6月30日, 2024.
5. 有蘭千裕, 大迫尚仁, 平川智士, 堀ノ内啓介, 上村章, 高田昌実:リハビリテーションにおける動画活用の工夫.第2回リハビリテーションDX研究会学術集会, 千葉市, 7月14日, 2024.
6. 福留大輔, 井料健勝, 道場大介, 大迫尚仁, 平川智士, 堀ノ内啓介, 上村章, 高田昌実:Facetime・咽喉マイクを活用した遠隔嚙下評価の取り組み~ICTを用いて在宅サービス利用者の再入院〇を目指して~.第2回リハビリテーションDX研究会学術集会, 千葉市, 7月14日, 2024.
7. 東畑耕平, 海陸優貴, 野平光輝, 福山拓明, 大迫尚仁, 小牧むつみ, 萩元由美, 平川智士, 上村章, 高田昌実:多職種協働で取り組む歩行自立度評価の検者間信頼性の検証.第65回全日本病院学会, 京都市, 9月29日, 2024.
8. 米倉拓哉, 福留大輔, 大迫尚仁, 平川智士, 堀ノ内啓介, 上村章, 高田昌実:嚙下造影検査に市販食品を用いることで業務効率化を図った取り組み.第65回全日本病院学会, 京都市, 9月29日, 2024.
9. 中村優奈, 森田はつみ, 奥村由香里, 梶原由香, 美野汐里, 萩原理美, 上村章, 高田昌実:上

業績一覧

部内視鏡検査におけるアイスドロップ咽頭麻酔法を試みて. 第65回全日本病院学会, 京都府, 9月28日～29日, 2024.

10. 田島紘己, 三反田美保, 宮口光太, 大迫尚仁, 熊迫健綱, 上村章, 濱崎秀一, 今給黎和幸, 高田昌実: キラメキテラス移転後3年間の実績と比較. 第65回全日本病院学会, 京都府, 9月28日～29日, 2024.
11. 田島紘己, 宮口光太, 中野麻由, 熊迫健綱, 上村章, 濱崎秀一, 今給黎和幸, 高田昌実: キラメキテラス～室内連絡通路が繋ぐ新たな連携～. 第32回日本慢性期医療学会 併催 第12回慢性期リハビリテーション学会, 神奈川県, 11月14～16日, 2024.
12. 宮口光太, 濱上芳廣, 熊迫健綱, 上村章, 高田昌実: 当院の環境経営活動について～持続可能な社会の実現に向けて～. 第32回日本慢性期医療学会 併催 第12回慢性期リハビリテーション学会, 神奈川県, 11月14～16日, 2024.
13. 堂免知弘, 持留敬子, 竹下裕子, 菊池博之, 米澤傑, 上村章, 高田昌実: 健診による紙の使用削減「リデュース」活動—ペーパーレス化に向けての第一歩—. 第32回日本慢性期医療学会 併催 第12回慢性期リハビリテーション学会, 神奈川県, 11月14～16日, 2024.
14. 岩城依央理, 大野仁美, 宮口光太, 迫里香, 西別府愛, 三反田美保, 西田寿子, 熊迫健綱, 上村章, 高田昌実: 中途採用障害者雇用への定着への取り組み. 第32回日本慢性期医療学会 併催 第12回慢性期リハビリテーション学会, 神奈川県, 11月14～16日, 2024.
15. 大迫尚仁, 松島広典, 渡辺純子, 田島紘己, 上村章, 高田昌実: 当院の地域包括ケアシステム構築に向けた地域活動について. 第32回日本慢性期医療学会, 横浜市, 11月15日, 2024.
16. 平川智士, 福山拓明, 海陸優輝, 野平光輝, 東畑耕平, 大迫尚仁, 上村章, 高田昌実: 当院独自の歩行自立度評価認定シート運用後のアクシデント発生状況の検証. 回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会In札幌, 札幌市, 2月22日, 2025.
17. 池田大知, 沖園綾, 尾ノ上正実, 中野麻由, 上村章: 回復期病棟実績の振り返り～ベッド稼働率向上のために必要なこと～. 回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会In札幌, 札幌市, 2月22日, 2025.
18. 藤本皓也, 小川耕平, 飯山春樹, 小川千穂, 原口友子, 夏越祥次: 当院での脳卒中上肢麻痺患者に対する上肢ロボット療法の取り組み. 第38回鹿児島リハビリテーション医学研究会, 鹿児島市, 3月1日, 2025.
19. 二宮尚代, 芝真樹, 廣津芳, 村上裕樹, 萩元由美, 福山拓明, 上村章, 高田昌実: 回復期病棟における栄養摂取が及ぼすADL向上の検証. 第44回食事療法学会, WEB開催, 3月7日, 2025.

■法人事務局

1. 山田春紀, 大迫尚仁, 堂免知弘, 中村真之, 田島紘己, 高田昌実, 窪田昌行, 馬場園明: 巡回

健診事業の構造改革に向けて－医療法人玉昌会の取組－. 第15回医療福祉経営マーケティング研究会学術集会, WEB開催, 3月8日, 2025.

論文掲載

■加治木温泉病院

1. 有川瑛人, 徳田祐介, 原口友子, 窪田正大: 書字過多を伴う超皮質性失語. 第39回鹿児島高次脳機能研究会19-24, 2024.
2. 小川耕平, 窪田正大, 藤本皓也, 飯山春樹, 岩城優, 原村恵奈, 夏越祥次: ロボット療法が上肢片麻痺と注意障害に改善をもたらした生活期脳卒中患者一症例. 第39回鹿児島高次脳機能研究会9-14, 2024.
3. 有川瑛人, 原口友子, 増山泰英, 川原翔太, 米山拓, 夏越祥次, 高田昌実, 窪田昌行, 馬場園明: 「高度・専門機能: リハビリテーション (回復期)」認定に向けた取り組みと今後の課題. 医療福祉経営マーケティング研究 19(1):23-29, 2024.
4. 有川瑛人, 亀川桃歌, 津田哲也: 左頭頂葉病変による失行性失書の障害メカニズム. 認知リハビリテーション 30:1-26, 2025.

■法人事務局

1. 山田春紀, 大迫尚仁, 堂免知弘, 中村真之, 田島紘己, 高田昌実, 窪田昌行, 馬場園明: 巡回健診事業の構造改革に向けて－医療法人玉昌会の取組－, 医療福祉経営マーケティング研究第19巻第1号, 2024.

講演

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: 地域枠新入生に期待すること 令和6年度地域枠新入生オリエンテーション 鹿児島市, 4月6日, 2024.
2. 有川瑛人: 根拠に基づく失語症の臨床－認知神経心理学的エッセンス. 一般社団法人鹿児島県言語聴覚士会主催 2024年度新人教育研修会, 鹿児島市, 9月21日, 2024.
3. 原口友子: 高度・専門機能 リハビリテーション (回復期) について. 地域公開講座「未来社会をあなたとともに」, 始良市, 11月30日, 2024.
4. 有川瑛人: 記憶の神経心理学－神経心理学の立場からリハビリテーションのあり方を考える. 第2回脳卒中リハビリテーション研修会, Web, 2月4日, 2025.
5. 川原翔太: 放射線技師が見る医療経営. 令和6年度始良・霧島地区診療放射線技師会研修会, 霧島市, 2月15日, 2025.

業績一覧

6. 原有希:特別企画「徹底討論！小児リハビリテーションのエビデンス」. 第13回日本語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会, 鹿児島市, 3月9日, 2025.

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

1. 田島紘己:療養病床移転戦略, 日本慢性期医療協会 第7回経営対策講座 (2日目), 東京都, 7月14~15日, 2024
2. 大迫尚仁:体験してみよう会社でできる健康教室~会社のみinnで肩こり・腰痛対策~ 2024年健康経営セミナー, 主催 アクサ生命保険株式会社鹿児島支社, 9月18日, 2024.
3. 田島紘己:私が考える慢性期医療の経営戦略, 日本慢性期医療協会 第1回青年部会, 10月9日, 2024.
4. 有蘭千裕:奄美大島 名柄小中学校をZOOMで繋ぎ講演 テーマ「理学療法士のお仕事」, 鹿児島県教育委員会と経済7団体連携「未来を拓くキャリア教育推進事業」依頼, 1月24日, 2025.

■法人事務局

1. 中村真之, 井手勝広:甲南中学校にて職業人講和“病院で働く職種”, 2月19日, 2025.

座長・司会

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次:第1回キラメキ合同勉強会 鹿児島市, 11月9日, 2024.
2. 原口友子:第32回日本慢性期医療学会・リハビリテーション学会 (一般演題), 横浜市, 11月15日, 2024.
3. 夏越祥次:地域公開講座「未来社会をあなたとともに」 始良市, 11月30日, 2024.
4. 原口友子:第13回日本語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会 (特別講演), 鹿児島市, 3月22日, 2025.
5. 原口友子:第13回日本語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会 (シンポジウム), 鹿児島市, 3月23日, 2025.

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

1. 田島紘己:第65回全日本病院学会, 京都府, 9月28~29日, 2024.

症例報告・その他

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: トリプル改訂—総論的解釈—. 鹿児島県医師会報880:14-16, 2024.
2. 夏越祥次: 馬場秀夫先生記念業績集, 2024.
3. 夏越祥次: いよいよ4月から「医師の働き方改革」がスタート! 日刊ゲンダイOnline 2024年2月29日
4. 原有希: ことばの発達について—構音訓練を含めて. 療育フラット職員研修, 始良市, 10月28日, 2024.
5. 原有希: ことばの発達について—家族でできること. 療育フラット家族向け研修会, 始良市, 11月9日, 2024.
6. 原有希: ことばの発達について—難聴児に対する連携の取り組みを交えて. 鹿児島県立鹿児島聾学校職員研修, 鹿児島市, 11月26日, 2024.
7. 松元奈美子: 人命救助 鹿児島市消防局より感謝状拝受, 12月, 2024.
8. 有馬美智子: 回復期リハビリテーション病棟の最前線. 読売ムック「病院の実力2025」, 2025年2月発売・WEB公開.
9. 川原翔太: AMI株式会社「クラウド聴診®」ユーザーインタビュー vol.1. WEB公開.

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

1. 田島紘己: 2024年6月WEB公開 DoctorsLIFESTYLE 取材テーマ「30年後も愛される医療機関」の在り方 m3.com
2. 田島紘己: 2024年7月WEB公開 メディグルプレス 取材テーマ「いまきいれ総合病院とキラメキテラスヘルスケアホスピタルの医療連携」・「両法人と地域との連携」 メディグル株式会社
3. 萩原隆二: 2024年9月25日放送 News+おやっと! 「SDGsウィーク 希望の星! ? 下水処理水で育てた野菜 ~鹿児島大学と鹿児島市水道局が共同研究~」内コメント取材 KKB 鹿児島放送
4. 内田洋介: 2024年11月WEB公開 医療メディア「名医のチョイス」 トランスジェンダー診療の名医
5. 田島紘己: 2024年12月WEB公開 慢性期ドットコム 取材テーマ “いまきいれ総合病院との連携体制、今後の展望”・“慢性期医療にかける思い”等 株式会社メディカルノート

職員数

2025年3月31日現在

職 種		法人 事務局	キリメテラス ヘルスケアホスピタル	加治木温泉 病院	介護医療院 おはな	在宅 事業	計	
常勤職員	医 師	1	15	14	1		31	
	歯科医師			1			1	
	医療技術職	薬剤師	1	4	5	1		11
		診療放射線技師	1	3	3	1		8
		臨床検査技師		3	3			6
		理学療法士		40	33	1	1	75
		作業療法士		28	29	3	1	61
		言語聴覚士		10	19	2		31
		公認心理師			5			5
		義肢装具士			3			3
		鍼灸マッサージ師						0
		管理栄養士(含む栄養士)		5	9	2		16
		臨床工学技士		6	7			13
		医療ソーシャルワーカー	1	8	9			18
		歯科衛生士			2			2
		その他(補助者等)		1	3			4
	小 計	4	123	145	11	2	285	
	看護部門	看護師		109	126	9	19	263
		准看護師		5	12	5	2	24
		介護支援専門員			1	1	9	11
		介護福祉士		32	32	10	16	90
		ケアワーカー		11	17	1		29
		小 計	0	157	188	26	46	417
	その他	保育士			3			3
		部次課長	8	2	3			13
		その他(事務員等)	17	29	33	2	2	83
		小 計	25	31	39	2	2	99
	合 計	29	311	372	39	50	801	
	非常勤職員	医師		2	1			3
診療放射線技師				1			1	
臨床検査技師				1			1	
臨床工学技士			1				1	
理学療法士							0	
作業療法士			1				1	
言語聴覚士			1				1	
公認心理師			2				2	
鍼灸マッサージ師						1	1	
歯科衛生士							0	
看護師			8	9	1	2	20	
准看護師			5	2	2	2	11	
介護支援専門員				1	1		2	
介護福祉士			6	6		1	13	
ケアワーカー				6		3	9	
保育士					2		2	
医療ソーシャルワーカー				1			1	
その他		3	12	20	7	2	44	
合 計		3	45	43	11	11	113	
総 合 計	32	356	415	50	61	914		

2024 年度学校訪問及び就職説明会

月 日	訪問先・主催先	対象者
4 月 16 日	医療法人協会立看護専門学校	看護師・奨学生
4 月 22 日	神村学園高等部・神村学園専修学校	看護師・奨学生
4 月 24 日	鹿児島医療福祉専門学校	看護師
6 月 24 日	龍桜高等学校・加治木看護専門学校	看護師・奨学生
7 月 11 日	鹿児島大学医学部 ZOOM	保健学科学生
7 月 20 日	鳳凰高等学校	看護師・奨学生
7 月 11 日	鹿児島医療技術専門学校	PT・OT・ST
9 月 27 日	神村学園専修学校	PT・OT
10 月 11 日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校	PT・OT・ST
3 月 25 日	鹿児島医療技術専門学校	看護師

PT：理学療法士 OT：作業療法士 ST：言語聴覚士 MSW：社会福祉士

医療法人 玉昌会

加治木温泉病院

2024年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて － 転換期にある地域医療 －

医療法人玉昌会 始良地区担当理事 夏越 祥次
加治木温泉病院 院長



長期にわたり新型コロナウイルス感染症が流行し、社会に対しても大きな影響を及ぼしました。昨年5月に感染症取り扱いが2類相当から5類へ移行しました。加治木温泉病院では2024年以前に5回、それ以降2024年2月に11名、3月に35名、6月に11名、7～8月に50名、2025年2～3月に10名と、これまでに10回のクラスターを経験してきました。これらの患者さん以外でも多くの職員が罹患しましたが、全員の方でその都度乗り越えることができました。職員の皆さんの多大なご尽力の賜物であり、心より感謝いたします。コロナ禍を乗り越え、今年度は始良地区の忘年会や地域連携ネットワークス情報交換会も開催され、対面で様々な方と話をすることができ、久しぶりに楽しい会を催すことができました。コロナ禍ではオンライン形式の会議、会合が主として行われていましたが、実際に会って話す意義を再認識しました。

5月31日に日本医療機能評価機構の高度・専門機能：リハビリテーション（回復期）の審査を受けました。3領域に分かれており、第一領域は良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営、第二領域は回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性、第三領域はチーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践です。リハビリテーション部門を中心として職員の皆さんが一丸となって準備をした結果、無事に審査に合格しました。この高度専門機能を有するリハビリテーション認定病院は全国で53施設、九州では9施設のみであり、鹿児島県では初めての認定施設になりました。当院は始良圏域の地域リハビリテーション広域支援センター、鹿児島県高次脳機能障害者支援協力病院にも指定されており、今後益々県内のリハビリテーションの中核としての役割を果たしていく必要があります。

さて、日本では総人口が減少し、特に生産年齢人口の減少が大きな社会問題となっています。一方、高齢者数は増え続けていますが、入院患者数は2005年をピークに減少が続いています。さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、定期的に通院していた高齢者が自宅で過ごす割合が増加したと推測され、入院数の減少に拍車をかけていると考えられます。実際に、入院の推計患者数は117万5千人と昭和59年以降で最少となり、在宅医療を受けた患者数は3年前の前回調査から37.3%と大幅に増加しています。そのような中で、本年度初めに医療・介護・福祉のトリプル改訂が実施されました。今回の改定では、病院経営に様々な厳しい改訂がありました。賃上げ・基本料等の引き上げで、医療従事者の人材確保や賃上げのためのベースアップ評価料による職員の賃上げです。外来医療の機能分化・強化等として特定疾患療養管理料の対象疾患から生活習慣病が除外されました。さらに回復期リハビリテーション病棟入院料の体制強化加算1及び2が廃

止され、大きな減収となっています。様々な調査では 7~8 割の医療機関が赤字になるか、赤字がさらに拡大すると推測されています。医療にとっては厳しい時代を迎えています。

人口減少に伴い、外来患者・入院患者の減少が進み、さらに医療費の抑制が加わることで、地方医療は一層厳しくなると予想されます。地域医療は転換期に来ていると言えます。始良・伊佐二次医療圏の地域にとって、加治木温泉病院はどのような医療・介護を行っていくことが今後重要なのか考慮することが重要です。高齢者が増加する地方では、急性期病院から回復期病院に早期に転院してもらい、十分なりハビリテーションを施行することが大事です。また、高齢者の肺炎、尿路感染症など高齢者の救急疾患は地域の病院で加療する必要があります。また今後は、これまで以上に在宅医療が展開されていくと思われれます。質を落とすことなく在宅で受けられる医療・介護の提供が望まれます。そのためにも職員の皆さん一人一人が、様々な分野を理解するために研鑽していく必要があります。

急性期・回復期・慢性期・在宅という垂直的な連携が可能である当院の特色を生かしながら、かかりつけ医、地域包括ケアを支える病院・有床診療所、介護施設等との水平的な連携を構築していくことが重要です。このような医療・介護機関の強固な連携を推進することで、地域の医療提供体制の維持が可能となり、治し・支える医療の持続可能性が高まると考えられます。転換期にある地域医療の中で、さらに充実した加治木温泉病院を目指して参りますので、本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

2024 年度 医療法人玉昌会 加治木温泉病院

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療・介護サービスを提供します。

《基本方針》

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重します
2. 患者さんの視点に立ち、安心・安全な治療に努めます
3. 地域包括ケアシステムを基に、全世代に生活支援サービスを提供します
4. 『健康経営宣言』に則り、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 地域住民や職員の健診事業や健康増進事業に取り組みます

《運営方針》

1. 患者さんの医療・介護の質の確保と安全に努めます
2. 慢性腎臓病（CKD）を中心とした腎疾患診療部門の充実を図ります
3. 健診事業による5疾病の未病・予防に取り組みます
4. 『健康経営宣言』に則り、療養・職場環境の改善に努めます
5. 人財の確保および育成に努めます
6. 地域共生社会の実現に取り組みます
7. 地域のニーズにあった病院機能の見直しを行います
8. 将来の病院機能を見据えた病床機能の再編に取り組みます
9. 病院の新築移転に向けての取り組みを進めます

加治木温泉病院の沿革

加治木温泉病院の沿革

- 1978年 6月 加治木温泉病院開設 病床数 100 床
- 1985年 7月 増改築により増床 人工腎臓センター開設・人工透析開始
- 1989年 7月 C T・M R I 導入
- 1994年 5月 人工腎臓センターを別棟として増設
- 1997年 11月 浴室・管理棟を増設
- 1997年 12月 350 床に増築
- 1998年 12月 療養二群入院医療管理（Ⅰ）基準承認
療養型病床群療養環境（Ⅱ）（Ⅲ）基準承認
- 1999年 6月 総合リハビリテーション施設承認
- 2000年 2月 介護療養型医療施設承認（91 床）
- 2001年 4月 療養病棟入院基本料Ⅰ基準承認
介護療養型医療施設 117 床に増床
療養型病床群療養環境（Ⅰ）（Ⅱ）基準承認
- 2001年 5月 回復期リハビリテーション病棟基準承認（54 床）
- 2002年 4月 地域リハビリテーション広域支援センター認定
- 2002年 5月 日本医療機能評価機構 認定証取得
- 2002年 10月 特殊疾患療養病棟入院料 2 基準承認
- 2007年 5月 日本医療機能評価機構 Ver. 5 認定証取得
- 2008年 12月 日本医療機能評価付加機能（リハビリテーション機能）認定
- 2009年 1月 一般病棟入院基本料（13：1）承認（30 床）
- 2009年 2月 亜急性期入院医療管理料（Ⅰ）承認（10 床）
- 2010年 2月 介護療養型医療施設（57 床）
療養病棟入院基本料 2（149 床）
- 2010年 4月 療養病棟入院基本料 1（119 床）
療養病棟入院基本料 2（90 床）
- 2010年 10月 国土交通省（J C A B）指定航空身体検査機関認定
- 2010年 11月 一般病棟入院基本料（13：1）承認（60 床）
療養病棟入院基本料 2（60 床）
- 2010年 12月 16 列マルチスライス C T 装置導入
- 2012年 5月 日本医療機能評価機構「Ver. 6 認定証」取得
- 2013年 4月 日本慢性期医療協会「慢性期医療認定病院」認定
- 2013年 8月 持続性推進機構「エコアクション 21」認定
- 2013年 12月 日本医療機能評価機構付加機能（リハビリテーション機能 Ver. 3.0）認定
- 2014年 10月 外科・消化器外科開設
- 2014年 12月 在宅療養後方支援病院基準承認
- 2015年 1月 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 承認（54 床）

- 2015年 2月 アメリカ連邦航空局（F A A）指定航空身体検査機関認定
- 2015年 3月 電子カルテ導入
- 2015年 4月 回復期リハビリテーション病棟入院料1体制強化加算承認
標榜科目に神経内科、頭頸部外科を追加
- 2015年 5月 一般病棟（13：1）60床を地域包括ケア病棟入院料2へ転換
- 2015年 6月 がん患者リハビリテーション料承認
- 2015年 7月 地域包括ケア病棟入院料1承認
- 2015年 11月 介護療養型医療施設（57床）療養機能強化型B承認
- 2015年 12月 介護療養型医療施設（57床）療養機能強化型A承認
- 2016年 1月 標榜科目に肝臓内科を追加
- 2016年 9月 開放型病院基準承認
- 2017年 3月 日本医療機能評価機構 3rdG：Ver. 1.1 認定証取得
- 2017年 12月 超電導型MRI装置（1.5T）導入
- 2018年 4月 皮膚科外来開設
- 2018年 5月 救急告示病院指定
- 2018年 6月 整形外科開設
- 2018年 7月 神経内科を脳神経内科へ変更
- 2018年 12月 介護療養型医療施設（57床）を介護医療院へ転換
- 2019年 4月 日本医療機能評価機構付加機能（リハビリテーション機能Ver. 3.0）更新
- 2019年 8月 介護医療院 80床へ（23床増床）
歯科用CTの導入
- 2019年 12月 療養病棟入院基本料2を地域一般入院料3へ転換
- 2020年 1月 脳神経外科を開設
- 2020年 4月 国土交通省 短期入院協力病院 認定
- 2020年 11月 診療・検査医療機関 指定
- 2021年 5月 地域一般入院料3（37床）→1へ転換
- 2022年 10月 日本医療機能評価機構 3rdG：Ver. 2.0 認定証取得
- 2022年 12月 加治木温泉病院の療養病床40床と介護医療院の療養病床20床を「介護医療院おはな」へ移したため、許可病床を変更。
療養173床→133床、介護医療院80床→60床
- 2023年 2月 新型コロナウイルス感染症受け入れ医療機関 指定
- 2024年 9月 病院機能評価「高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）」認定
- 2024年 12月 地域一般入院料1を急性期一般入院料6へ変更
- 2025年 2月 肝疾患診療専門医療機関指定

加治木温泉病院の概要

加治木温泉病院 2024 年度概要

名 称 医療法人玉昌会 加治木温泉病院

所 在 地 〒899-5241

鹿児島県始良市加治木町木田 4714

TEL (0995) 62-0001 FAX (0995) 62-3778

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 病院長 夏越 祥次

診 療 科 目 内科 腎臓内科(人工透析) リハビリテーション科 整形外科
脳神経内科 脳神経外科 消化器内科 消化器外科 外科 肝臓内科
循環器内科 糖尿病内科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 皮膚科 泌尿器科
心療内科 歯科

病 床 数 230 床

- ・急性期一般入院料 6 (37 床)
- ・療養病棟入院基本料 1 (79 床)
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料 1 (54 床)
- ・地域包括ケア病棟入院料 2 (60 床)

介護医療院 I 型(60 床)

社会保険等指定

健康保険、国民健康保険、労災保険、生活保護、身体障害者福祉法指定医、
結核予防法、原子爆弾被爆者一般疾病医療、自立支援医療

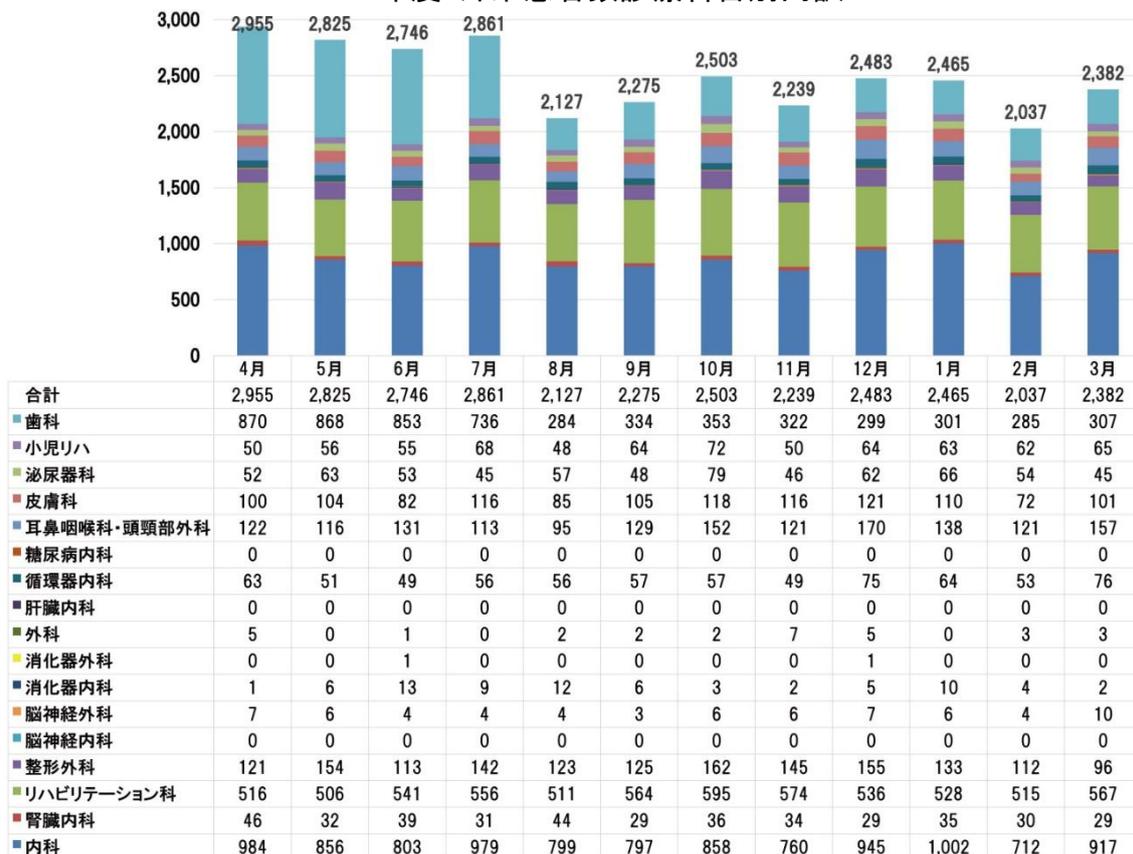
施 設 基 準 療養病棟入院基本料、一般病棟入院基本料、診療録管理体制加算 2、医師事務作業補助体制加算 1、療養病棟療養環境加算 1、療養病棟療養環境改善加算 1、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 2、感染防止対策加算 2、総合評価加算、データ提出加算、入退院支援加算、認知症ケア加算、回復期リハビリテーション病棟入院料 1、地域包括ケア病棟入院料 2、喘息治療管理料、糖尿病合併症管理料、糖尿病透析予防指導管理料、ニコチン依存症管理料、開放型病院共同指導料、排尿自立指導料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料 1、在宅療養後方支援病院、検体検査管理加算(I)、神経学的検査、CT 撮影及び MRI 撮影、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、無菌製剤処理料、脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、がん患者リハビリテーション

ン料、集団コミュニケーション療法料、人工腎臓、導入期加算 1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術、輸血管管理料Ⅱ、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)、酸素単価、歯科外来診療環境体制加算 1、歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料、歯科疾患在宅療養管理料の注 4 に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料、CAD/CAM 冠、クラウン・ブリッジ維持管理料、レーザー機器加算、口腔粘膜処置、有床義歯咀嚼機能検査 1 の口及び咀嚼能力検査、歯科口腔リハビリテーション料 2、歯周組織再生誘導術

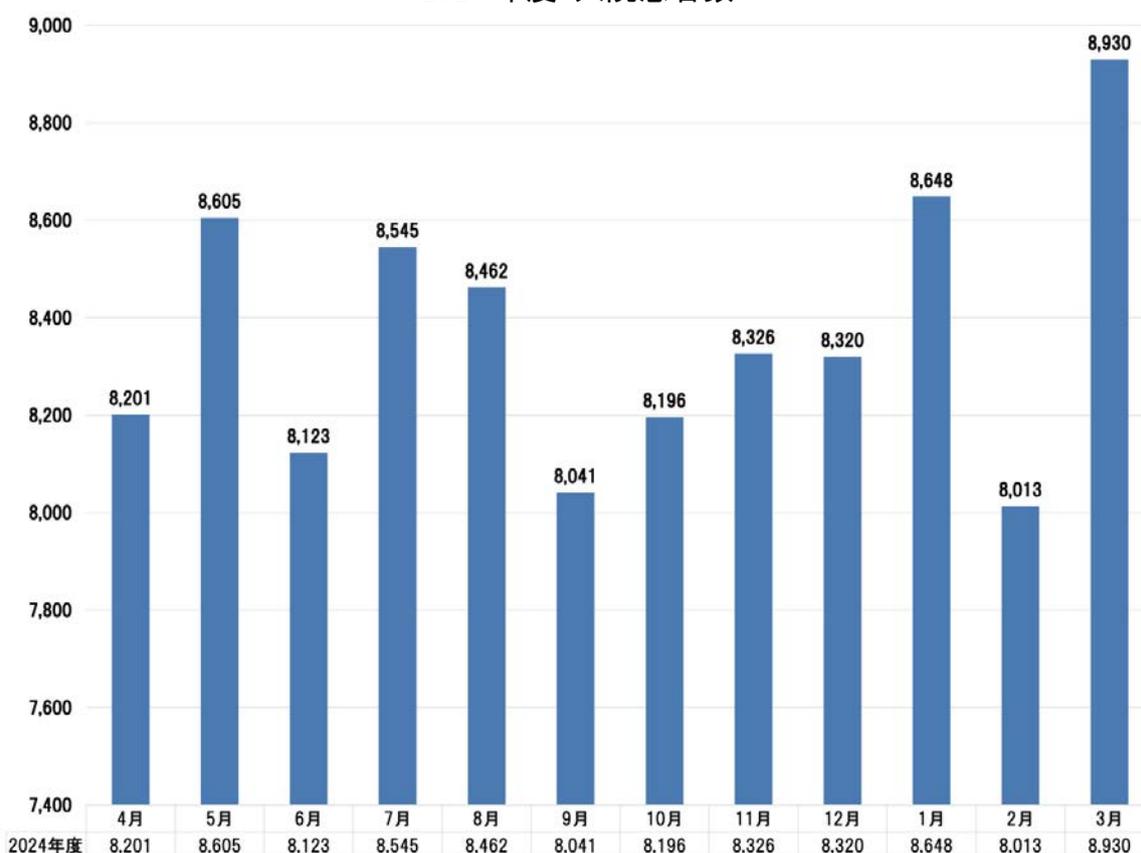
広 報 誌 日日は好日(年 4 回発行)

- そ の 他
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver. 2. 0)
 - ・ 日本医療機能評価機構 高度・専門機能:リハビリテーション(回復期) Ver. 1. 0
 - ・ 慢性期医療認定病院・日本温泉気候物医学会専門医教育研修施設
 - ・ 日本透析医学会専門医制度教育関連施設
 - ・ 在宅療養後方支援病院
 - ・ 開放型病院
 - ・ 訪問リハビリテーション
 - ・ 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター(脳血管疾患等)
 - ・ 航空身体検査指定機関(アメリカ連邦航空局指定、国土交通省指定)
 - ・ 消化器・大腸・胃・前立腺がん・肺がん検診精密検査医療機関
 - ・ 肝疾患治療かかりつけ医療機関
 - ・ 難病患者医療等専門医療機関
 - ・ 日帰り人間ドック実施指定病院
 - ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定病院
 - ・ 薬学生長期実務実習受入施設・看護学校実習病院・医療福祉実習病院
 - ・ 持続性推進機構エコアクション 21(環境省推奨)認定
 - ・ かごしま子育て応援企業登録
 - ・ 救急告示病院
 - ・ 短期入院協力病院
 - ・ 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター(整形疾患等分野)
 - ・ 鹿児島県肝疾患診療専門医療機関

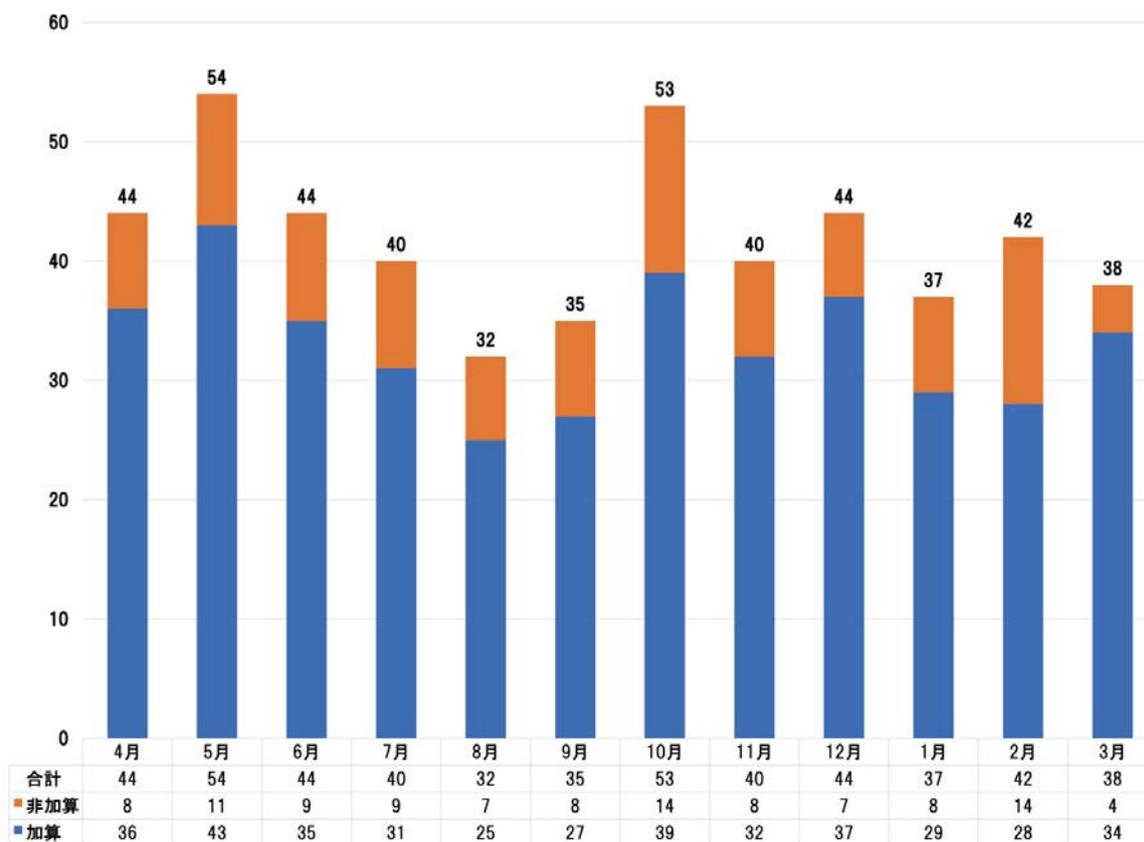
2024 年度 外来患者数診療科目別内訳



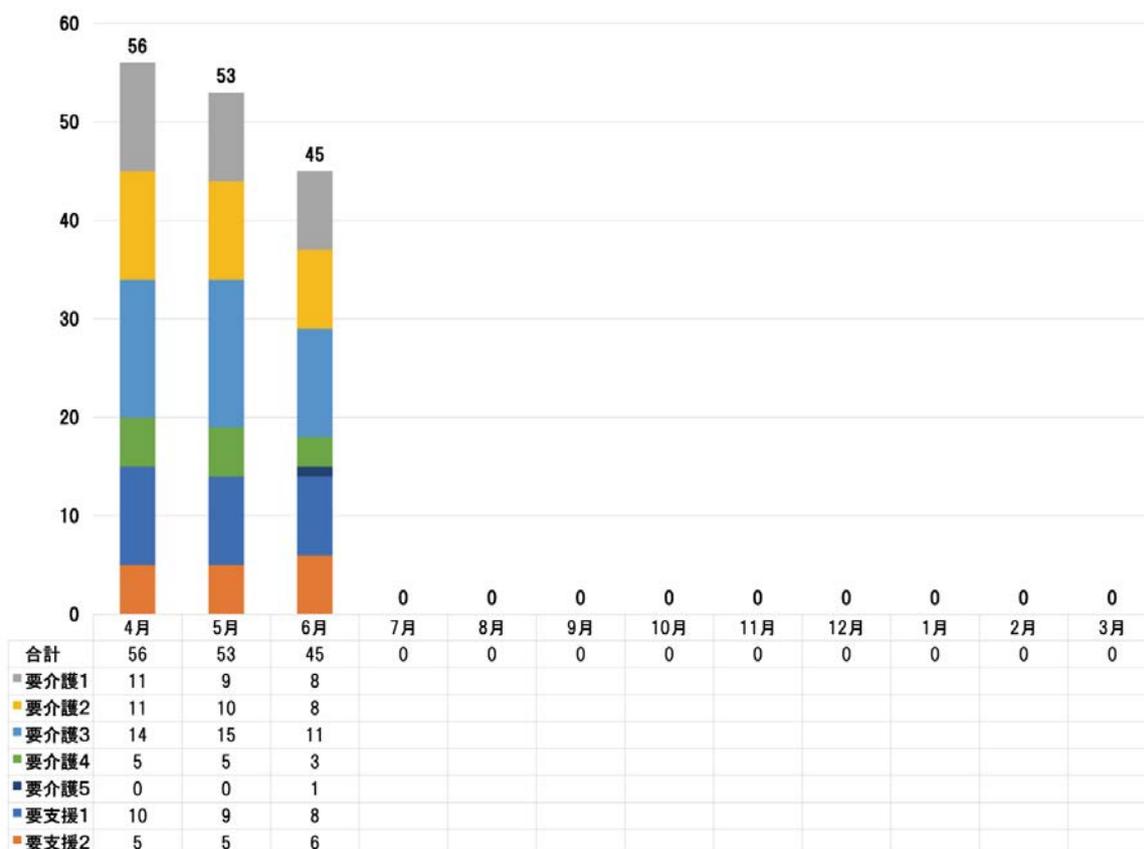
2024 年度 入院患者数



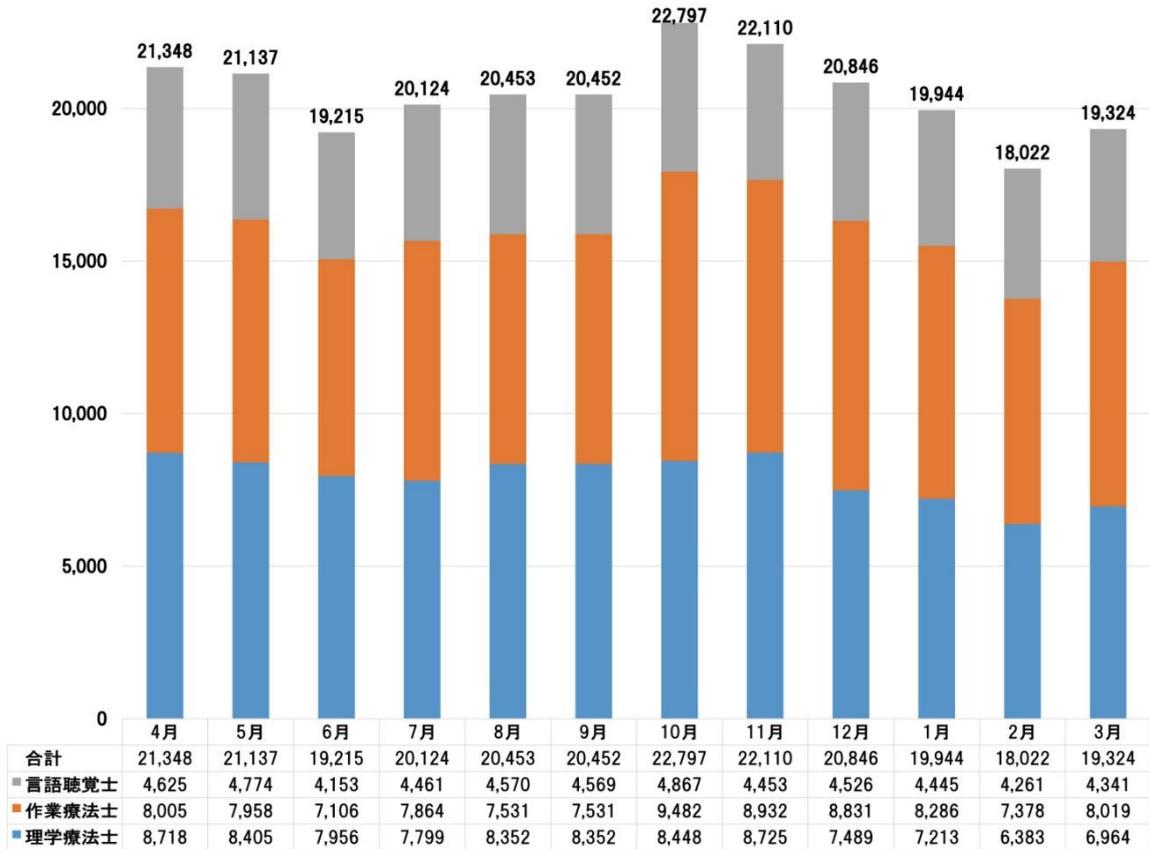
2024 年度 栄養指導件数



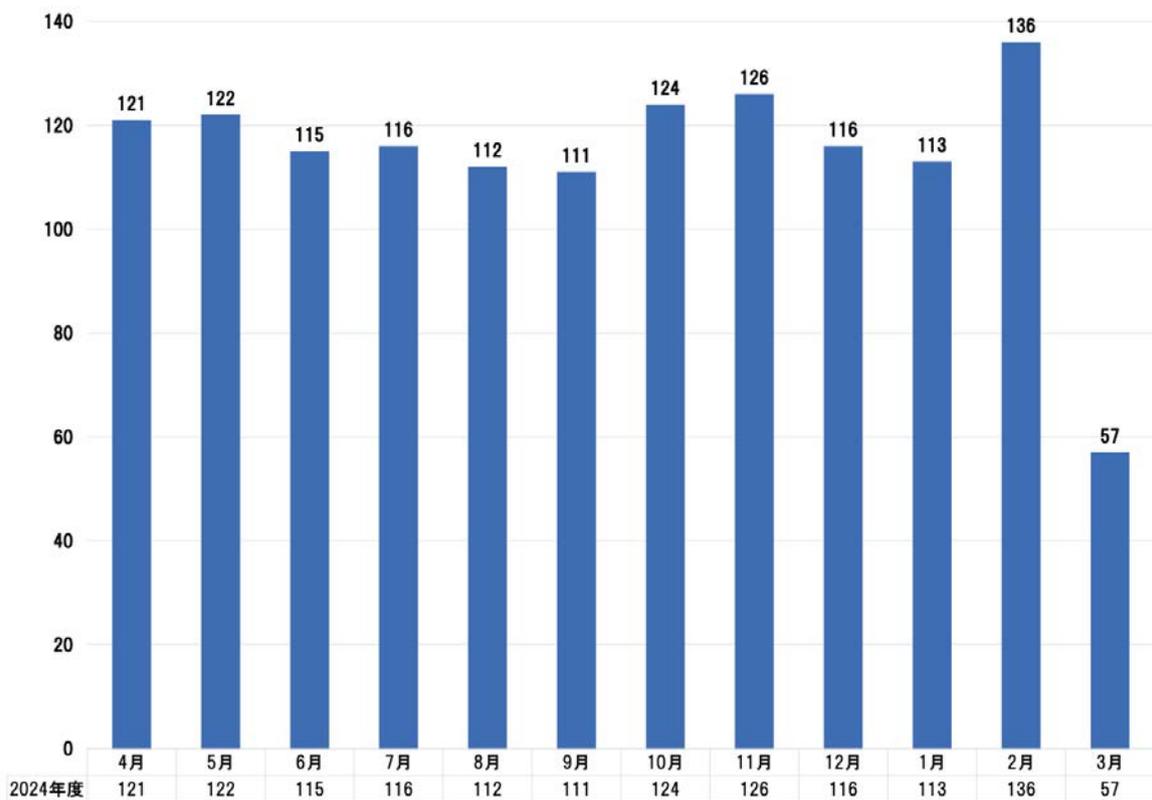
2024 年度 通所リハビリ利用者数



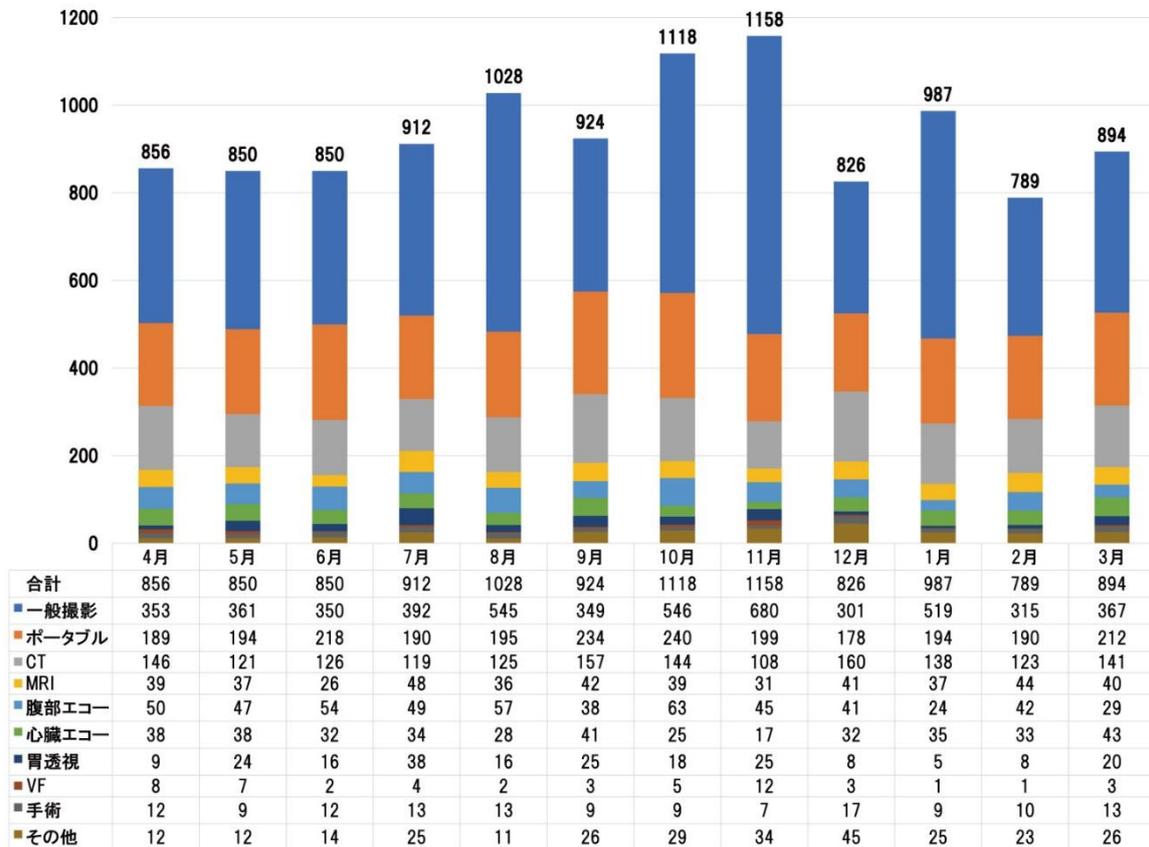
2024 年度 総合リハビリセンター患者取扱数



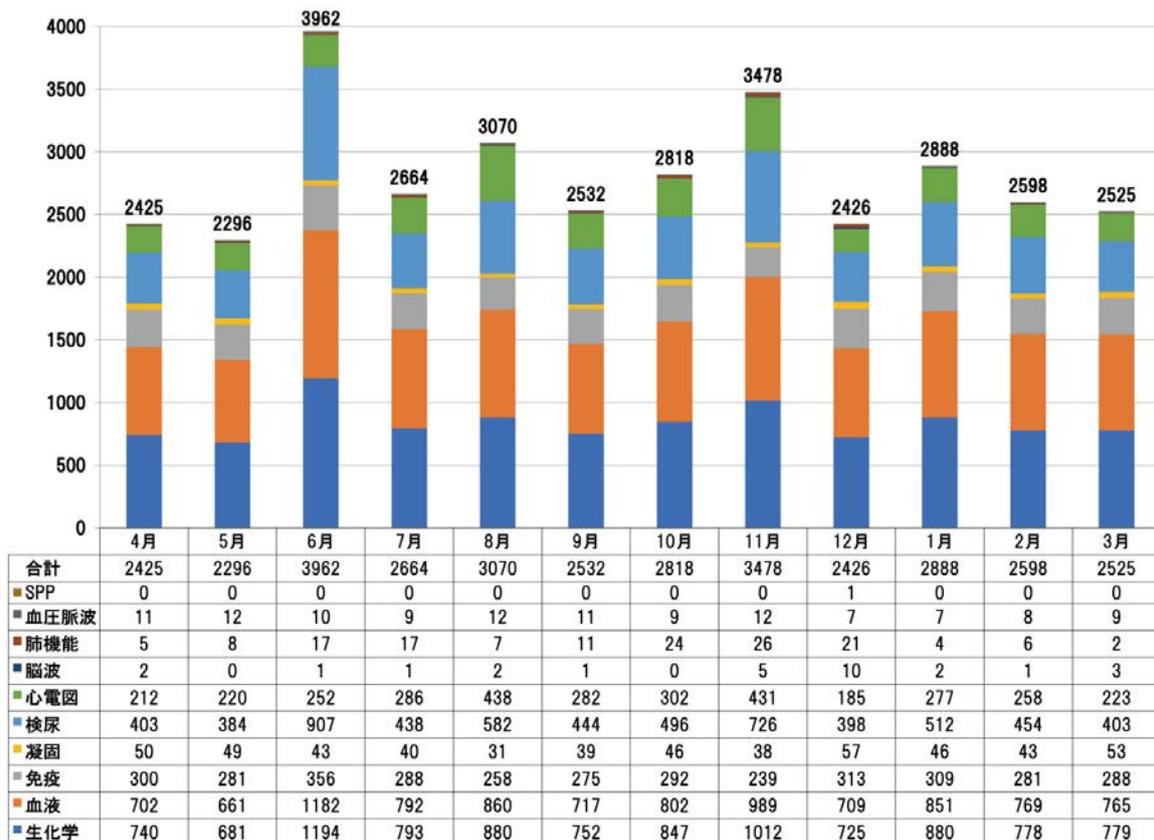
2024 年度 服薬指導件数



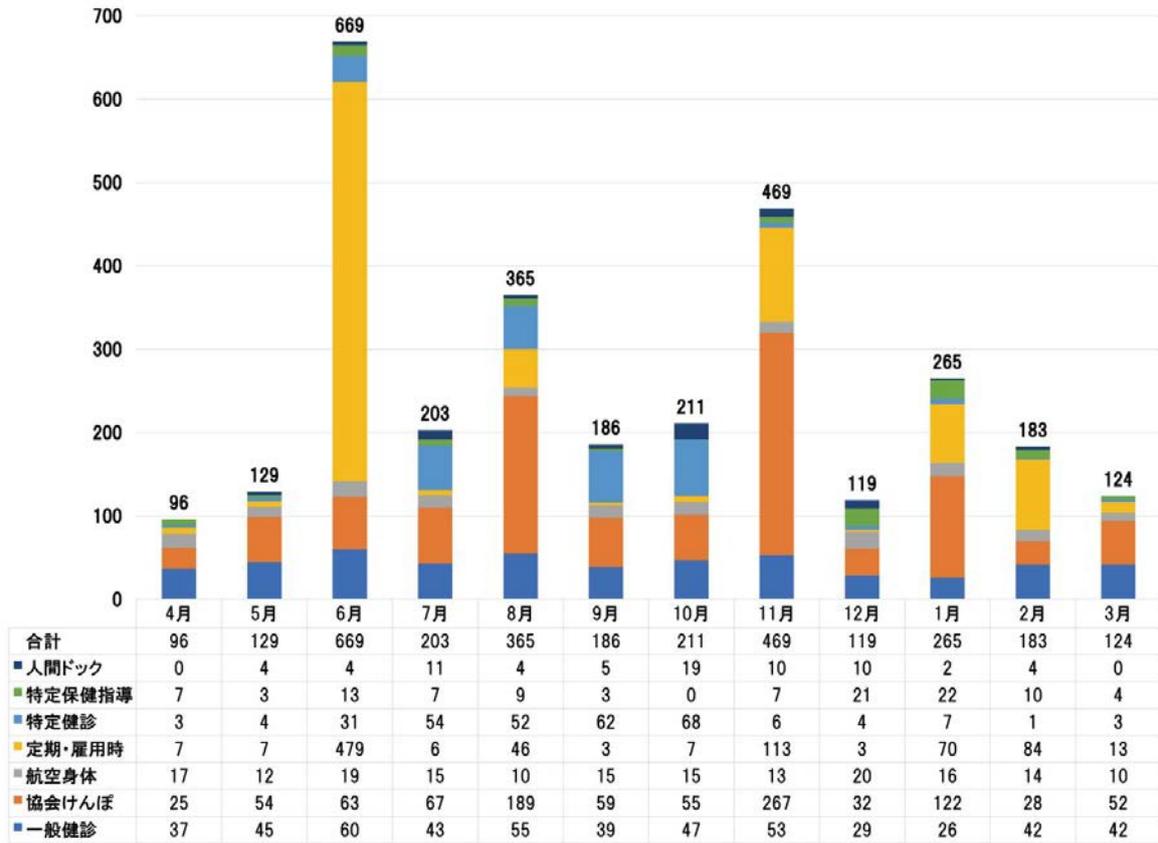
2024 年度 放射線室取扱件数



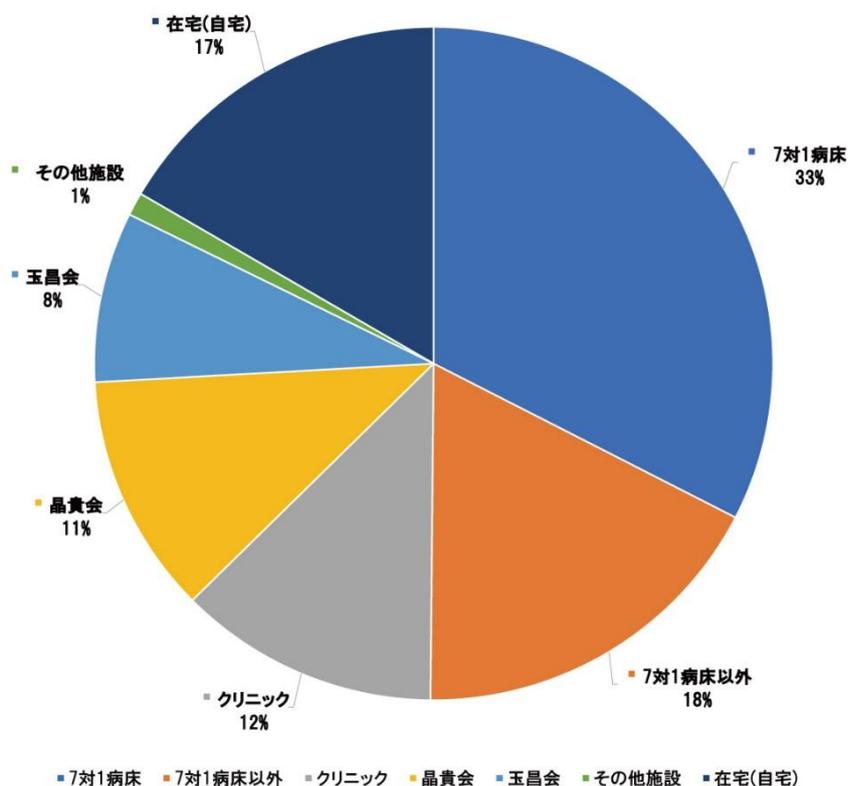
2024 年度 検査室取扱件数



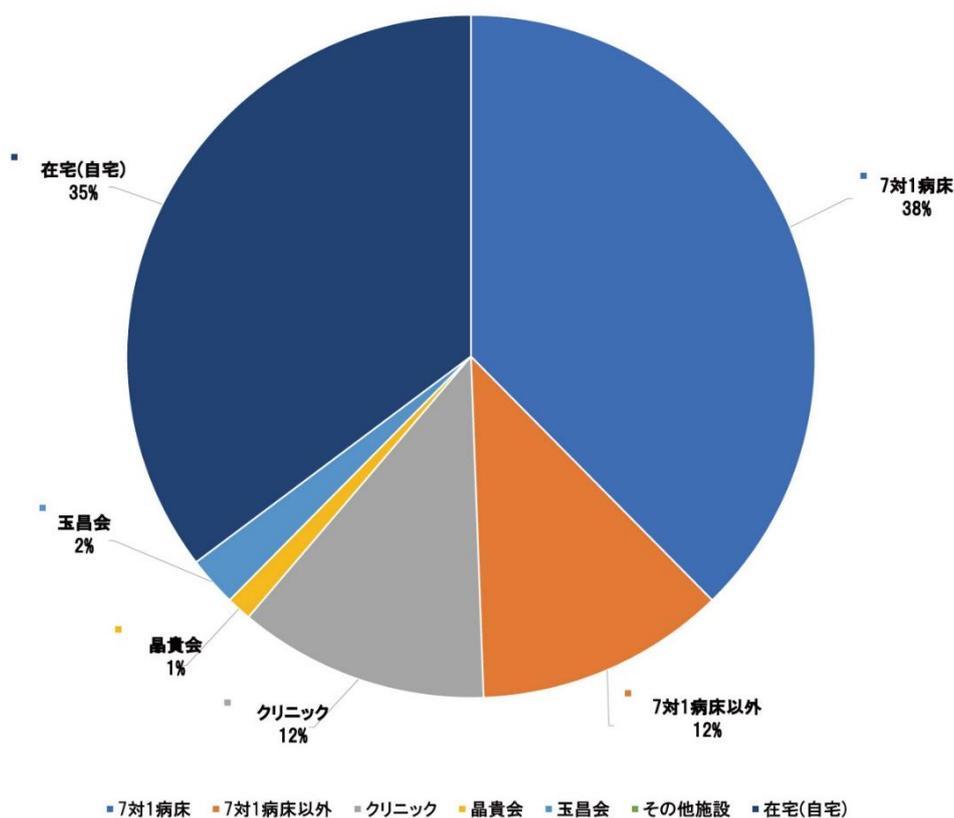
2024 年度 健康診断件数



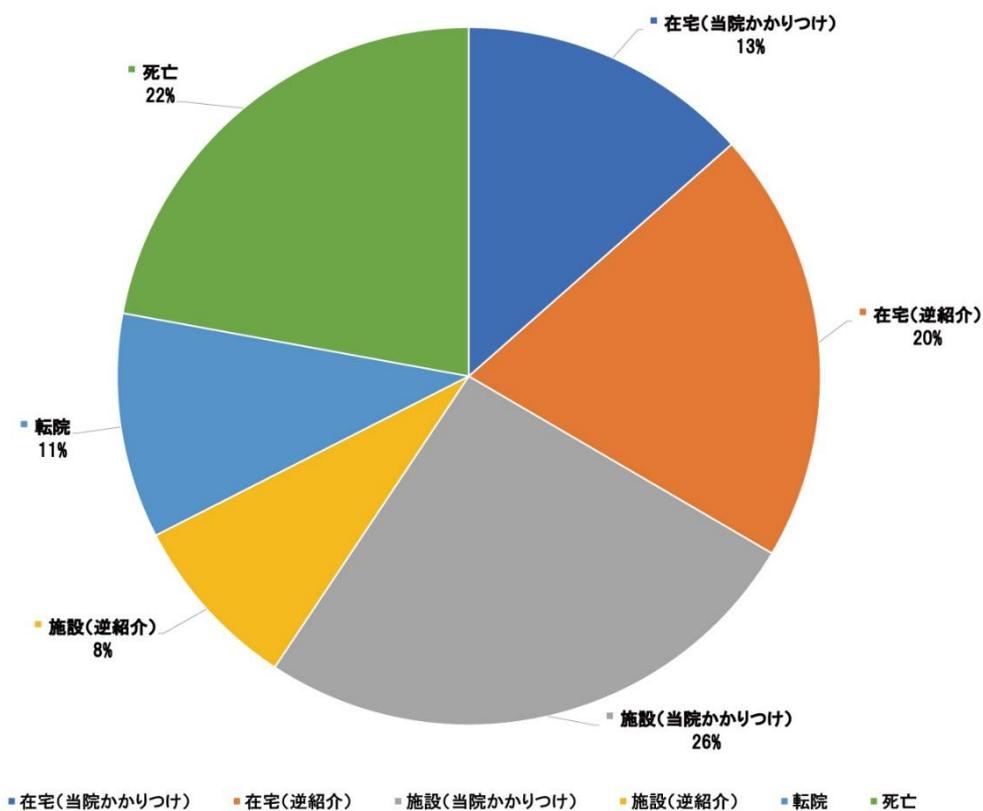
2024 年度 紹介元別割合



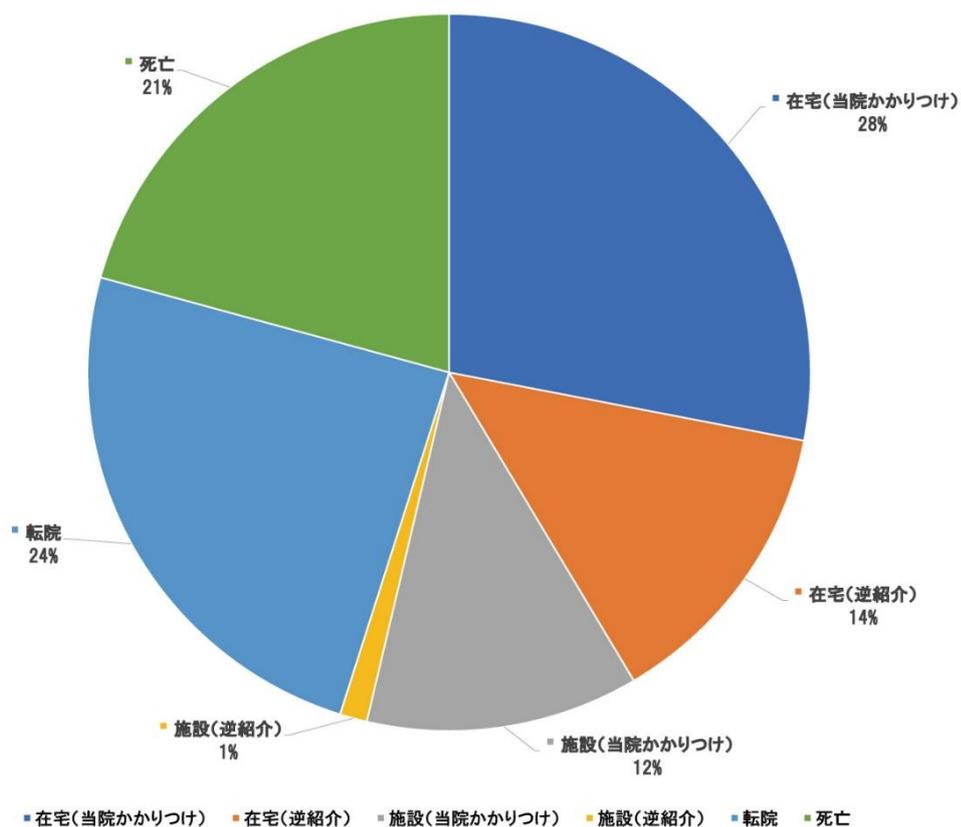
2024 年度 紹介元別割合 (透析)



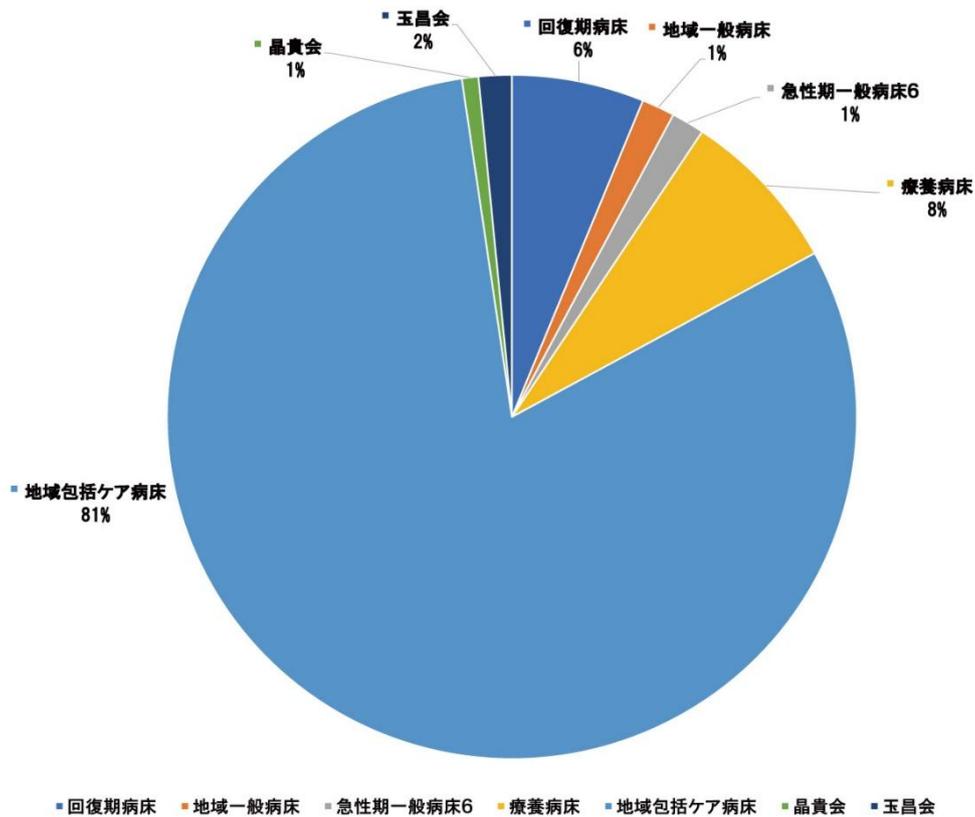
2024 年度 逆紹介元別割合



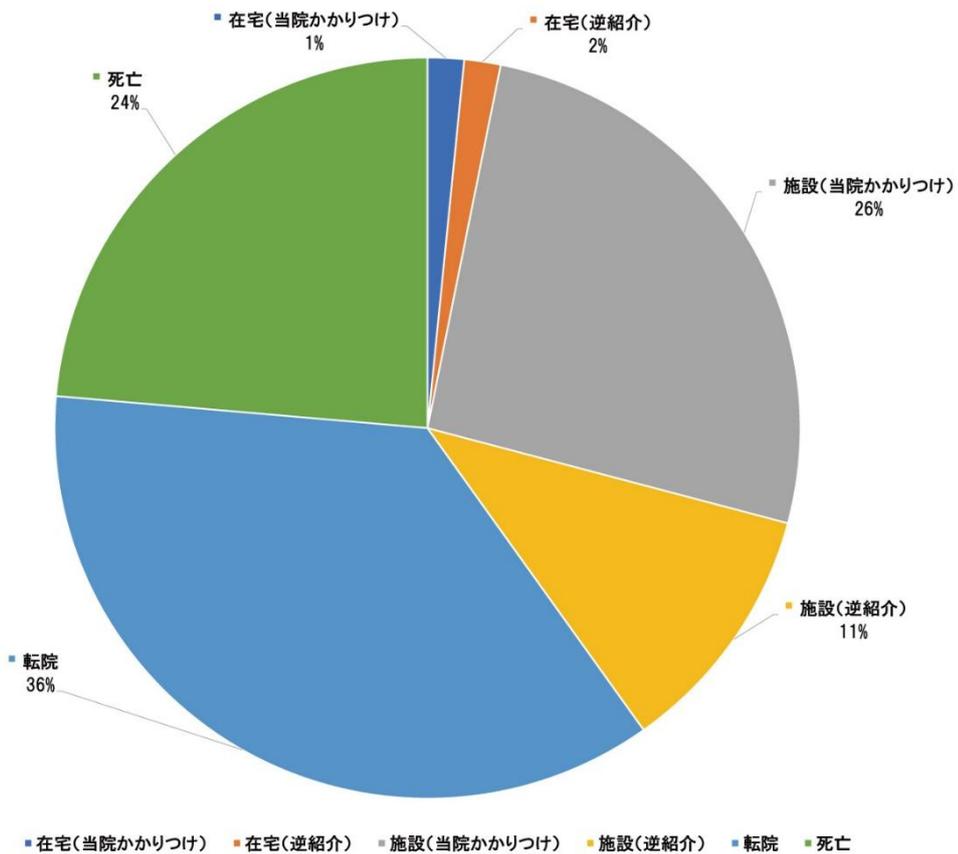
2024 年度 逆紹介元別割合 (透析)



2024 年度 紹介元別割合《介護医療院》



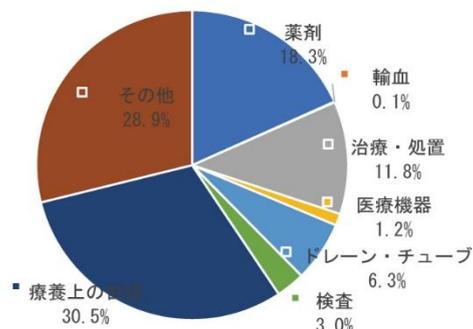
2024 年度 逆紹介先内訳《介護医療院》



2024 年度 インシデント・アクシデント発生状況

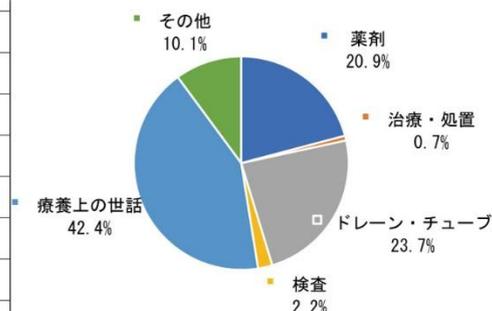
要因別発生件数（加治木温泉病院）

	インシデント	アクシデント
薬剤	266	15
輸血	0	1
治療・処置	157	24
医療機器	18	1
ドレーン・チューブ	76	21
検査	43	3
療養上の世話	362	107
その他	400	44



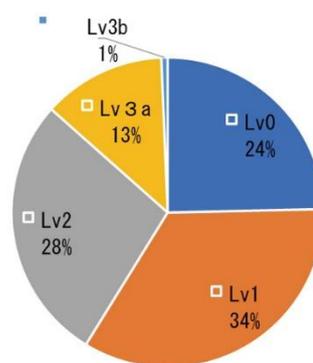
要因別発生件数（1型介護医療院）

	インシデント	アクシデント
薬剤	28	1
輸血	0	0
治療・処置	1	0
医療機器	0	0
ドレーン・チューブ	25	8
検査	3	0
療養上の世話	33	26
その他	11	3



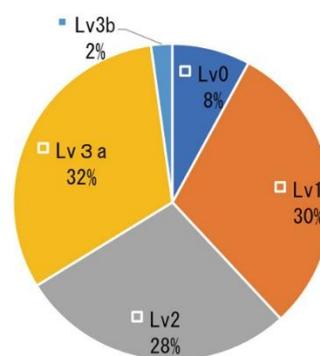
事故レベル別件数（加治木温泉病院）

	件数
Lv0	379
Lv1	525
Lv2	428
Lv 3 a	196
Lv3b	10
Lv4	0
Lv5	0



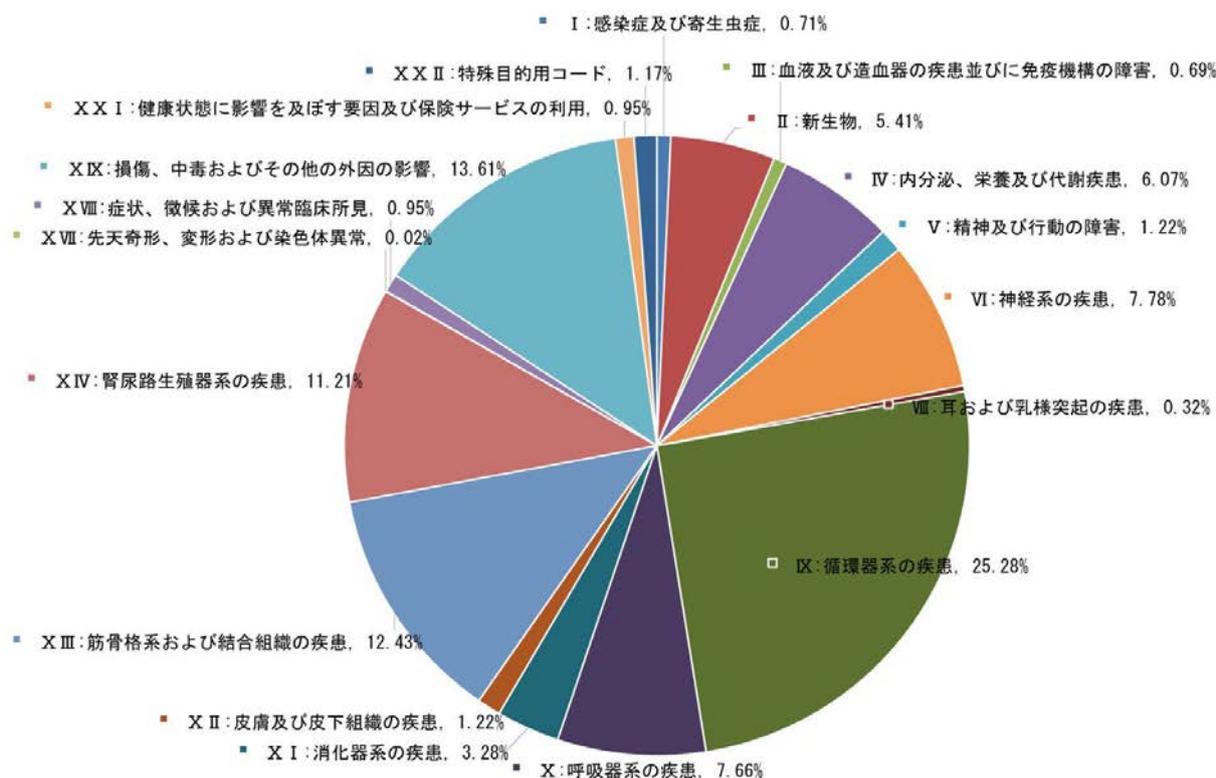
事故レベル別件数（1型介護医療院）

	件数
Lv0	11
Lv1	42
Lv2	39
Lv 3 a	44
Lv3b	3
Lv4	0
Lv5	0



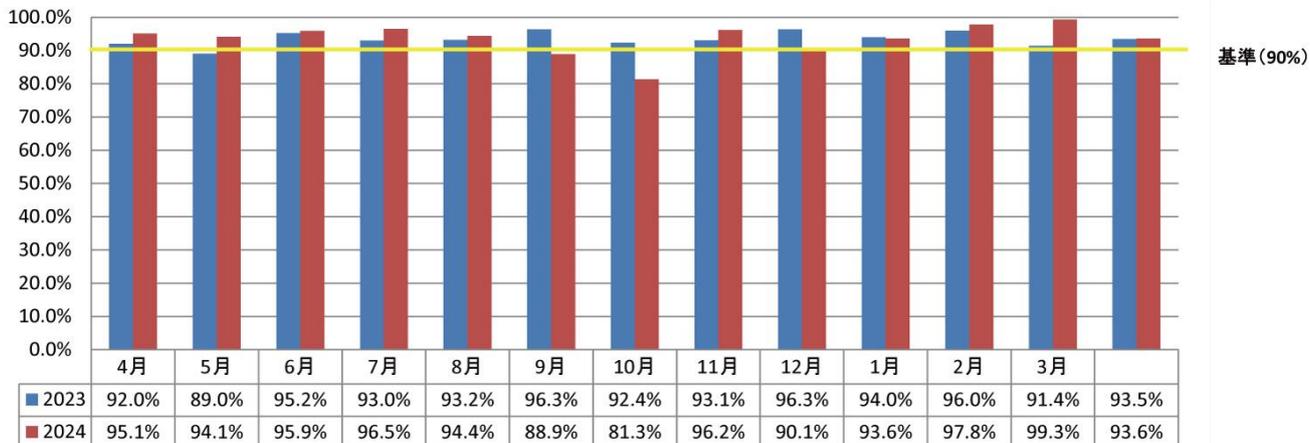
2024 年度 疾病別患者数

大分類名	2024年度
IX:循環器系の疾患	103
XIX: 損傷、中毒およびその他の外因の影響	56
XIII: 筋骨格系および結合組織の疾患	51
XIV: 腎尿路生殖器系の疾患	46
VI: 神経系の疾患	32
X: 呼吸器系の疾患	31
IV: 内分泌、栄養及び代謝疾患	25
II: 新生物	22
XI: 消化器系の疾患	13
V: 精神及び行動の障害	5
XII: 皮膚及び皮下組織の疾患	5
XXII: 特殊目的用コード	5
XVIII: 症状、徴候および異常臨床所見	4
XXI: 健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	4
I: 感染症及び寄生虫症	3
III: 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3
VIII: 耳および乳様突起の疾患	1
XVII: 先天奇形、変形および染色体異常	0
VII: 眼および付属器の疾患	0
総計	409

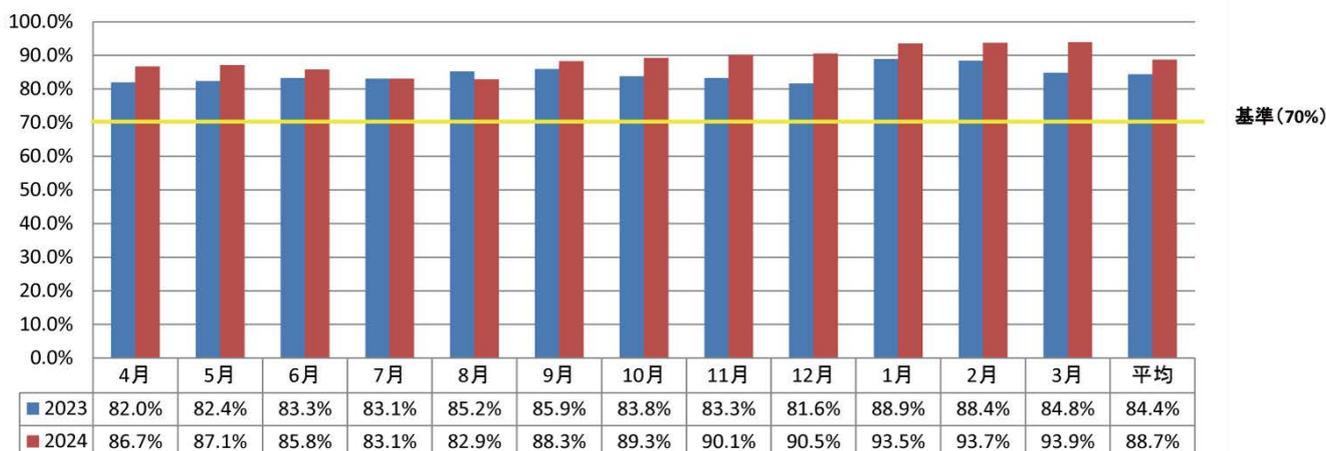


2024 年度 回復期リハビリテーション病棟の実績

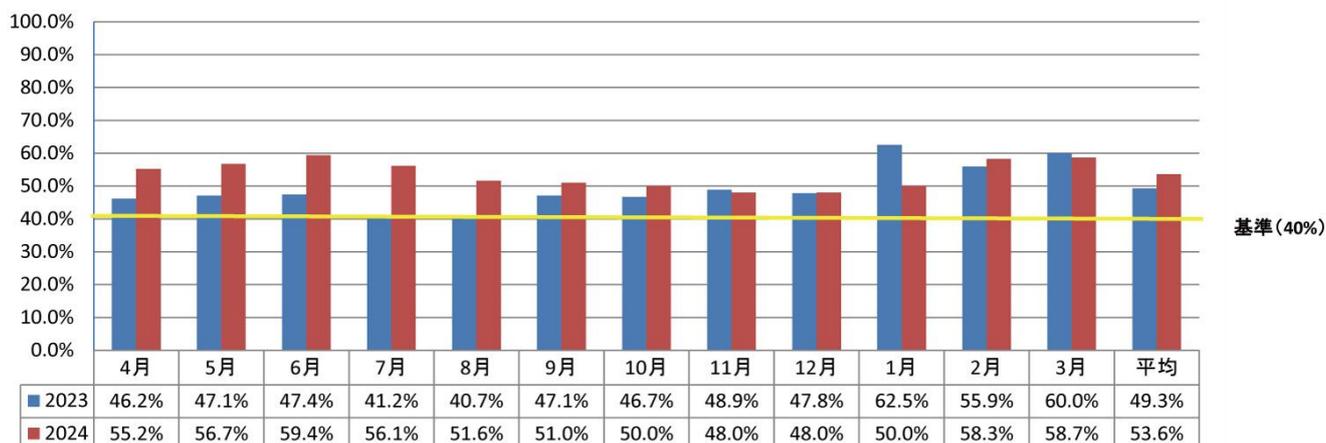
病棟稼働率（平均患者数／病床数）



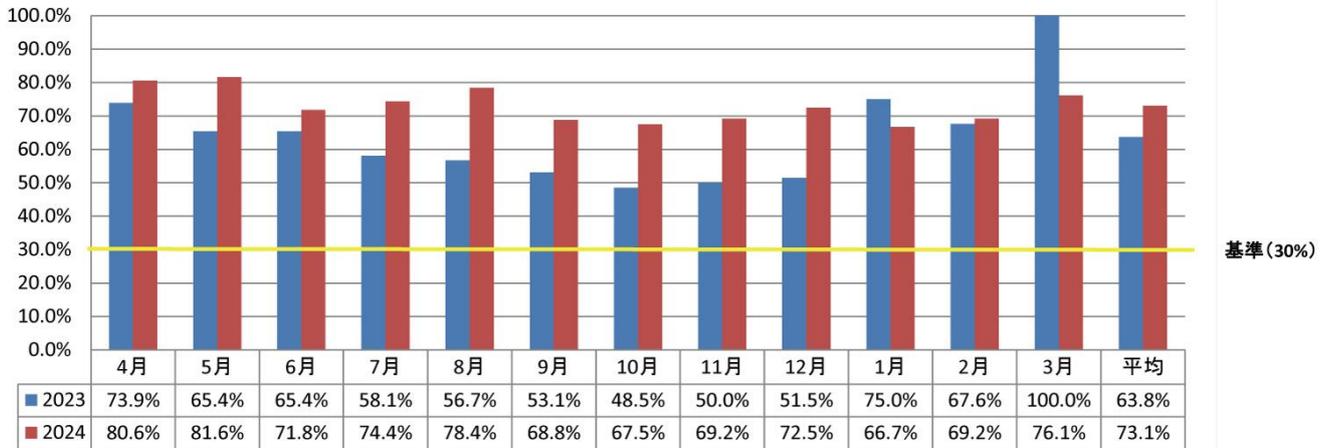
在宅復帰率（入院患者様が自宅等に退院される割合）



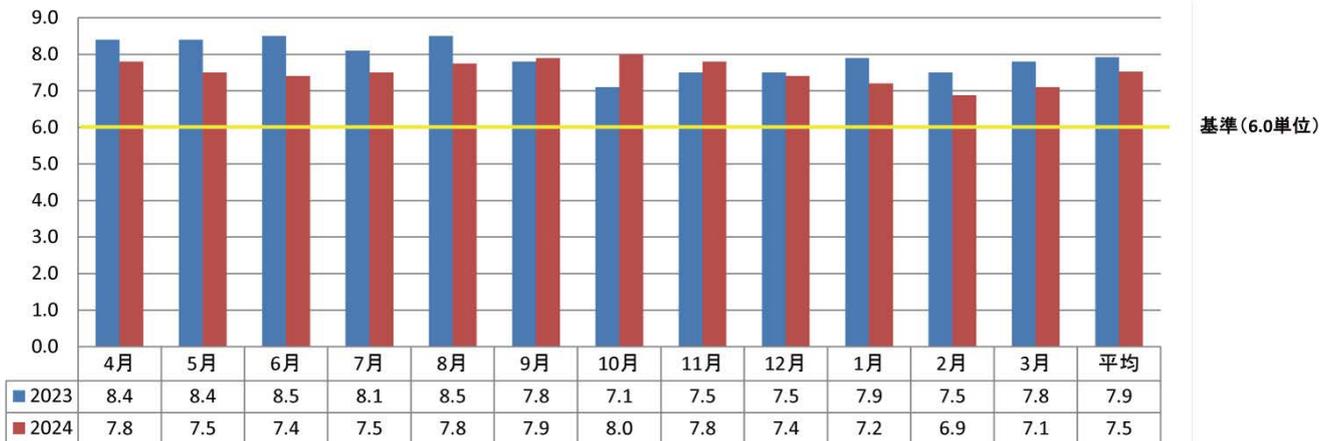
新規入院患者における重症者の割合（日常生活機能評価 10 点以上の患者の割合）



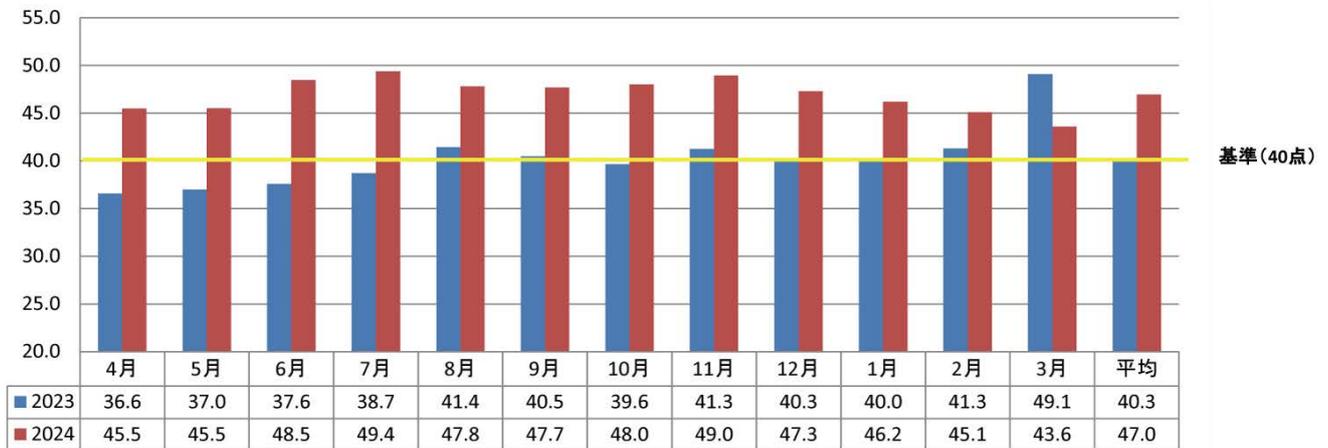
重症患者改善率（入院時重症患者のうち、日常生活機能評価4点以上改善した患者の割合）



リハビリ実施単位数（1日当たりのリハビリテーション提供単位数）



実績指数（退棟時FIM-入棟時FIM）／（入棟から退棟までの日数／厚生労働大臣が定める上限日数）



2024 年度 委員会・会議 一覧

	委員会名	開催日	目的
診療関係	診療情報管理委員会	第4火曜	診療録管理室の運営管理、診療録及び諸様式伝票類の検討等を行い、診療上の有効的効率的運営を図る
	診療情報提供委員会	カルテ開示要求時	診療情報の提供を適切に行うことを目的とする
	薬事委員会	2ヶ月に1回	薬物療法の合理的発展を図る
	栄養管理委員会	第3木曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施することにより円滑で適性な運営を図る
	NST委員会	第2水曜	症例個々に適切な栄養サポートを検討・実施していくことを目的とする
	輸血療法委員会	2ヶ月に1回	院内における輸血を安全かつ適正な輸血療法を推進し、輸血療法に関する事項について審議する
	臨床検査適正化委員会	2ヶ月に1回	臨床検査の精度管理・運営の適正化に関して必要な事項を協議する
	コーディング委員会	年2回	標準的な診断及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディングを行う体制を確保することを目的とする
	口腔機能向上委員会	第4水曜	口腔に関する現状を討議し、健全に維持するために職員の知識・技術向上を図ることを目的とする
	回復期病棟運営会議	第4火曜	回復期リハ病棟業務の円滑な運営を図る
	FIM会議	第1・3水曜	回復期リハ病棟入院患者のアウトカム評価対象者の選定、ADL(FIM得点)の改善に基づいて予後を予測し、適正な在院日数を検討することを目的とする
	急性期一般病棟運営会議	第1木曜	急性期一般病棟業務の円滑な運営を目的に設置する
	地域包括ケア病棟運営会議	第2月曜	地域包括ケア病棟業務に円滑な運営を図る
	リハビリミーティング	第4火曜	リハビリテーション業務の円滑な運営を図る
	ベッドコントロール会議	毎週火・金	紹介入院に関わる内容を多職種で情報共有し、スムーズな支援・調整を図る
	透析運営会議	第3月曜	透析の円滑な運営および業務の適切な管理を図る
手術室運営委員会	第3月曜	手術室の安全管理、感染防止、機械・備品の整備等について協議し、効率的な運営を図る	
介護医療院運営会議	第3木曜	介護医療院の円滑な運営および業務の適切な管理を図る	
教育関係	倫理委員会	年2回	倫理上問題のある症例への対応および倫理に関する教育・研修などにより、患者様中心の医療を推進するために必要な事項を定める
	倫理検討会	第4月曜	院内における倫理的な事例等について、多職種で協議・検討し医療の質を改善することを目的とする
	サービス向上委員会	第4月曜	患者・ご家族より寄せられた意見・苦情・提案等に関して病院として真摯に取り組み、サービスの向上を目的とする
	個人情報管理委員会	3ヶ月に1回	患者や職員等に関する個人情報を適切に取り扱い、患者から信頼されることを目的とする
	教育委員会	第2月曜	職員の知識、技術の向上を目的とする
	看護部教育委員会(合同)	3ヶ月に1回	看護職、介護職の知識・技術の向上と協同を目的とする
	看護部教育委員会(Ns)	第3木曜	知識・技術の向上、主体性と自主性のある看護職の育成
	看護部教育委員会(CW)	第1木曜	介護職の知識・技術の向上を目的とする
	情報管理委員会	第3木曜	院内における情報管理業務の円滑な運営を目的とする
	機能評価委員会	第2金曜	安全で安心な医療が提供できるよう、日本医療機能評価機構の評価項目を用いながら、医療の質の維持や向上に向けた取り組みを行うことを目的とする

	看護師特定行為管理委員会	第1月曜	本院が行う保健師助産師看護師法第37条の2項第1号に規定する特定行為の円滑な実施を図ることを目的とする
医療安全対策関係	医療安全管理委員会	第2月曜	医療安全管理対策を総合的に企画、実施することを目的とする
	リスクマネジメント部会	第1月曜	医療安全管理対策を実行あるものとするを目的とする
	褥瘡対策委員会	第3・4火曜	褥瘡を予防することを目的とする
	身体抑制廃止委員会	第4金曜	身体抑制廃止へ向けて職員の意識向上を図る
	医療ガス安全管理委員会	年1回	医療ガスの使用上の安全確保を目的とする
	透析機器安全管理委員会	年1回	人工腎臓が安全円滑に行え、安心した透析を提供することを目的とする
	労働安全衛生委員会	第4木曜	職員の安全と健康を確保することによって病院業務の円滑な運営を図る
	防災・防火管理委員会	年1回以上	病院および職員寮における患者・職員等の生命・財産の安全確保を目的とする
	院内感染対策委員会	第3月曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	ICT(感染対策小)委員会	第1月曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	看護部リスクマネジメント委員会	第1月曜	看護部のリスクマネージャーによる院内ラウンドやグループワークを通して安全活動を推進する
	看護部記録委員会	第4木曜	看護記録について勉強会や監査を行い記録の充実を図る
	マニュアル委員会	第4金曜	看護介護に関するマニュアルの見直し
その他	未収金会議	第3金曜	病院の未収金発生を抑制するための院内の諸手続きを定め、個人未収金の減少を目的とした未収金管理の確立及び維持のために必要な事項を定める
	親和会	年4回程度	会員相互の親睦を図る
	エコアクション委員会	2ヶ月に1回	持続可能な社会を構築するために、院内外のエコ活動に取り組み、エコアクション21認定及びその更新を目的とする
	材料部準備委員会	第1月曜	加治木温泉病院で使用するすべての物品を整備し支出を減らすために、各部署の意見を聞きながら物品の変更、削減を行い、安全に治療・ケアが提供出来ることを目的とする
	新規医療機器及び技術評価委員会	第1月曜	加治木温泉病院にて実施したことのない治療を行うための医療機器導入や、技術に関する安全性、倫理的側面を評価することを目的とする

地域リハビリテーション広域支援センター事業

2024年度 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域 地域リハビリテーション広域支援センター活動

加治木温泉病院は 2002 年に鹿児島県より始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センターとして指定されております。始良市・伊佐地域でのリハビリテーション技術支援、研修会の開催、地域住民の方の相談対応、地域包括ケアシステム構築のための協力活動を行っております。2024 年度は地域へのリハ専門職の派遣は各機関のご協力の下、延べ 164 名を派遣することができました。各関係機関の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。2024 度の活動内容は表の通りです。

表. 2024 年度 始良伊佐圏域 地域リハビリテーション広域支援センター活動

地域住民およびリハビリテーション従事者を対象とした研修会等			
年月日	対象（人数）	テーマ	講師
6月9日	始良コミュニティー協議会	「100歳まで自分の足で歩く」	OT1名
7月6日	こども発達支援きらぼし OT・ST	「小児リハビリテーション見学研修」	OT1名 ST1名
7月10日	リハケアウイング株式会社 スタッフ	「療育制度における支援計画策定について」	ST2名
7月29日～ 全12回	リハケアウイング株式会社 スタッフ（保育士）	「療育事業所のスタッフ指導」	ST12名
11月26日	鹿児島県立鹿児島聾学校職員	「聴覚に障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズ」	ST1名
8月22日	青雲会訪問リハスタッフ	「訪問 ST の見学研修」	ST1名
10月28日	（株）リハケアウイング 職員保育士	ことばの発達について （講義・実技デモ・質疑応答）	ST2名
11月7日	（株）リハケアウイング 利用保護者	ことばの発達について-家庭で出来ること （講義・質疑応答）	ST2名
12月6日～ 全8回	田上記念病院	脳卒中上肢へのアプローチ（ロボット療法・電気刺激療法） 質疑応答・実技指導	OT8名
市町等・リハ関連施設への技術支援			
期間	内容	職種	
R6. 4. 4～全 24 回	霧島市児童発達支援事業所発達支援事業	ST 延 24 名	
R6. 4. 16～全 11 回	始良市母子健康相談	PT 延 11 名	
R6. 4. 25～全 20 回	始良市発達支援教室	OT 延 20 名	
R4. 5. 22～全 4 回	始良市教育支援委員会	OT 延 4 名	
R6. 5. 22～全 6 回	始良市地域自立支援協議会子ども部会	ST 延 6 名	
R6. 5. 22～全 11 回	霧島市発達相談	CP 延 11 名	
R6. 4. 25～全 12 回	始良市言語相談会	ST 延 12 名	
R6. 7. 11	始良市地域ケア個別会議研修会	ST1名	
R6. 7. 18～全 8 回	始良市地域ケア個別会議	PT3名、ST8名	
R6. 4. 18～全 12 回	始良市 75 歳お誕生日おめでとう教室	延 PT11名・OT13名	
R6. 11. 1	伊佐市地域リハビリテーション訪問指導	ST1名	
R6. 11. 14～全 2 回	始良市通いの場健康教室	延 PT3名・OT2名	
R7. 3. 16	あいら福祉まつり	PT1名	

加治木温泉病院 学術活動 院内研修

■全職員向け

2024 年度

開催月日	研修内容	講師	研修分類
4月	医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」のチカラ	学研ナーシング	接遇
4月	回復期病棟とは～回復期病棟看護の役割～	有馬美智子 Dr	回復期病棟
5月	感染対策の基本と標準予防策	学研ナーシング	感染対策
5月	みんなでめざす「ハラスメントのない職場」とは	学研ナーシング	労働安全
6月	医療安全委員に多様性がもつチームが欠かせない理由	学研ナーシング	医療安全
6月	守秘義務、個人情報保護の基礎知識	学研ナーシング	個人情報
8月	医療ガスの安全管理と事故防止策	学研ナーシング	医療ガス
8月	排尿自立指導料について	学研ナーシング	排尿自立
9月	さす又使用について	ゼンケイ	医療安全
9月	輸血の基礎	寺野玉枝様	輸血
10月	災害時の医療ニーズに応える多施設間との連携	学研ナーシング	災害対策
10月	臨床における倫理とは	学研ナーシング	医療倫理
11月	インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の感染対策	学研ナーシング	感染対策
11月	スライディングシート・フレックスボードについて	腰痛対策委員会	腰痛予防
11月	生活道路での交通事故を防ぐために	YouTube	交通安全
12月	身体拘束最小化大作戦 ～身体拘束廃止への取り組みについて～	山下主任	身体拘束
12月	医療機器の取り扱いについて	臨床工学室	医療機器
1月	診療用放射線の安全利用の研修	放射線室	放射線
1月	「SDGs」	YouTube	SGDs
2月	チーム力を底上げする！薬剤師との連携	学研ナーシング	薬局より
2月	腰痛予防体操について	腰痛対策委員会	腰痛予防
3月	医療従事者・初学者向けサイバーセキュリティ研修	菊池課長	サイバーセキュリティ
3月	看護師が知っておきたいADL評価指標とその活用	学研ナーシング	パーセルインデックス

■症例報告・最新情報カンファレンス

加治木温泉病院の症例カンファレンスは、治す医療から治し支える医療への医療の概念の変化に伴い、激変する医療・介護・福祉情勢を考慮し、会に参加する医療従事者並びに事務系の職員、多くのステークホルダーの方々が医療・介護・福祉・社会制度・社会的知識等の理解と見識を相互に深めることを目的とし、発表者が経験した症例や考察、専門知識等の発表並びに発表者が興味を持つ医療・介護以外の領域の発表も行っております。

開催月日	研修内容	講師
4月	潰瘍性大腸炎について	児島先生
5月	脳卒中患者の運転再開支援について	有馬美智子先生
6月	法令上の感染症分類について	野村先生
7月	歯周病について	伊東先生
8月	骨粗鬆症・二次性骨折予防継続管理料	川路先生
9月	特発性正常圧水頭症	新納医師
10月	P/F pO2 pCO2 の値から人工呼吸器を設定する	伊藤先生
11月	透析医療最近のトピック	中西先生
12月	嘔吐の原因と制吐剤	坂元先生
1月	漢方の便秘薬	宗岡先生
3月	パーキンソン病	折田先生

■第23回 看護研究発表会

感染症拡大の為、資料配布のみ

第一部 座長:清田安里紗 (2階西病棟副主任)

- 演題1 3階西病棟 入院時病棟オリエンテーションのパンフレットを見直して
発表者:別府翼
- 演題2 介護医療院 個別性に合わせた経鼻経管栄養カテーテルの固定方法を試みて
発表者:徳留千鶴
- 演題3 人工腎臓センター 看取り支援を通して他職種連携の重要性と今後の課題
発表者:内野智草
- 演題4 2階南病棟 看護師のコストに対する意識の向上
発表者:牧佳奈美
- 演題5 外来 健康増進の取り組み～職員の禁煙外来受診推奨を目指して～
発表者:小倉春佳

第二部 座長:芝正隆 (3階西病棟副主任)

- 演題6 2階西病棟 失禁を有する高齢者における IAD の発生および悪化予防に対する撥水性皮膚保護剤の効果の検討
発表者:中村祐乃
- 演題7 介護医療院おはな 介護医療院における排泄支援の取り組み～IT 機器を活用した個別ケアの成果と課題～
発表者:堀田照代
- 演題8 3階南病棟 患者の短期目標を設定して介入していくことで FIM の向上に繋がった 1 例
発表者:山崎映里菜
- 演題9 2階東病棟 患者の整容・環境整備改善への取り組み～スタッフの意識・実態の変化～
発表者:米津岬

■第23回 介護研究発表会

感染症拡大の為、資料配布のみ

司会進行:林隆一郎 (介護医療院おはな)

- 演題1 風通しのよい職場をめざして
発表者:福村真奈美
共同研究者:安楽英敏, 古江隆之, 松元将悟, 永田大樹, 濱田治広, 小園友和, 清水優里恵, 村山孝一郎, 東堂園由里子, 英加那子, 藤井みゆき
- 演題2 スピーチロック防止への取り組み
発表者:東堂園由里子
共同研究者:村山孝一郎, 小園友和, 清水優理恵, 濱田治広, 英加奈子

■第12回 コメディカル研究発表会

2025年1月23日 (木)

一、開会の言葉

一、一般演題発表

座長 米山拓 主任

演題1 回復期リハビリテーション病棟における自動車運転再開に関する要因の分析

総合リハビリテーションセンター: 岩城優

演題2 回復期リハビリテーション病棟における低栄養患者へ

パワーライスを用いた栄養改善の取り組み

栄養室: 六車美優

演題3 簡易懸濁とろみ法導入に向けた取り組み

薬局: 飛知和まり子

座長 山之上清子 副主任

演題4 放射線室におけるノーコードツールを利用した業務改善

放射線室: 佃祐也

演題5 電子カルテアプリを利用した未収金回収システムの構築

医事課: 川野敬太

一、総評 上奥誠 課長

一、閉会の言葉

■第26回始良地区研究発表会

2025年4月16日 月曜日 (2024年3月19日予定を感染症拡大の為延期)

一、開会の言葉

一、挨拶 夏越祥次 院長

一、演題発表

座長 竹之内靖子 課長代理

演題1 2事業所協働の看取り対応について

～事業所間兼務業務を通して見えてきたこと～

ケアレジデンスお福: 前原三男

演題2 簡易懸濁とろみ法導入に向けた取り組み

薬局: 飛知和まり子

演題3 失禁を有する高齢者における IAD の発生および悪化予防に対する撥水性皮膚保護剤の効果の検討

2階西病棟: 大牟禮和子

座長 原口久美子 師長

演題4 回復期リハビリテーション病棟における低栄養患者へ

パワーライスを用いた栄養改善の取り組み

栄養室: 六車美優

演題5 看護師のコストに対する意識の向上

2階南病棟: 牧佳奈美

演題6 風通しのよい職場をめざして

2階西病棟: 福村真奈美

一、総評 穂満博文 副院長

一、閉会の言葉

加治木温泉病院 実習受入れ

看護部

月 日	学校名	参加人員
5月8日～5月23日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	7名
5月27日～6月13日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	9名
7月1日～7月19日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	9名
7月22日～8月8日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	9名
8月26日～9月12日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	7名
9月17日～10月10日	龍桜高等学校 基礎課程3年生（成人・老年看護学Ⅰ）	27名
10月15日～10月31日	龍桜高等学校 専門課程2年生（在宅看護論）	9名
11月11日～11月22日	龍桜高等学校 基礎課程2年生（基礎看護学）	27名
R7.1月23日～2月6日	龍桜高等学校 専門課程2・3年生 （看護臨地実習基礎看護学Ⅱ・看護臨地実習 成人・老年看護学Ⅰ）	17名
	計	121名

総合リハビリテーションセンター

月 日	学校名	参加人員
4月8日～4月26日	鹿児島大学 PT	2名
4月22日～6月10日	神村学園専修学校 PT	1名
4月22日～6月10日	第一医療リハビリ専門学校 PT	1名
5月13日～7月5日	鹿児島大学 PT	1名
5月13日～7月5日	鹿児島医療福祉専門学校 PT	1名
7月8日～7月19日	神村学園専修学校 PT	1名
7月15日～9月9日	第一医療リハビリ専門学校 PT	1名
7月22日～9月13日	鹿児島大学 PT	1名
9月5日～9月9日	鹿児島医療技術専門学校 PT	1名
9月12日	鹿児島大学 PT	5名
9月16日～9月20日	神村学園専修学校 PT	1名
11月11日～12月6日	鹿児島医療福祉専門学校 PT	1名
4月15日～6月8日	鹿児島第一医療専門学校 OT	1名
7月14日～9月7日	鹿児島大学 OT	1名
8月6日～8月8日	神村学園専修学校 OT	2名
9月19日	鹿児島大学 OT	3名
11月11日～12月7日	神村学園専修学校 OT	1名
11月11日～11月29日	鹿児島医療技術専門学校 OT	1名
2月3日～2月8日	鹿児島第一医療専門学校 OT	1名
2月10日～3月1日	第一医療リハビリ専門学校 OT	1名
5月13日～7月5日	鹿児島医療技術専門学校 ST	1名
6月3日～7月27日	九州保健福祉大学 ST	1名
7月1日～8月10日	国際医療福祉大学 ST	1名
9月2日～10月25日	県立広島大学 ST	1名
10月7日～11月2日	九州保健福祉大学 ST	1名
	計	33名

放射線室

月 日	学校名	参加人員
10月1日～10月25日	鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科3年	1名

栄養室

月 日	学校名	参加人員
9月4日～9月18日	鹿児島純心大学	1名

地域医療連携センター

月 日	学校名	参加人員
8月1日～9月3日	宮崎福祉医療カレッジ 社会福祉士学科 ソーシャルワーク実習	1名
10月1日～10月10日	社会福祉士養成所通信課程 ソーシャルワーク実習	1名
R7.2月3日～3月7日	熊本YMCA学院 ソーシャルワーク実習	1名
	計	3名

臨床工学室

月 日	学校名	参加人員
7月23日～8月5日	天文館メディカルカレッジ	2名

医療法人 玉昌会

キラメキテラス
ヘルスケアホスピタル

2024 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

医療法人玉昌会 鹿児島地区担当理事 上村 章
キラメキテラスヘルスケアホスピタル 院長



2024 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて、一言御挨拶申し上げます。

まずは、2024 年度も多く医療機関や介護福祉分野の事業所、さらに地域の皆様方にキラメキテラスヘルスケアホスピタルならびに鹿児島地区の在宅サービス事業部がたいへんお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

2024 年もコロナは収束には至りませんでした。2023 年 5 月から 5 類に変更になったこともあり、社会のコロナに対する警戒はだいぶ薄くなったように思われます。戸外でマスクを着用されている方もめっきり少なくなりました。

その一方、2024 年も年初と夏場にかけてコロナの大きな流行があり、年末から 2025 年の年初にはインフルエンザとの同時流行もありました。

そのような中で当院は、マスクの着用や手指消毒、換気などの基本的な感染対策を従来通り行い、院内の各種会議や勉強会などは対面で継続しました。医療機関との連携の会や新人歓迎会などの年間行事もお陰さまで計画通り行うことができました。今後も基本的な感染対策を徹底しながら、さまざまな会議や勉強会、行事などを行っていきたくと考えています。

病院の経営に関しましては 2024 年 7 月より 3 階病棟 37 床を医療療養病棟から回復期リハビリテーション病棟に転換しました。当院は従来から血液透析を行っていますが、血液透析と回復期リハビリテーションの両方を行っている施設は鹿児島市内でも限られています。近年、透析患者さんの回復期リハビリテーションのニーズが増加しつつあり、当院でも透析患者さんの受け入れ待機期間が長くなっていましたので、病床転換による増床でより迅速な受け入れが可能となりました。ちなみに、病床転換により当院は 3 階病棟 37 床、4 階病棟 55 床で計 92 床の回復期ベッドを有しています。今後もより一層リハビリテーションの充実を図っていきます。

2024 年度のトピックスとしまして、2024 年 10 月に当院リハビリテーション室は NPO 法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会より全国で初めて、ヒアリングフレイル予防認定施設に認定され、10 月 5 日の認定式典には同協会名誉総裁であられる三笠宮瑤子女王殿下のご臨席を賜りました。

フレイルとは身体機能の衰えを表す言葉です。聴力機能の衰えたヒアリングフレイルの方は日常の様々な面で生活の質が低下し、周囲とのコミュニケーションが難しくなって認知症のリスクも高くなります。当院リハビリ室は院内ではヒアリングフレイルの方へ対話支援機器を積極的に活用し、院外でも地域公開講座などを通じて、ヒアリングフレイルや難聴に関する

院長よりご挨拶

る普及啓発活動や予防活動などを続けてきました。このような地道な努力を評価頂けたものと思います。今後も病院全体で取り組みを続けていく所存です。

2024年は人手不足がより深刻になったように感じます。当院も今後のスタッフの確保が困難との予測から、2024年度上期で通所リハビリや系列の有料老人ホームを休止するに至っています。加えて昨今の物価高も加わり、病院の運営は厳しさを増しています。国内の景気は引き続きゆるやかな回復基調を続けているといわれ、大手企業を中心に大幅な賃上げの話題も聞きますが、医療界には恩恵は乏しく、多く病院は赤字に苦しんでいます。

当院も経費の節減などに取り組んでいますが、現在の状況は一医療機関の努力だけで克服することは困難であると思われます。国民が安心して暮らしていける医療体制をいかに維持していくか真剣な議論が必要と思います。

非常に厳しい環境ではありますが、当院は医療を支える人材を確保するために、より働きやすく働きがいのある職場を目指した取り組みを続けています。今後も働き方改革や健康経営をさらに進め、一人一人の職員がより生き生きと熱意をもって働くことで、安心して安全な医療を継続したいと考えます。

2024年度のご協力を改めて感謝申し上げます。2025年度も変わらぬご指導・ご鞭撻をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年度 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

《理 念》

患者さんの意思と権利を尊重し、「医療人としての感性（低賞感微）」に満ちた医療・福祉活動を提供します

《基本方針》

1. 慢性期病院としての豊かな「感性・知識」に基づいたヒューマン・サービスの提供を全職員で目指します。
2. 地域との連携及び病診連携を図り、在宅復帰に向けたシームレスでしかも一貫した高齢者医療や福祉を目指し、地域社会の幸福に貢献します。
3. 予防医学（健康診断・人間ドック）の充実を図り、生活習慣病の予防・早期発見を目指し、地域社会の発展に貢献します。
4. 職員の生活向上と幸福に寄与します。

《運営方針》

- 思いやりのある患者中心の医療を進める
 - 職員は心身の健康を保ち、良好な状態で患者に接するよう努力する。
 - お互いを尊重し、協力して明るく働きやすい職場環境を作る。
 - 自己研鑽に努め自身ならびに組織の能力を高め、患者と社会に還元する。
- 安定した病院経営を進める
 - 昨年と同様、各部署は緊密に連携し病床の年間稼働率 97%達成を目指す。
 - 3階病棟の回復期への転換を病院全体で協力して円滑に進める。
 - 外来患者数増加のために引き続き病院全体で取り組む。
- 将来に向けた取り組みを進める
 - 業務の見直しと効率化を進め、ゆとりを作り有効に活用する。
 - 業務改善のためにデジタルトランスフォーメーションを一層進める。
 - 来年の機能評価高度機能の受審に向けた取り組みを進める。

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

- 1957年 1月 高田医院開設 病床数 19 床
- 1962年 8月 医療法人 玉昌会 設立認可
- 1976年 7月 人工透析治療開始
- 1985年 10月 高田内科病院を高田病院に名称変更
増改築により 167 床
- 1986年 4月 人間ドック開始
- 1986年 11月 12 床増床し、許可病床 179 床
- 1994年 8月 老人デイケア（Ⅱ）開始
- 1998年 12月 療養二群入院医療管理（Ⅰ）
- 2000年 4月 療養病棟入院基本料 1
介護療養型医療施設（106 床）
通所リハビリテーション開始
- 2000年 12月 介護療養型医療施設（105 床）
- 2003年 8月 （財）日本医療機能評価機構「認定証」取得
- 2005年 9月 介護療養型医療施設（60 床）
療養病棟入院基本料 1（119 床）
- 2006年 4月 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 2006年 8月 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 2007年 8月 訪問リハビリテーション開始
- 2008年 8月 日本医療機能評価機構「Ver. 5 認定証」取得
- 2009年 6月 療養病棟入院基本料（179 床）
- 2009年 9月 回復期リハビリテーション病棟基準承認（30 床）
療養病棟入院基本料（149 床）
- 2010年 4月 療養病棟入院基本料 1（45 床）
療養病棟入院基本料 2（104 床）
- 2010年 11月 療養病棟入院基本料 1（89 床）
療養病棟入院基本料 2（60 床）
- 2011年 4月 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定医療機関取得
- 2011年 6月 在宅療養支援病院
- 2012年 6月 日本慢性期医療協会「慢性期医療認定病院」認定
- 2013年 8月 日本医療機能評価機構「3rdG:Ver. 1.0 認定証」取得
- 2013年 8月 持続性推進機構「エコアクション 21」認定
- 2014年 4月 在宅復帰機能強化加算（89 床）
呼吸器リハビリテーション（Ⅱ）
- 2014年 10月 電子カルテ導入
- 2015年 4月 船員手帳の健康診断 開始

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの沿革

2015年	4月	呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
2015年	6月	がん患者リハビリテーション料
2016年	3月	療養病棟療養環境改善加算 1
2016年	4月	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
2016年	6月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 排尿自立指導料
2016年	9月	退院支援加算 1 認知症ケア加算 算定開始
2017年	4月	地域包括ケア入院医療管理料 2（14床）
2017年	7月	療養病棟入院基本料 1（135床） 地域包括ケア入院医療管理料 1（14床）
2017年	12月	療養病棟入院基本料 1（129床） 地域包括ケア入院医療管理料 1（20床）
2018年	8月	日本医療機能評価機構「3rdG:Ver. 2.0 認定証」取得
2019年	2月	新病院建設工事起工式
2019年	6月	地域包括ケア入院医療管理料 1（30床）
2021年	2月	高田病院をキラメキテラスヘルスケアホスピタルに名称変更 堀江町から高麗町に移転開院
2021年	6月	鰯坂クリニックを統合し、トータルウェルネスセンターを新設
2021年	9月	病床種別変更（療養 96床・一般 83床） 地域一般病棟入院料 1（13床）取得
2021年	10月	病床を 19床増床し、198床
2021年	12月	新電子カルテ導入
2022年	6月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1（41床） 療養病棟入院基本料 1（103床）
2022年	12月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1（48床） 療養病棟入院基本料 1（96床）
2022年	12月	救急告示病院指定
2023年	3月	国土交通省 短期入院協力病院 認定
2023年	6月	地域包括ケア病棟入院医療管理料 1（45床） 地域一般入院料 1（9床）
2023年	6月	鹿児島県高次脳機能障害者支援協力病院 指定
2023年	10月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1（55床） 療養病棟入院基本料 1（89床）
2024年	6月	日本医療機能評価機構「3rdG:Ver. 3.0 認定」更新
2024年	7月	回復期リハビリテーション病棟入院料 5（37床） 療養病棟入院基本料 1（52床）
2025年	1月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1（92床）

キラメキテラスヘルスケアホスピタルの概要

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 2024 年度概要

名 称 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

所 在 地 〒890-0051

鹿児島県鹿児島市高麗町 43 番 30 号

TEL (099) 250-5600 FAX (099) 250-5151

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 病院長 上村 章

診 療 科 目 内科 腎臓内科(人工透析) 肝臓内科 消化器内科 循環器内科
呼吸器内科 糖尿病内科 脳神経内科 心療内科 泌尿器科 皮膚科
リハビリテーション科 整形外科

病 床 数 198 床

地域一般病棟入院料 1 9 床

地域包括ケア入院医療管理料 1 45 床

回復期リハビリテーション病棟入院料 1 92 床

療養病棟入院基本料 1 52 床

社会保険等指定

健康保険、国民健康保険、労災保険、生活保護、
身体障害者福祉法指定医、原子爆弾被爆者一般疾病医療、
自立支援医療(更正医療)

施 設 基 準 療養病棟入院基本料 1(52 床)

地域包括ケア入院医療管理料 1(45 床)

地域一般病棟入院基本料 1 (9 床)

回復期リハビリテーション病棟入院料 1(92 床)

機能強化加算、看護補助加算 2

脳血管疾患等リハビリテーション料(I)

運動器リハビリテーション料(I)

呼吸器リハビリテーション料(I)

がん患者リハビリテーション料

療養病棟療養環境加算 1、療養環境加算、医療機器安全管理料 1

感染防止対策加算 3、診療録管理体制加算 3、医療安全対策加算 2

入退院支援加算 1、認知症ケア加算 2、外来排尿自立指導料

排尿自立支援加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
人工腎臓（慢性維持透析 1）、導入期加算 1、
下肢末梢動脈疾患指導管理加算、糖尿病合併症管理料
医師事務作業補助体制加算 2
データ提出加算 2・4、薬剤管理指導料、
後発医薬品使用提供加算 1、地域連携診療計画退院時指導料（I）
情報通信機器を用いた診療に係る基準
医療 DX 推進体制整備加算
二次性骨折予防継続管理料 2・3
入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）、
在宅療養支援病院 3、在宅がん医療総合診療料
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料

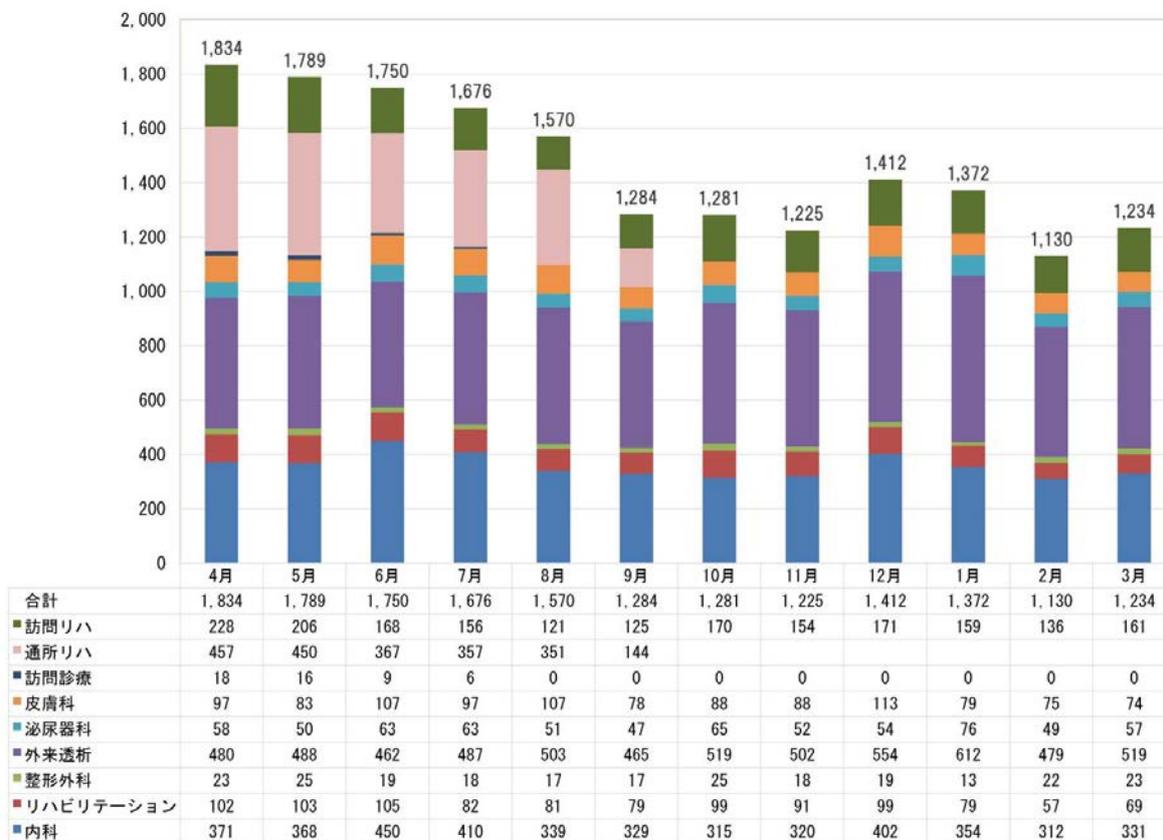
広 報 誌 而今（年 4 回発行）

そ の 他 ・ 日本医療機能評価機構 認定 (3rdG:Ver3.0)

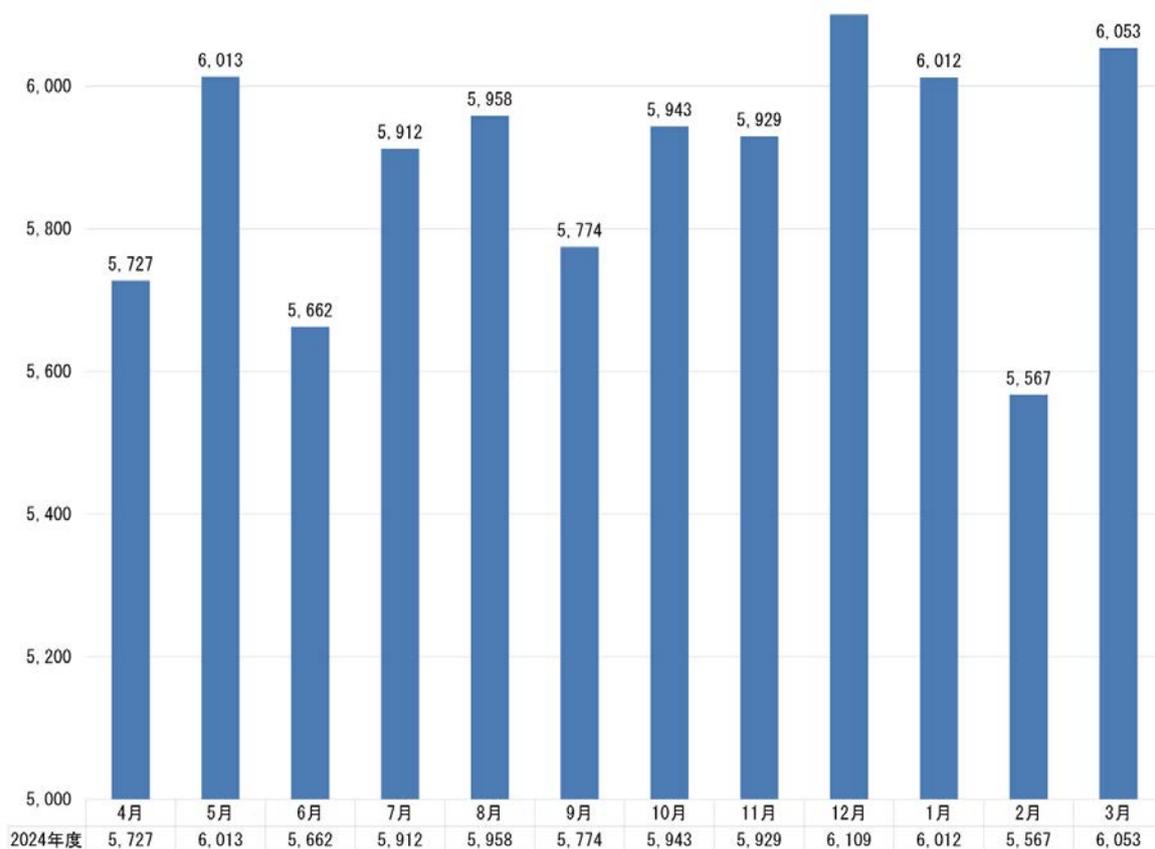
- ・ 慢性期医療認定病院
- ・ 日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・ 在宅療養支援病院
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 訪問看護
- ・ 人間ドック (1 日コース・2 日コース)
- ・ 健康診断 (特定健診・特定保健指導)
- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- ・ 看護学校実習病院
- ・ 医療福祉実習病院 (リハビリ・社会福祉・栄養関係)
- ・ 医学生実習病院
- ・ 薬学生 長期実務実習受入施設
- ・ かごしま子育て応援企業登録
- ・ 持続性推進機構 エコアクション 21 (環境省推奨) 認定
- ・ 診療・検査医療機関 指定
- ・ 肝疾患治療かかりつけ医療機関
- ・ 救急告示病院
- ・ 国土交通省 短期入院協力病院

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

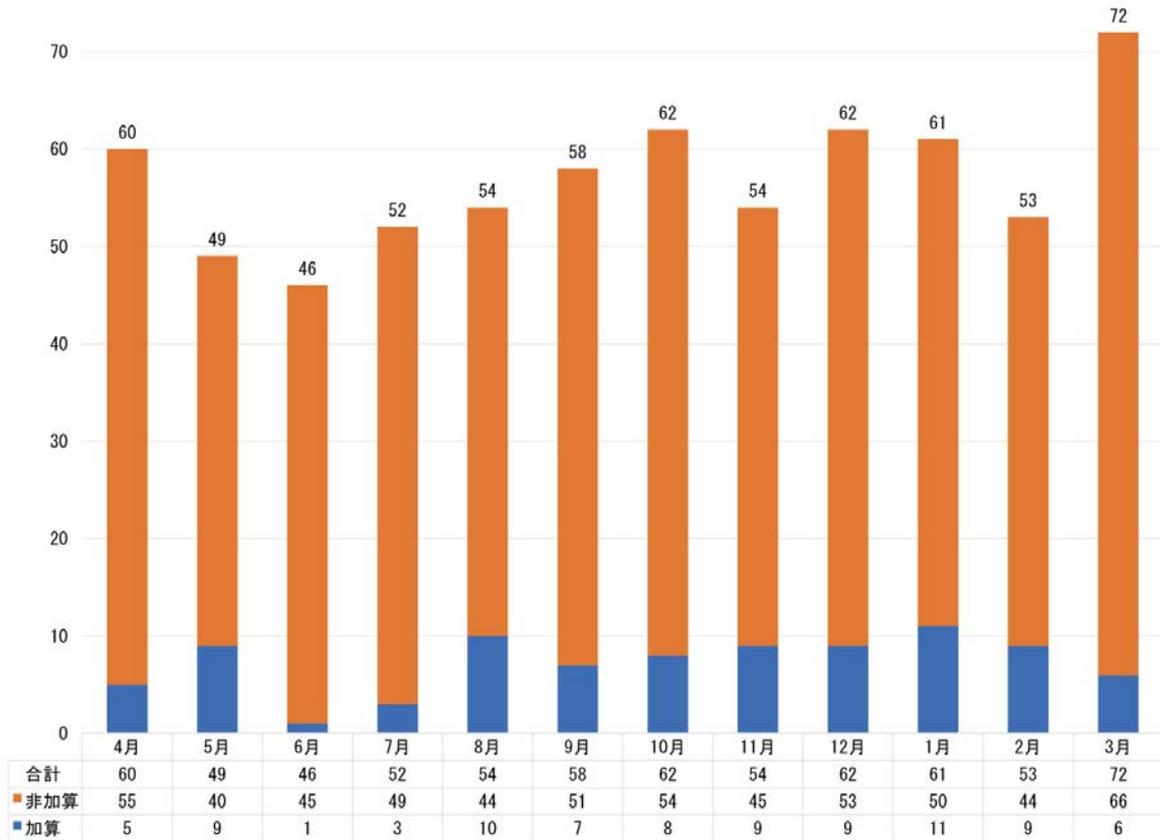
2024 年度 外来患者数診療科目別内訳



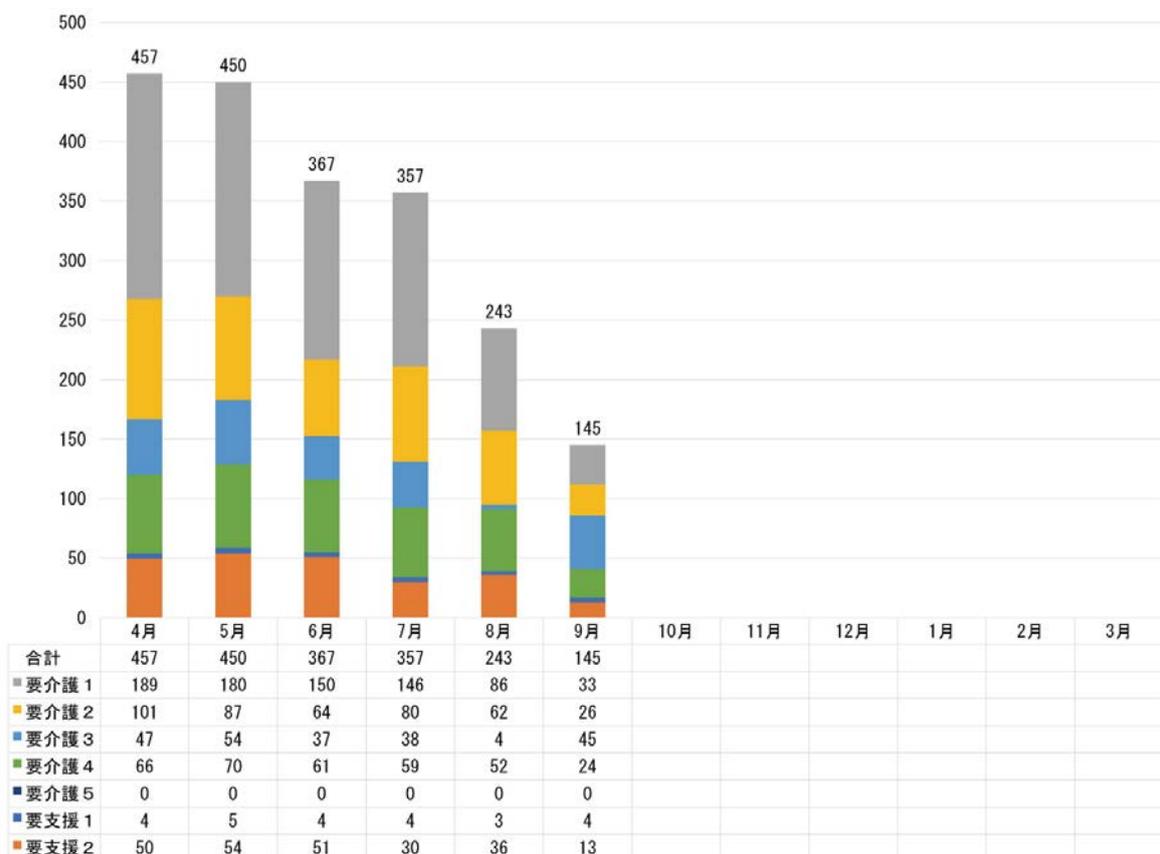
2024 年度 入院患者数



2024 年度 栄養指導件数

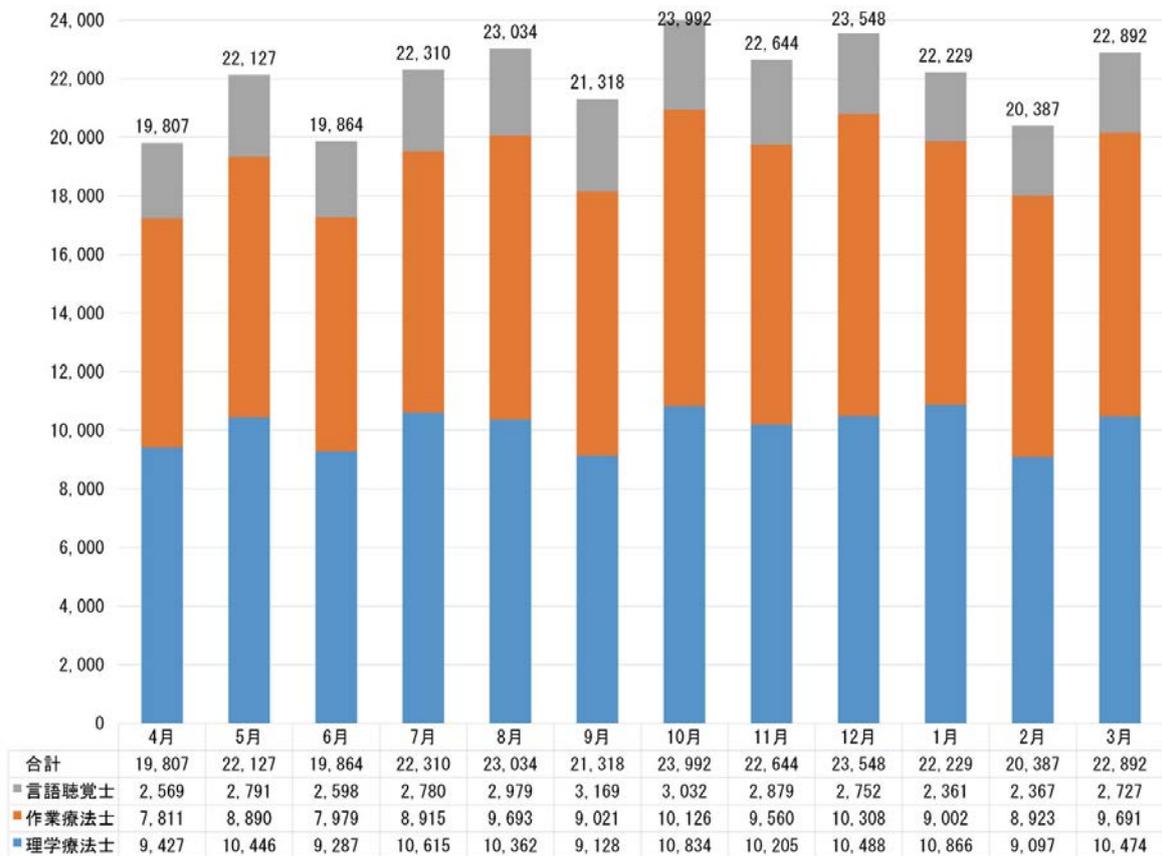


2024 年度 通所リハビリ利用者数 (2024 年 9 月休止)

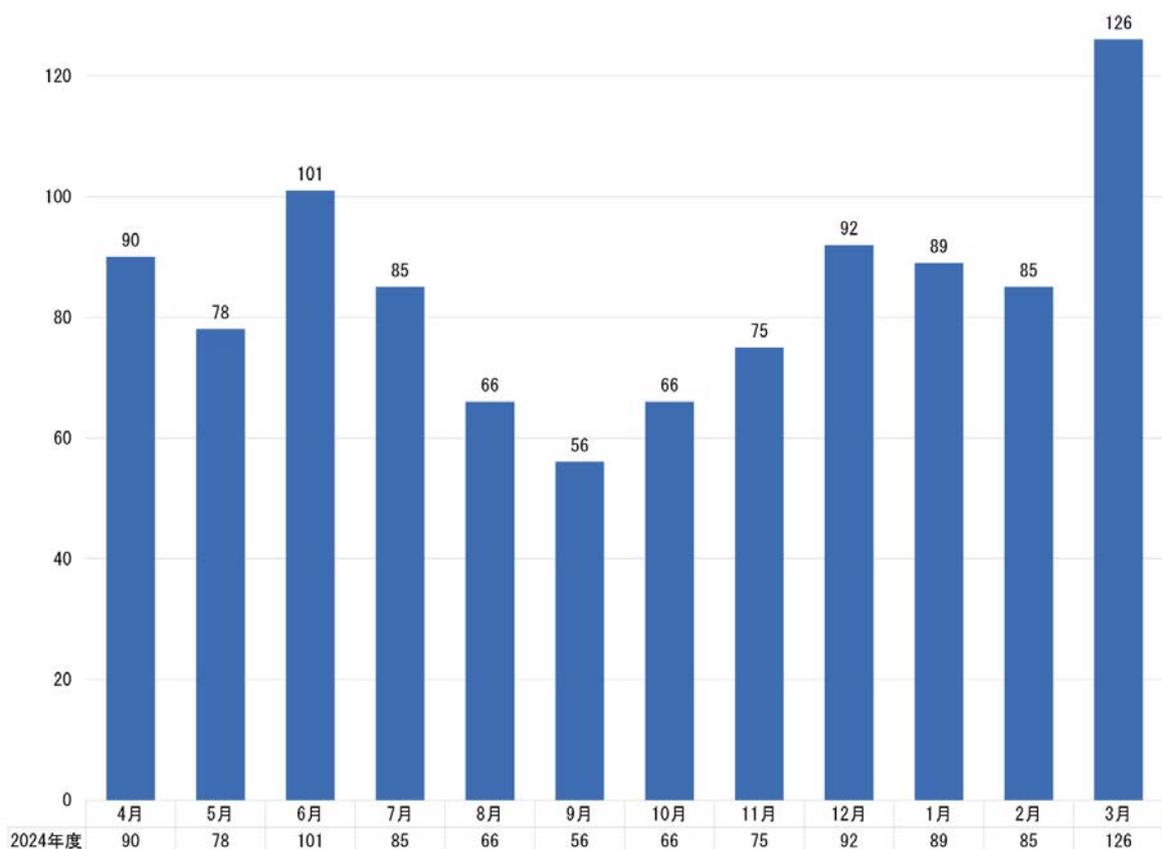


キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

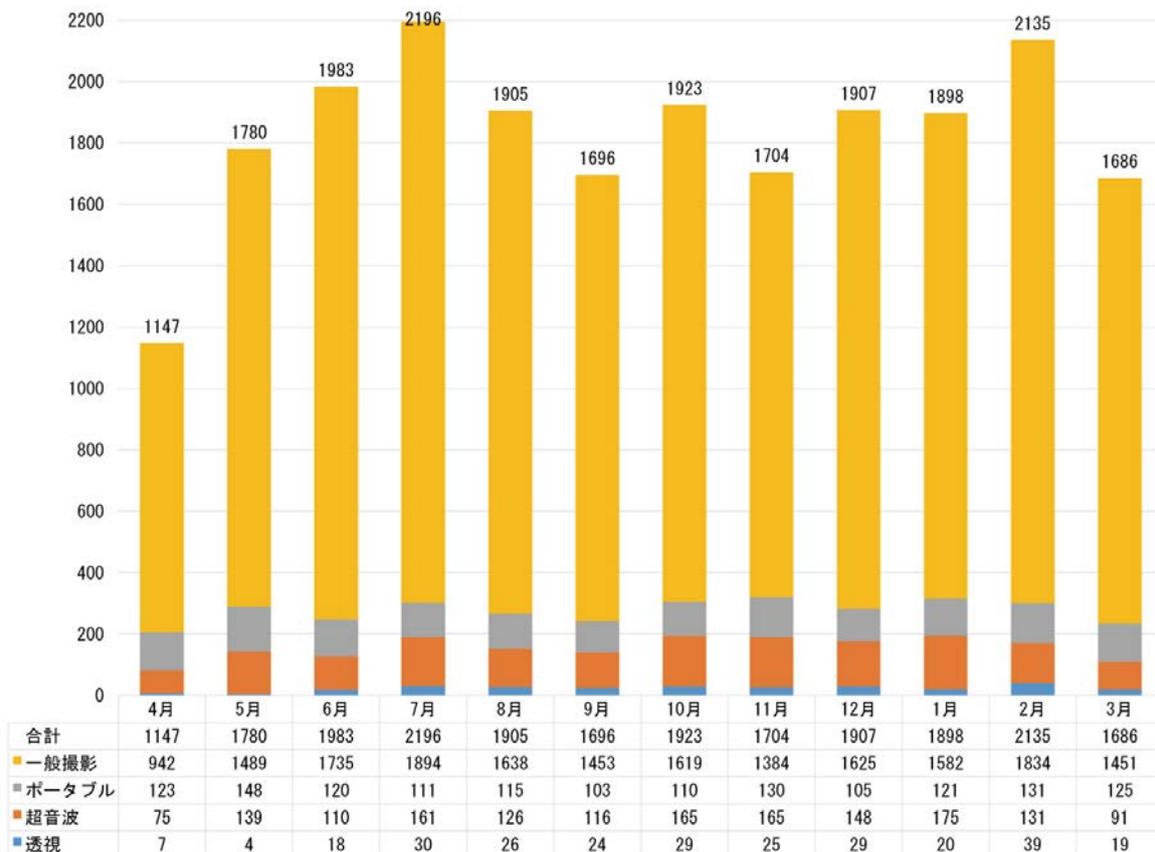
2024 年度 リハビリテーション室患者取扱数



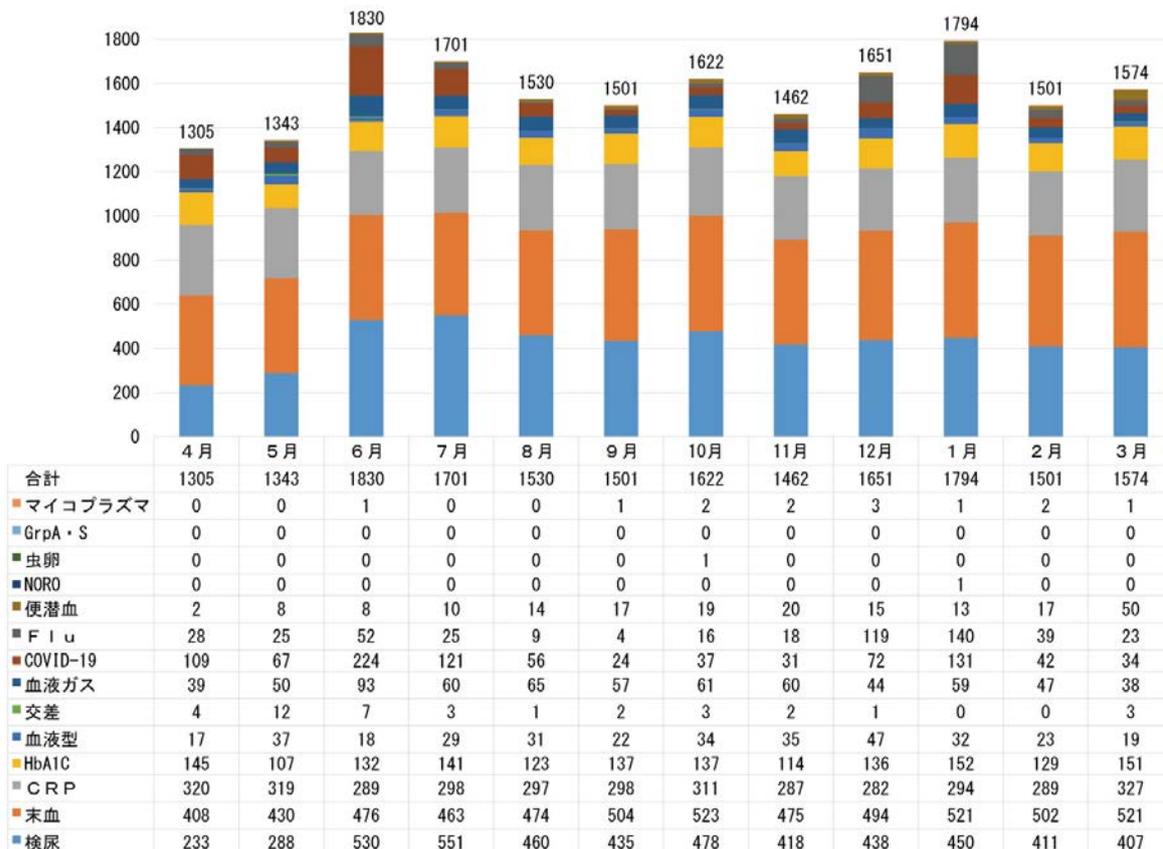
2024 年度 服薬指導件数



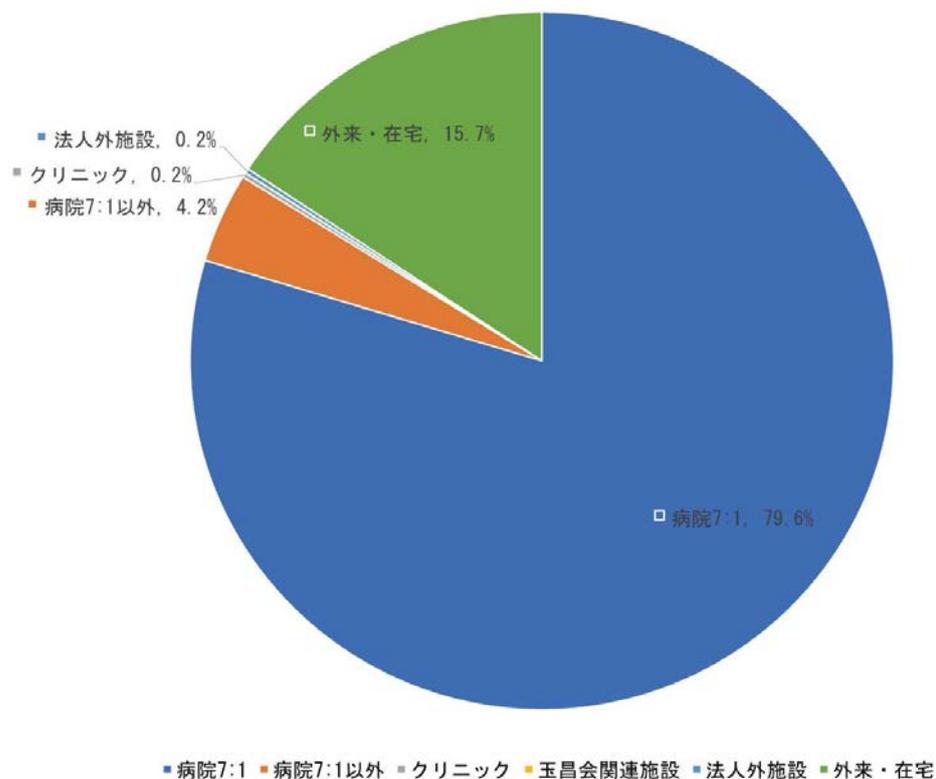
2024 年度 月別放射線室取扱件数



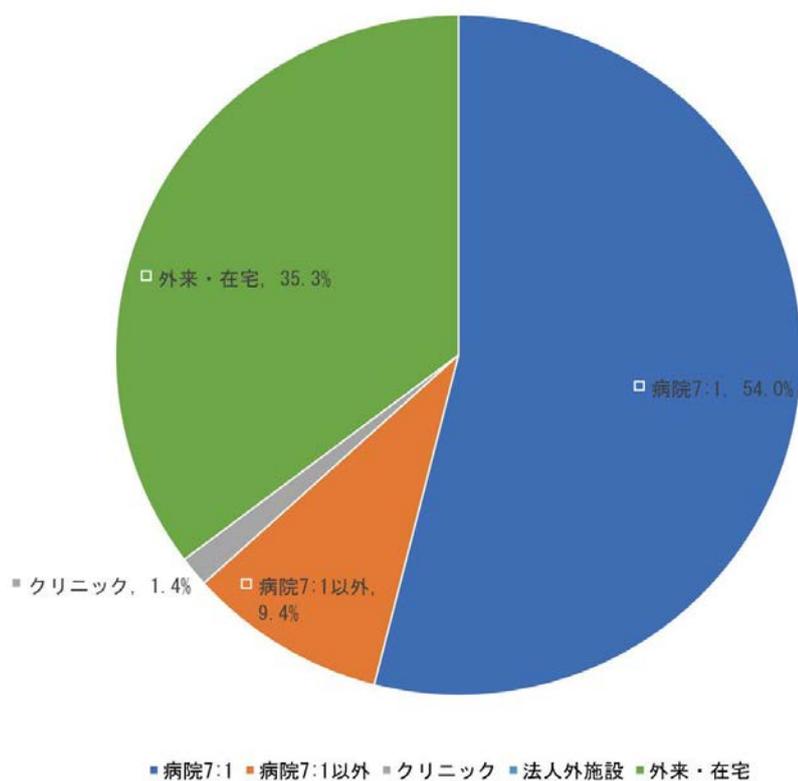
2024 年度 月別検査室取扱件数



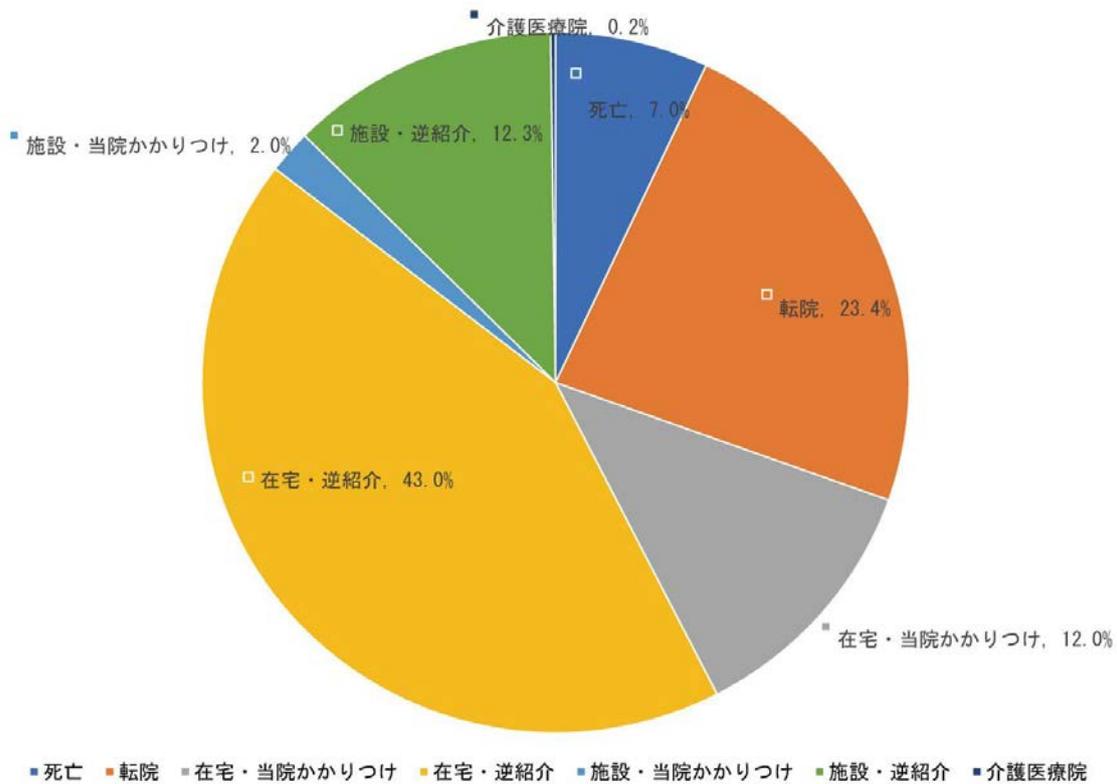
2024 年度 紹介元別割合



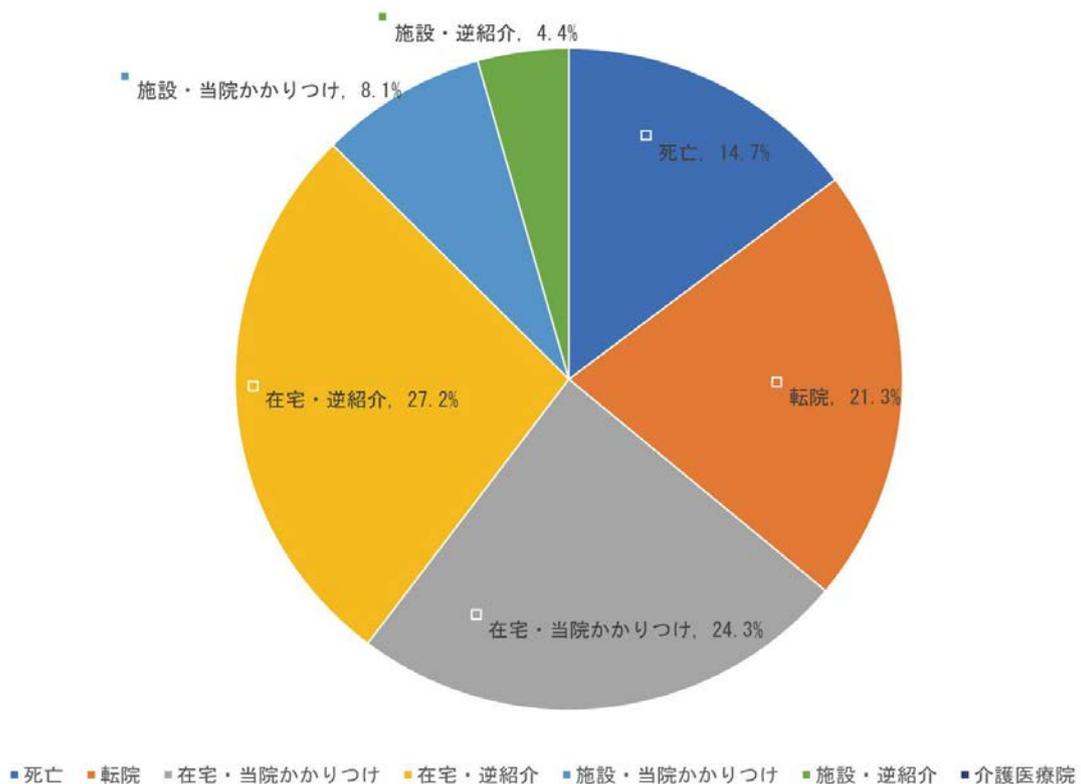
2024 年度 紹介元別割合（透析）



2024 年度 逆紹介元別割合

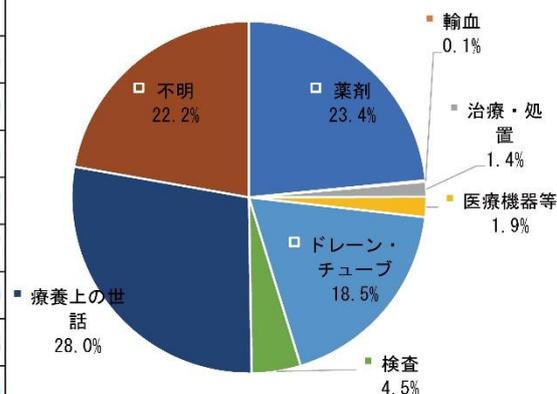


2024 年度 逆紹介元別割合（透析）



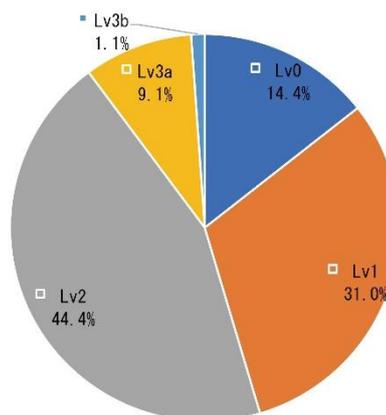
2024 年度 インシデント・アクシデント発生割合

	インシデント	アクシデント
薬剤	184	5
輸血	1	0
治療・処置	6	5
医療機器等	13	2
ドレーン・チューブ	132	17
検査	36	0
療養上の世話	188	38
不明	164	15



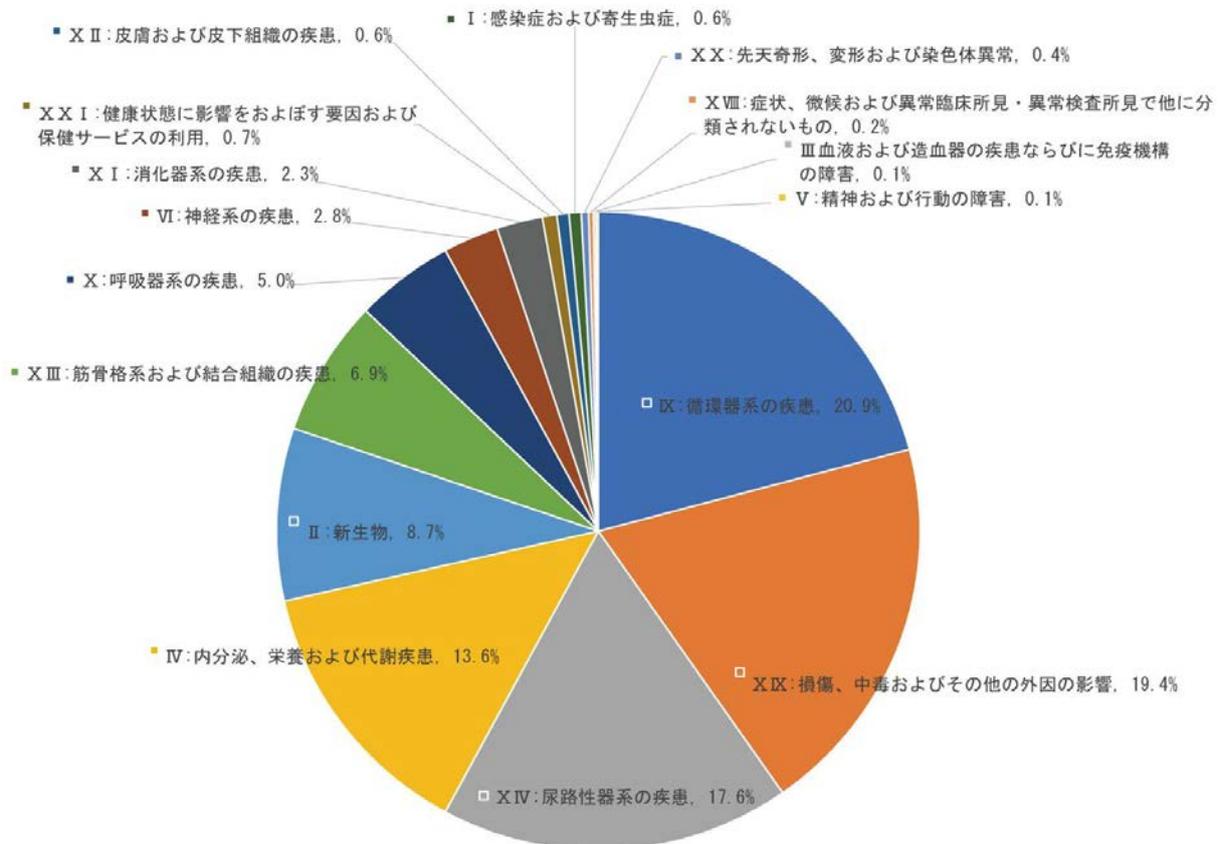
2024 年度 事故レベル別割合

		インシデント	アクシデント
Lv0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった	116	0
Lv1	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）	250	0
Lv2	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）	358	0
Lv3a	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）	0	73
Lv3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）	0	9
Lv4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない	0	0
Lv4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う	0	0
Lv5	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）	0	0



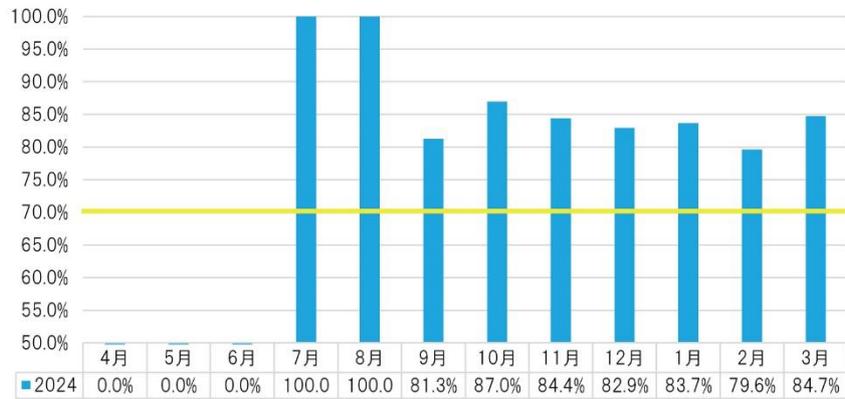
2024 年度 疾病別患者数

大分類名	2024年度
IX:循環器系の疾患	172
XIX:損傷、中毒およびその他の外因の影響	160
XIV:尿路性器系の疾患	145
IV:内分泌、栄養および代謝疾患	112
II:新生物	72
XIII:筋骨格系および結合組織の疾患	57
X:呼吸器系の疾患	41
VI:神経系の疾患	23
XI:消化器系の疾患	19
XXI:健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	6
XII:皮膚および皮下組織の疾患	5
I:感染症および寄生虫症	5
XX:先天奇形、変形および染色体異常	3
XVIII:症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2
III血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1
V:精神および行動の障害	1
総計	824

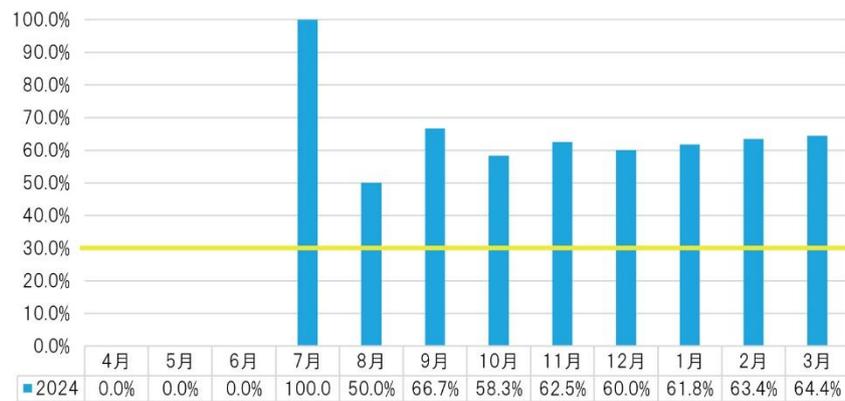


回復期リハビリテーション3階病棟の実績

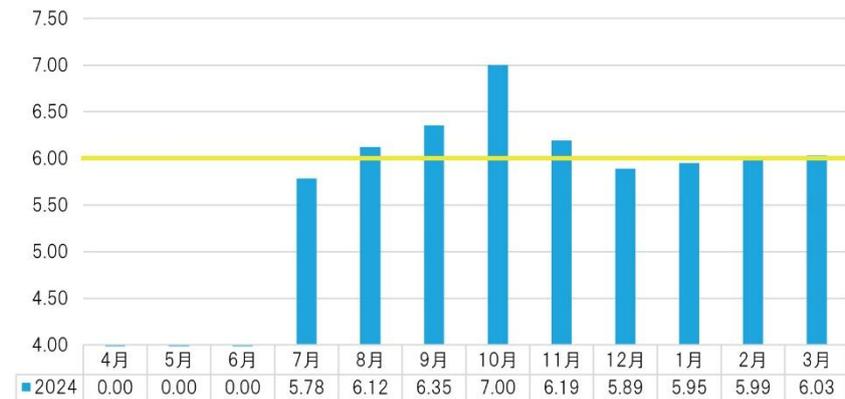
在宅復帰率 70%以上



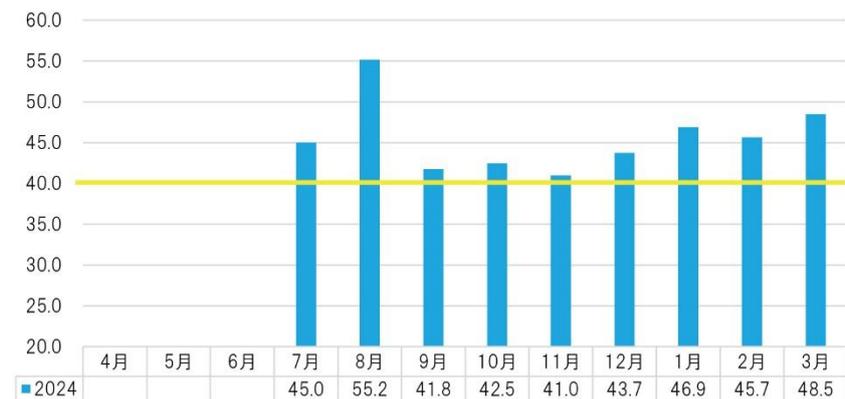
重症者改善率 30%以上 ※退院時：日常生活機能評価 4 点以上改善または FIM 総得点 16 点以上改善



リハビリ実施単位数 患者 1 日あたり提供単位数平均 6.0 単位

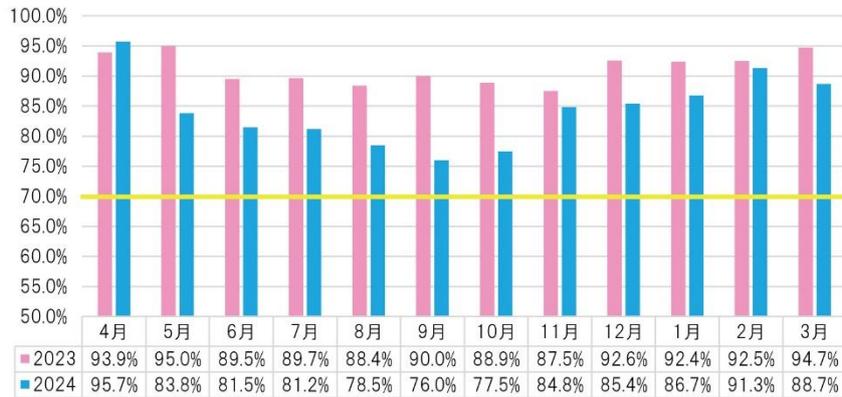


アウトカム実績指数 40 以上

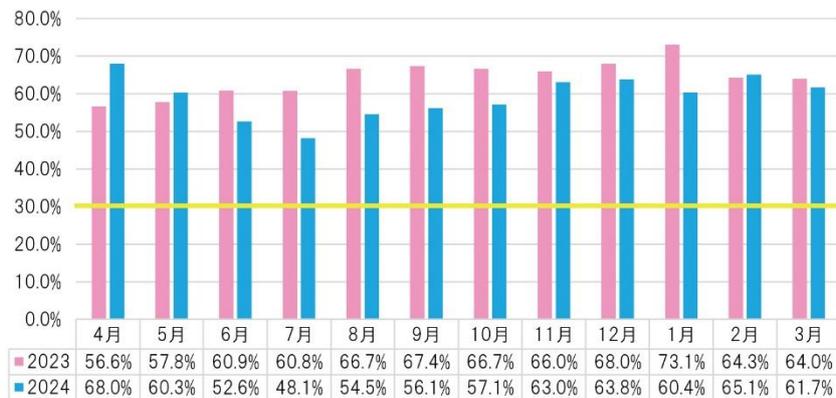


回復期リハビリテーション4階病棟の実績

在宅復帰率 70%以上



重症者改善率 30%以上 ※退院時：日常生活機能評価4点以上改善またはFIM総得点16点以上改善



リハビリ実施単位数 患者1日あたり提供単位数平均6.0単位



アウトカム実績指数 40以上



回復期リハビリテーションの実績 合算

在宅復帰率 70%以上



重症者改善率 30%以上 ※退院時：日常生活機能評価 4 点以上改善または FIM 総得点 16 点以上改善



リハビリ実施単位数 患者 1 日あたり提供単位数平均 6.0 単位

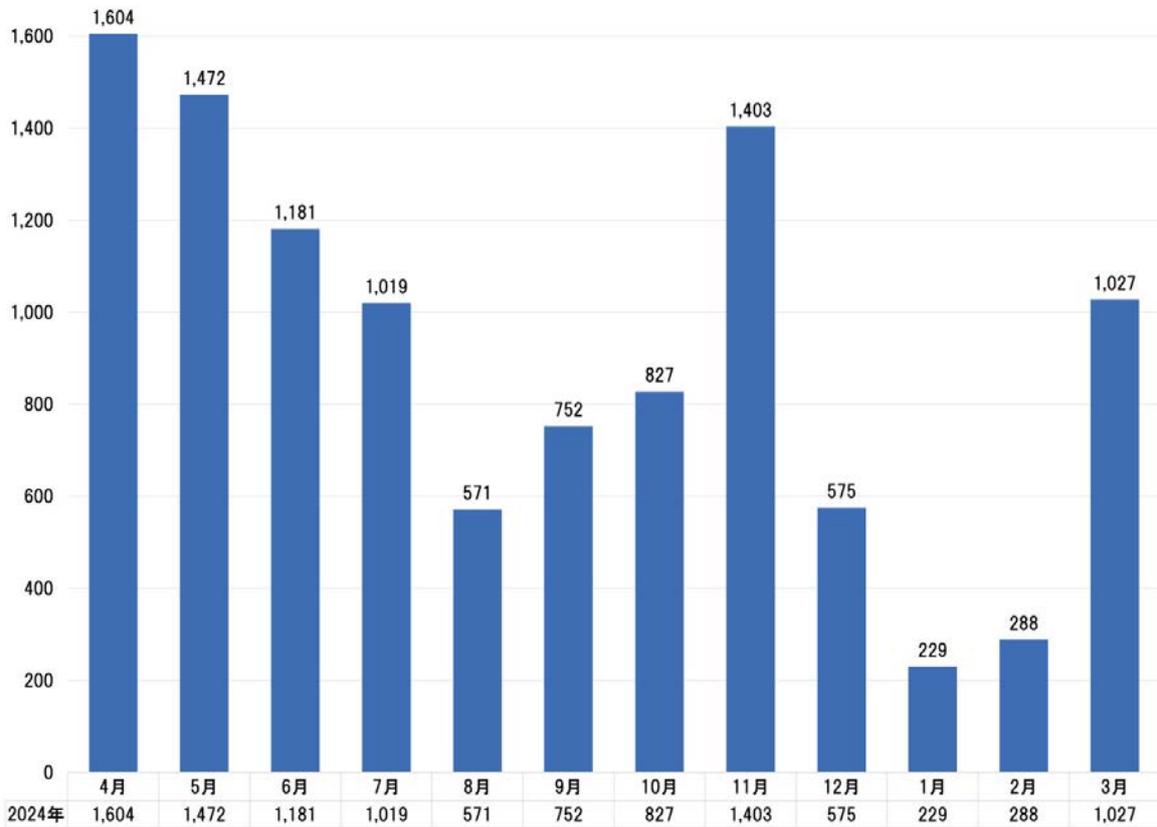


アウトカム実績指数 40 以上

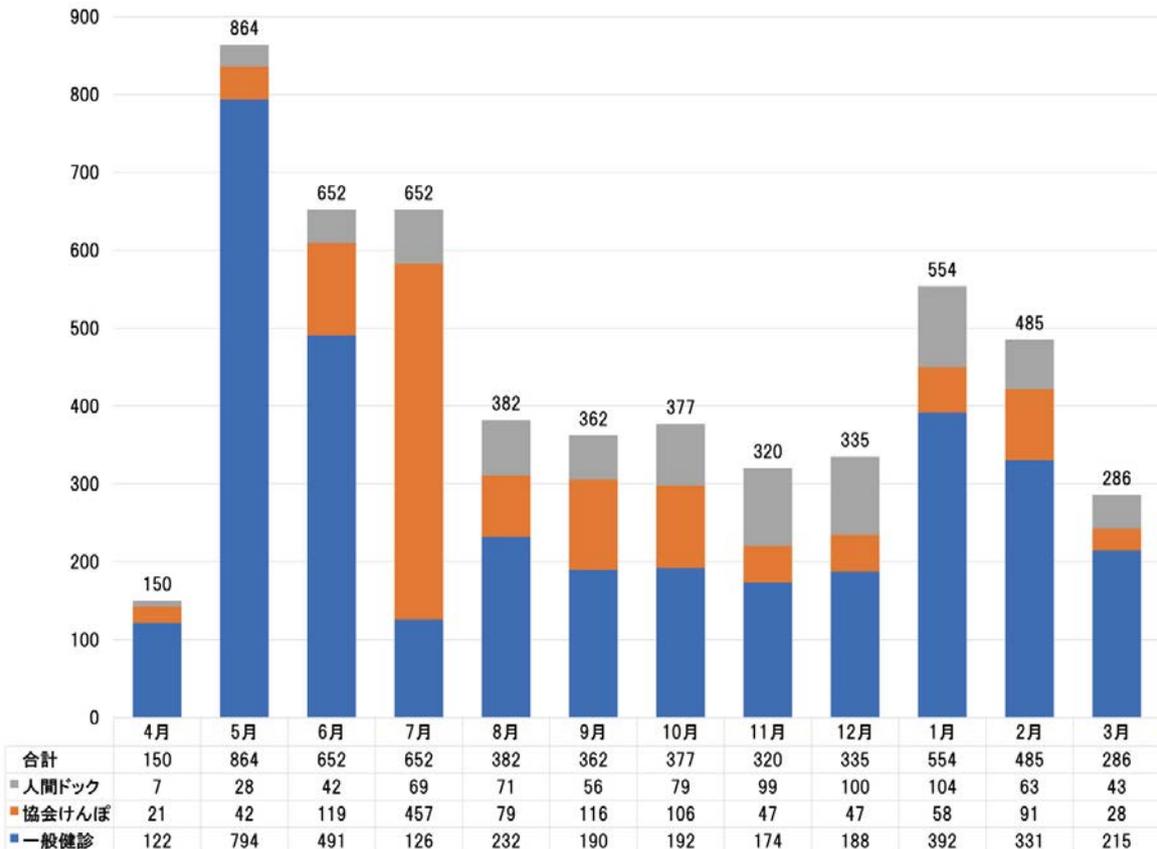


2024年度 トータルウェルネスセンター活動報告

巡回健診部門

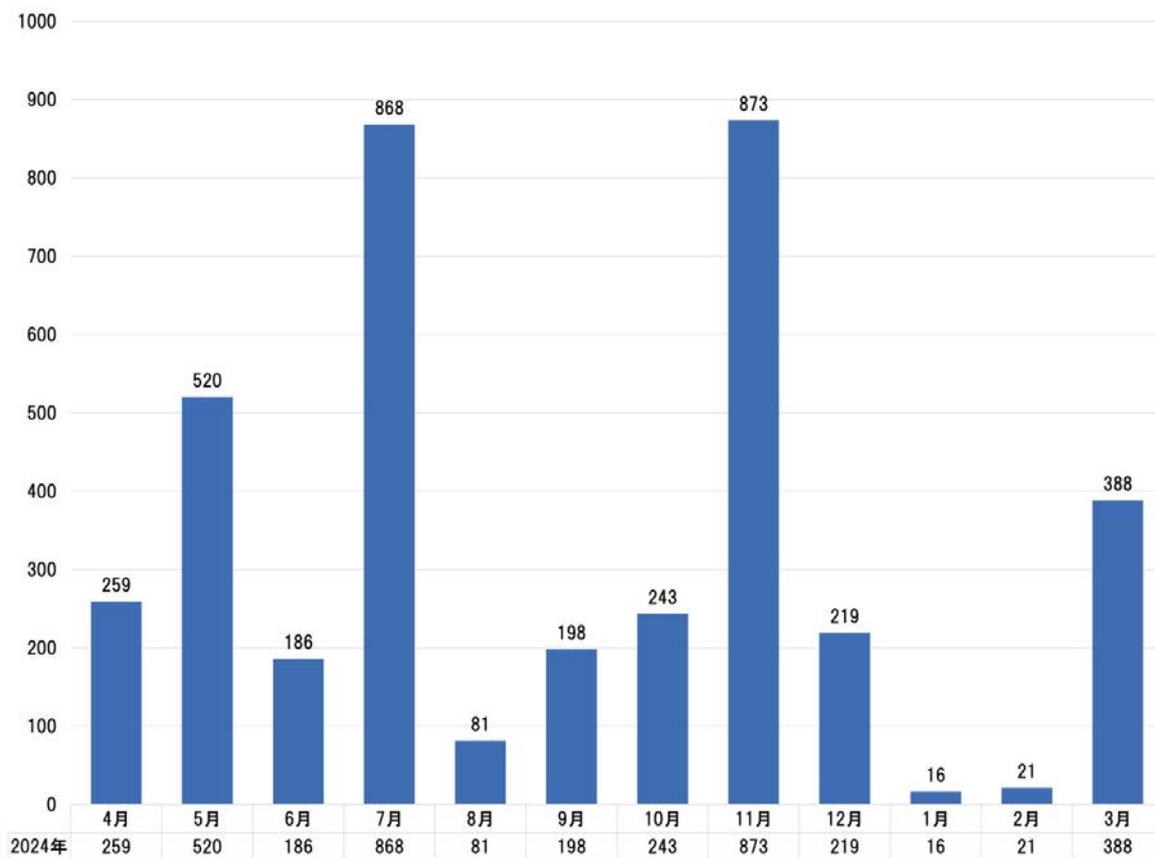


院内健診部門



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 統計

ストレスチェック



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 各種委員会

2024年度 委員会・会議 一覧

委員会名		開催日	目的
診療関係	診療情報管理委員会	第3金曜 (毎月)	診療録管理室の運営管理、診療録及び諸様式伝票類の検討等を行い、診療上の有効的効率的運営を図る
	給食運営委員会	第2月曜 (毎月)	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施する
	薬事審議会	第2金曜 (偶数月)	薬物療法の合理的発展を図る
	褥瘡対策委員会	第4月曜 (毎月)	褥瘡を予防することを目的とする
	身体抑制廃止推進委員会	第4木曜 (毎月)	身体抑制廃止へ向けて職員の意識向上を図る事を目的とする
	輸血療法委員会	第4月曜 (3ヶ月に1回)	院内における輸血に際し、安全かつ適正な輸血療法が出来るよう輸血療法に関する事項について審議する
	口腔機能向上委員会	第2水曜 (毎月)	口腔に関する現状を討議することで知識・実技の向上を図ることを目的とする
	地域包括ケア病棟運営委員会	第1火曜 (毎月)	地域包括ケア病棟業務に関わる他職種の連携・連絡を図る
	回復期病棟運営委員会	第1金曜 (毎月)	回復期リハビリ業務に関わる他職種の連携・連絡を図る
	トイトレ委員会	第3水曜 (毎月)	患者さんの排尿自立へむけて、排尿ケアチームで支援を行うことを目的とする
	コーディング委員会	第3金曜 (年に2回)	標準的な診療及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディングを行う体制を確保することを目的とする
	通所リハビリテーション	第1火曜 (毎月)	通所リハビリテーションの実績や問題点等の現状を把握し、円滑な運営を図る
	記録・クリニカルパス委員会	第2金曜 (毎月)	看護の質の向上を目指し、看護記録に関する検討を行い、その体制の整備を図る またクリニカルパスを作成し、恒常的に同一水準以上の医療を受けられるようにすることでQOLの向上など治療効果を高め、病院全体の医療向上に寄与すること
	診療管理会議	第3金曜 (毎月)	診療の質向上に取り組むとともに、診療に関する協議や周知を図ることを目的とする
医局会	第2・4金曜 (毎月)	医局運営に関する事項の決定及び周知を図ることを目的とする	
認知症ケアサポートチーム委員会	第3金曜	院内で発生した事例の検討や職員への認知症対応力向上を図ることを目的とする	
教育関係	個人情報管理委員会	必要時	患者さんや職員等に関する個人情報適切に取扱い、患者さんから信頼されることと診療情報の提供を適切に行うことを目的とする
	倫理検討委員会	第4火曜 (毎月)	倫理上問題となる症例への対応および倫理に関する教育・研修などにより、患者さん中心の医療を推進するために必要な事項を定める
	教育委員会	第2火曜 (毎月)	医療の知識、技術の向上を目的とする
	環境美化委員会	第4月曜 (毎月)	病院内外の美化に努めることを目的とする
	サービス向上委員会	第4火曜 (毎月)	患者さん・ご家族より寄せられたご意見・苦情・提案に関して病院として真摯に取組み、サービスの向上を目的とする
	情報管理委員会	第2月曜 (毎月)	情報管理業務の円滑な運営を目的とする
医療安全対策関係	医療ガス委員会	第1月曜 (年1回)	医療ガスの使用上の安全確保を目的とする
	労働安全衛生委員会	第3火曜 (毎月)	職員の安全と健康を確保することによって病院業務の円滑な運営を図る
	院内感染対策委員会	第4月曜 (毎月)	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	医療安全管理委員会	第1月曜 (毎月)	医療安全管理対策を総合的に企画、実施することを目的とする
	医療安全カンファレンス	毎週金曜	医療安全管理対策を実効あるものとするを目的とする
	看護部感染委員会	第4月曜 (毎月)	看護部の感染対策に対する現状を把握し、職員の感染対策に対する意識向上に向けた取り組みを目的とする。
	腰痛予防対策委員会	第4水曜 (毎月)	職場の労働安全衛生水準を向上させること

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 各種委員会

その他	病院運営会議	毎週月曜	良質で安全な医療サービスの提供と、安定的な経営の維持、問題解決を目指し病院の運営方針の決定を行う
	院内スタッフ会議	第3金曜 (毎月)	各部署の実績や連絡事項をはじめ、病院の運営方針など院内で決定された内容の伝達を目的とする
	医師・看護職員負担軽減検討委員会	第3金曜 (毎月)	医師・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する事項を審議する
	マナ美隊(接遇)	第2水曜 (毎月)	職員の接遇の向上に努めることを目的とする
	レク行事部会	第3水曜 (毎月)	季節にあった催しを患者様と共に取り組み、人とのふれあいを通して気持ちの向上や生きがい、コミュニケーションを目的とする
	機能評価委員会	第1金曜 (毎月)	機能評価機構の認定及びその更新を目的とする
	エコアクション委員会	第4水曜 (2ヶ月に1回)	エコアクション21認定及びその更新を目的とする
	未収金会議	第4月曜 (毎月)	病院の未収金発生を抑制するための院内の諸手続きを定め、個人未収金の減少を目的とした未収金管理の確立及び維持のために必要な事項を定める

院内研修会 開催状況

■全職員向け

月日	内容	講師	研修分類
4月	信頼関係を築く医療接遇のあり方	学研メディカルサポート eラーニングシステム	接遇
	障害者雇用		
5月	感染対策と基本を学ぶ！標準予防策とゾーニング	学研メディカルサポート eラーニングシステム	感染対策
	医療職として働くときのチームワークのあり方	学研メディカルサポート eラーニングシステム	新入職員向け
6月	心理的安全性の高い組織で取り組む転倒・転落対策 ～私が今日からできること～	学研メディカルサポート eラーニングシステム	医療安全
	口腔ケア	さこだ歯科	その他
7月	みんなでめざす 「ハラスメントのない職場」とは	学研メディカルサポート eラーニングシステム	その他
	酸素ボンベの取り扱いについて	サツマ酸素工業(株)	その他
	クレーム対応～二次クレームを予防するために～	学研メディカルサポート eラーニングシステム	新入職員向け
	スレディングシートについて	腰痛予防委員会	その他
8月	医療従事者が知っておくべき個人情報の適切な取り扱い方	学研メディカルサポート eラーニングシステム	個人情報
9月	禁煙について	株式会社Cure App	その他
	二次性骨折の予防のために！～骨粗鬆症のケアとFLS～	学研メディカルサポート eラーニングシステム	診療報酬
10月	交通安全講習	損保ジャパン	その他
11月	BCPは怖くない～3つの「落とし穴」に注意して理解を深めよう～	学研メディカルサポート eラーニングシステム	その他
12月	放射線診療従事者に必要な 診療用放射線の基礎知識と安全管理	学研メディカルサポート eラーニングシステム	医療安全
1月	臨床倫理入門～ともに納得できる意思決定のために	学研メディカルサポート eラーニングシステム	倫理
2月	高齢者虐待における病院の役割	学研メディカルサポート eラーニングシステム	倫理
	移乗動作について	腰痛予防委員会	その他
	排尿自立について	内田 洋介 小牧 むつみ	診療報酬
3月	個人防護服の取り扱いについて	村上 裕樹	感染
	認知症事例検討会	西別府 愛	その他
	医療者として知っておきたい「患者の権利」～相互理解のためのコミュニケーション～	学研メディカルサポート eラーニングシステム	その他

■看護部院内研究発表会

開催日：2025年1月22日

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 地域包括病棟における患者の不安や不満について
～入院中の不安や不満を把握し、退院支援へ繋げる～ | 5階病棟：松藤 湧貴
外来：奥村 由香里 |
| 2. 保健指導の実施件数増加のための外来での取り組み | |
| 3. 褥瘡発生要因・改善についての取り組み
～今後の院内発生への減少に向けた意識の変化～ | 6階病棟：堂込 さくら |
| 4. 回復期病棟におけるFIMについての理解度 | 3階病棟：西 沙由里 |
| 5. 糖尿病重症化予防のためのフットケアについて | 透析：増永 紀奈 |
| 6. 回復期病棟における病棟リハへの取り組み | 4階病棟：七夕 愛実 |

■介護部院内研究発表会

開催日：2025年1月27日

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 能力生かしてキラメク！私と仕事 ～マインドフルネス瞑想～ | 6階病棟：和田 博康 |
| 2. みんなで考えて作る業務 ～トークの活用～ | 5階病棟：今村 里奈 |
| 3. 介護計画・評価を期限内に実施できるための改善 | 4階病棟：山崎 百合絵 |
| 4. 回復期病棟移行による入浴業務の見直し | 3階病棟：川添 菜央 |

■第23回 院内研究発表会

開催日：2025年3月7日

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 法人車両安全運転管理の取り組みについて | 施設管理部：濱上 芳廣 |
| 2. 介護計画・評価を期限内に実施できるための改善 | 4階病棟：山崎 百合絵 |
| 3. グリーンケアがもたらす高齢者の精神的健康状態に与える影響
キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗：竹下 大貴 | |
| 4. 回復期病棟における栄養摂取が及ぼすADL向上の検証 | 栄養室：二宮 尚代 |
| 5. 糖尿病重症化予防のためのフットケアについて | 透析室：増永 紀奈 |
| 6. 退院支援における多職種連携 | 地域医療連携センター：沖園 綾 |

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 実習受入れ

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 実習受入れ

看護部

月 日	学校名	参加人員
R7.2月3日～2月21日	医療技術専門学校 2年	5名
11月11日～11月22日	医療技術専門学校 3年	4名
6月3日～6月21日	医療技術専門学校 4年	5名
7月12日	医療法人協会立看護専門学校 1年	10名
R7.1月27日～2月12日	医療法人協会立看護専門学校 2年	5名
R7.2月17日～3月5日	医療法人協会立看護専門学校 2年	5名
R7.1月22日～23日	神村専修学校 3年	4名
5月28日～6月21日	鳳凰高等学校 基礎課程 2年	5名
11月6日～11月28日	鳳凰高等学校 基礎課程 3年	5名
10月15日～11月1日	鳳凰高等学校 専門課程 1年	10名
5月7日～5月23日	鳳凰高等学校 専門課程 2年	10名
8月26日～9月12日	鳳凰高等学校 専門課程 2年	6名
		計 74名

リハビリテーション室

月 日	学校名	参加人員
4月15日～6月8日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科	1名
5月13日～7月6日	鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻	1名
5月13日～6月29日	南学園 鹿児島医療福祉専門学校 理学療法学科	1名
7月15日～9月6日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科	1名
7月22日～9月13日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	1名
7月22日～9月14日	鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻	1名
7月31日～8月2日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科	1名
8月5日～9月27日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 言語聴覚学科	1名
9月9日～9月13日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚学科	1名
9月16日～9月20日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	1名
8月19日～8月23日	神村学園専修学校 作業療法学科	1名
1月27日～1月31日	原田学園 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科	1名
2月10日～3月1日	鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科	1名
3月3日～3月8日	神村学園専修学校 理学療法学科	1名
		計 14名

栄養室

月 日	学校名	参加人員
8月16日～8月29日	鹿児島県立短期大学 生活科学科食物栄養専攻	1名

医療法人 玉昌会

JOY メディカルクリニック
介護医療院おはな

2024 年度玉昌会グループ年報の発刊にあたって

玉昌会 理事 濱田 浩志
JOY メディカルクリニック 院長
介護医療院おはな 院長



2024 年度 玉昌会グループ年報の発刊にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

介護医療院おはな並びに JOY メディカルクリニックは、2022 年 12 月 1 日に開設され、多くの方々のご協力とご支援を賜り、おかげさまで本年 12 月には開設 2 周年を迎えることとなります。新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残る中でのスタートとなりましたが、スタッフ一同が一丸となって尽力し、今日に至っております。

介護医療院は介護保険施設の一つであり、急速に進行する高齢化社会において、極めて重要な役割を担っております。2018 年の制度創設以来、施設数および入所者数は年々増加しており、今後ますますその必要性が高まることが予想されます。

とりわけ、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年問題、ならびに医療・介護分野における人材不足は深刻化しており、医療と介護の両面を支える介護医療院の存在意義は一層高まっていると感じております。

さて、2024 年は医療・介護・障害福祉のいわゆる「トリプル改正」の年となり、介護分野においては介護職員の処遇改善が図られました。しかしながら、他職種との賃金等を含めた待遇格差は依然として顕著であり、介護職の人手不足は依然として深刻な状況です。当施設におきましても、何とかやり繰りをしながら対応しているのが現状であり、これは社会全体で早急に取り組むべき重要な課題であると考えております。

また、社会全体としては物価上昇が続いており、特に米価の高騰は日本人の主食であることから、家計に大きな負担を与え、日常生活を圧迫しています。医療業界においては、診療報酬という公定価格による運営のため、物価上昇に応じて価格を自由に調整できず、厳しい経営環境に直面しております。引き続き内部努力を重ねてまいります。国全体としての危機感と対策が必要であると強く感じております。

国際的には、トランプ前大統領の再登場を含めた米国政治の動向が世界経済に大きな影響を与えており、相互関税の影響も含め、日本をはじめとする各国経済に混乱をもたらしております。さらに、世界各地では依然として戦争や紛争が絶えず、いまだ明るい展望を見出しにくい状況が続いています。国内外ともに憂慮すべき課題が山積し、不安定な時勢が続いております。

このような社会情勢の中にあっても、私たち医療・介護に携わる者は、その責務を全うし、引き続き医療・介護の一助となるべく、スタッフ一同で力を合わせて取り組んでまいります。

最後になりますが、2023 年度に賜りました皆様方の温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024 年度 医療法人玉昌会 JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療・介護サービスを提供します

《基本方針》

1. 患者さん・利用者さんの尊厳や権利を尊重した医療・介護を行います
2. 患者さんの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、全世代に対応した医療・介護・福祉サービスを含めた生活支援サービス提供を目指します
4. 『健康経営宣言』に則り、病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診事業や健康増進事業に取り組み、職員や地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます入力してください

《運営方針》

1. 患者さんの医療・介護の質の確保と安全に努めます
2. 慢性腎臓病（CKD）を中心とした腎疾患診療部門の充実を図ります
3. 健診事業による5疾病の未病・予防に取り組みます
4. 『健康経営宣言』に則り、療養・職場環境の改善に努めます
5. 人財の確保および育成に努めます
6. 地域共生社会の実現に取り組みます
7. 地域のニーズにあった病院機能の見直しを行います
8. 将来の病院機能を見据えた病床機能の再編に取り組みます
9. 加治木温泉病院の新築移転に向けての取り組みを進めます

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはなの沿革

- | | |
|-------------|---|
| 2022 年 12 月 | JOY メディカルクリニック開院
介護医療院おはな開院 病床数 60 床 |
| 2022 年 12 月 | 難病の患者に対する医療等に関する法律第 14 条第 1 項の規定による指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな） |
| 2022 年 12 月 | 生活保護法に基づく指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな） |
| 2022 年 12 月 | 診療・検査医療機関 指定（JOY メディカルクリニック） |
| 2023 年 1 月 | 労災保険指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック） |

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな 2024 年度概要

名 称 医療法人玉昌会 JOY メディカルクリニック
介護医療院おはな

所 在 地 〒899-5231

鹿児島県始良市加治木町反土 2156 番地 5

TEL (0995) 73-3356 FAX (0995) 62-0120 (JOY メディカルクリニック)

TEL (0995) 63-8889 FAX (0995) 62-0120 (介護医療院おはな)

【JOY メディカルクリニック】

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 院長 濱田 浩志

診 療 科 目 内科

社会保険等指定 保険医療機関、生活保護、労災保険、難病医療等指定医療機関、第二種
協定指定医療機関（発熱外来）

施 設 基 準 情報通信機器を用いた診療に係る基準、 外来感染対策向上加算、連携
強化加算、医療 DX 推進体制整備加算、外来・在宅ベースアップ評価料
(I)

【介護医療院おはな】

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 院長 濱田 浩志

療 養 床 数 60 床

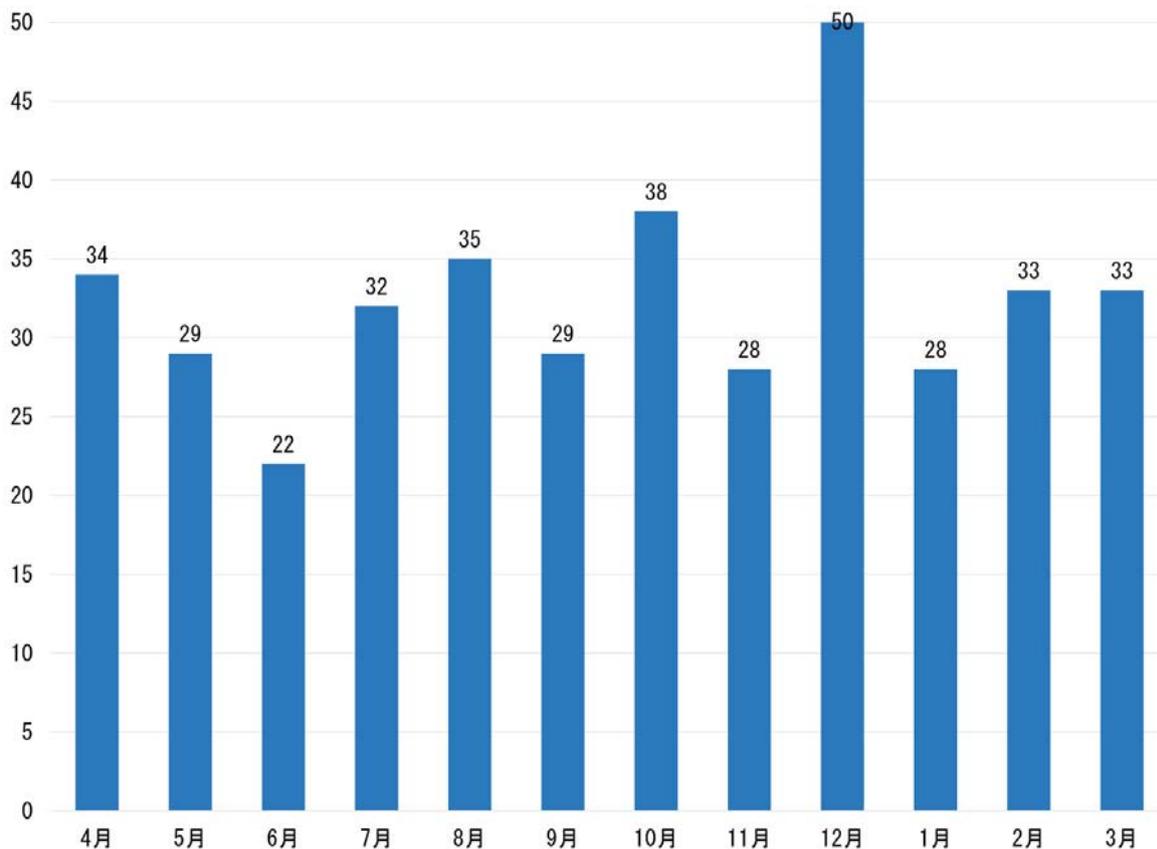
施 設 基 準

Ⅱ型介護医療院サービス費Ⅰ、夜間勤務条件基準 加算型Ⅳ、職員の欠員による減算の
状況 なし、身体拘束廃止取組の有無 基準型、安全管理体制 基準型、高齢者虐待防
止措置実施の有無 基準型、業務継続計画策定の有無 基準型、栄養ケア・マネジメン
トの実施、療養環境基準（廊下） 基準型、療養環境基準（療養室） 基準型、若年性
認知症入所者受入加算、栄養マネジメント強化体制、療養食加算、集団コミュニケーション療法、リハビリテーション提供体制 理学療法Ⅰ、作業療法、言語聴覚療法、その
他、リハビリテーション・口腔・栄養に係る計画の提出 理学療法 注7、作業療法 注
7、言語聴覚療法 注5、認知症短期集中リハビリテーション加算、排せつ支援加算、自立支援促
進加算、科学的介護推進体制加算、安全対策体制、高齢者施設等感染対策向上加算Ⅰ・
Ⅱ、生産性向上推進体制加算Ⅱ、サービス提供体制強化加算Ⅰ、介護職員処遇改善加算
Ⅲ、LIFE への登録

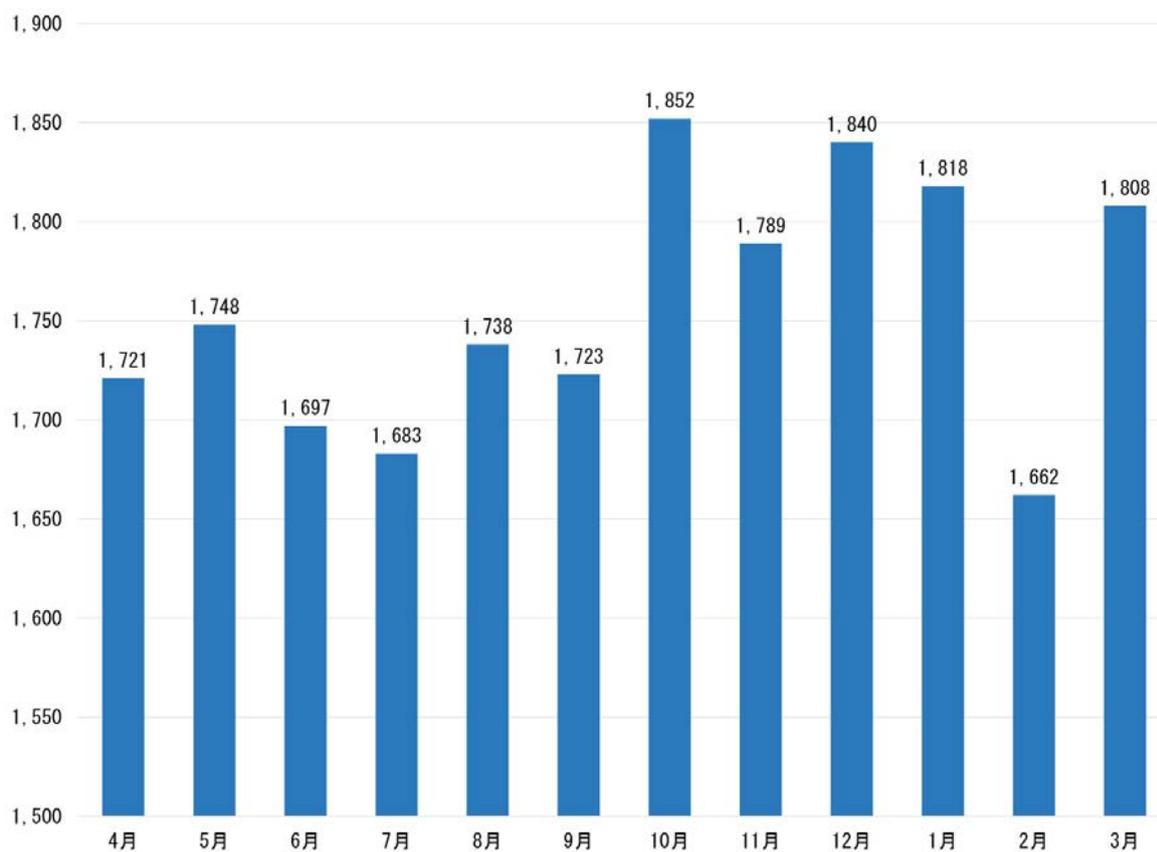
そ の 他

難病医療等指定医療機関、生活保護指定医療機関、不在者投票実施指定

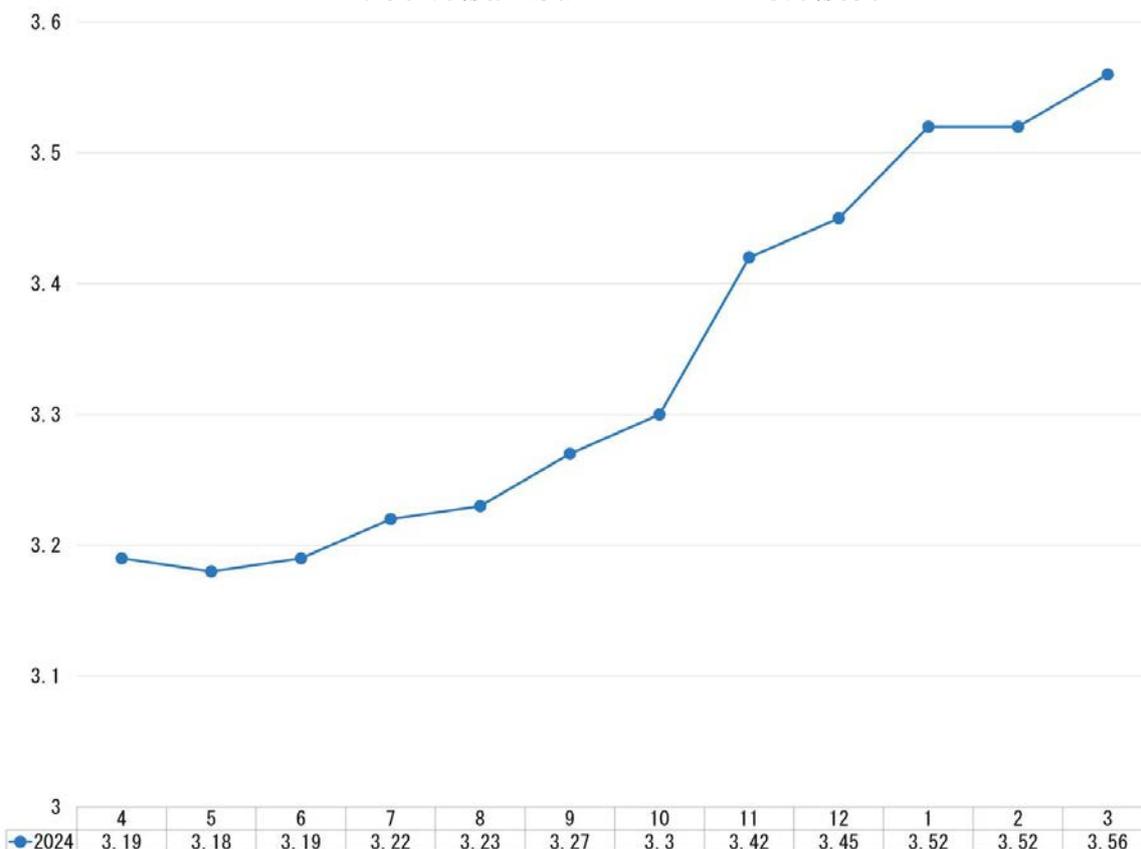
2024 年度 JOY メディカルクリニック 患者延数



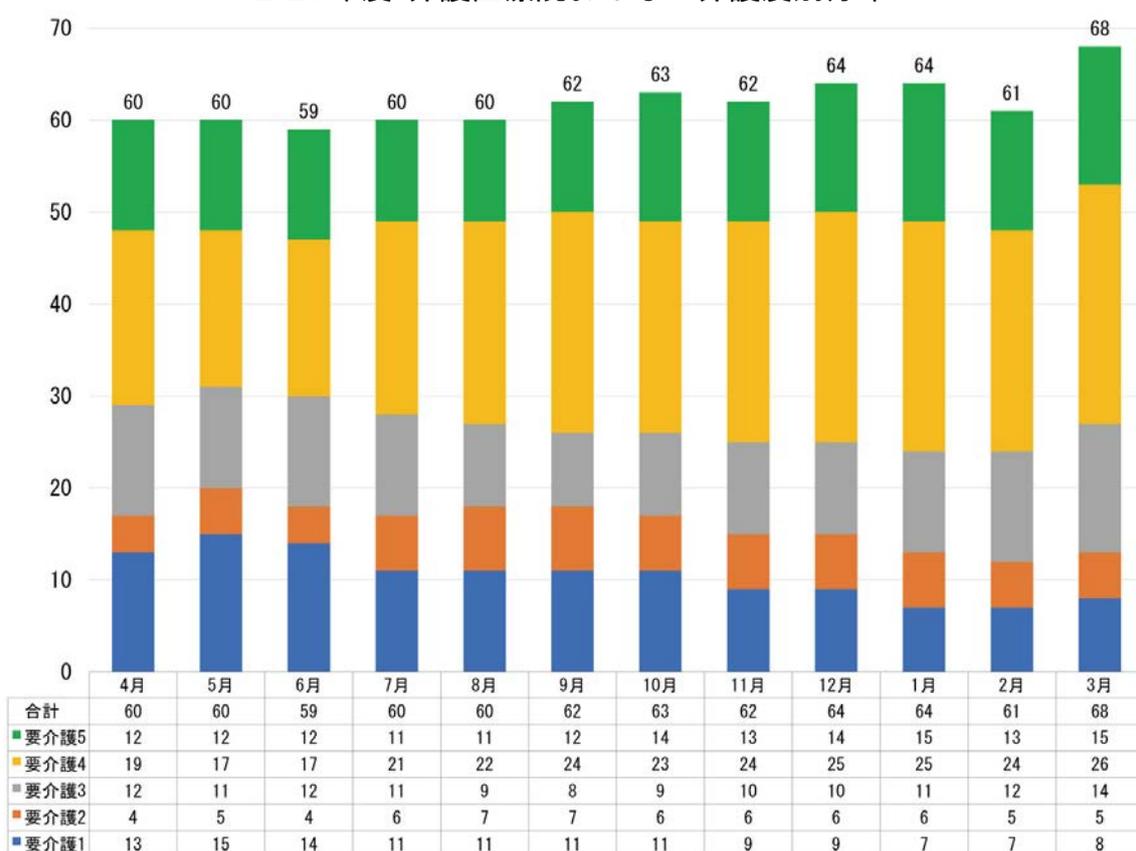
2024 年度 介護医療院おはな 入所者延数



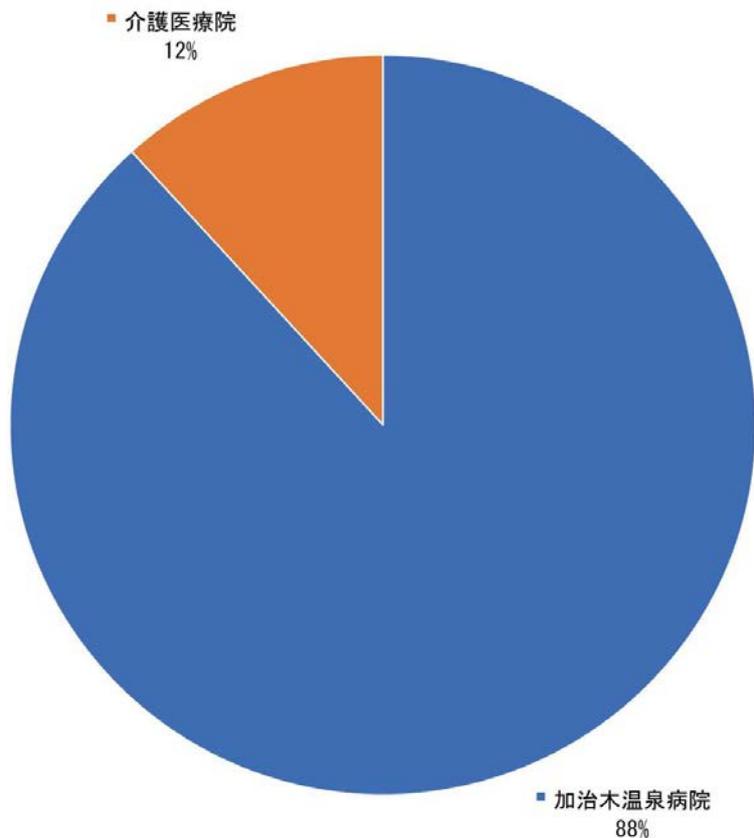
2024 年度 介護医療院おはな 平均介護度



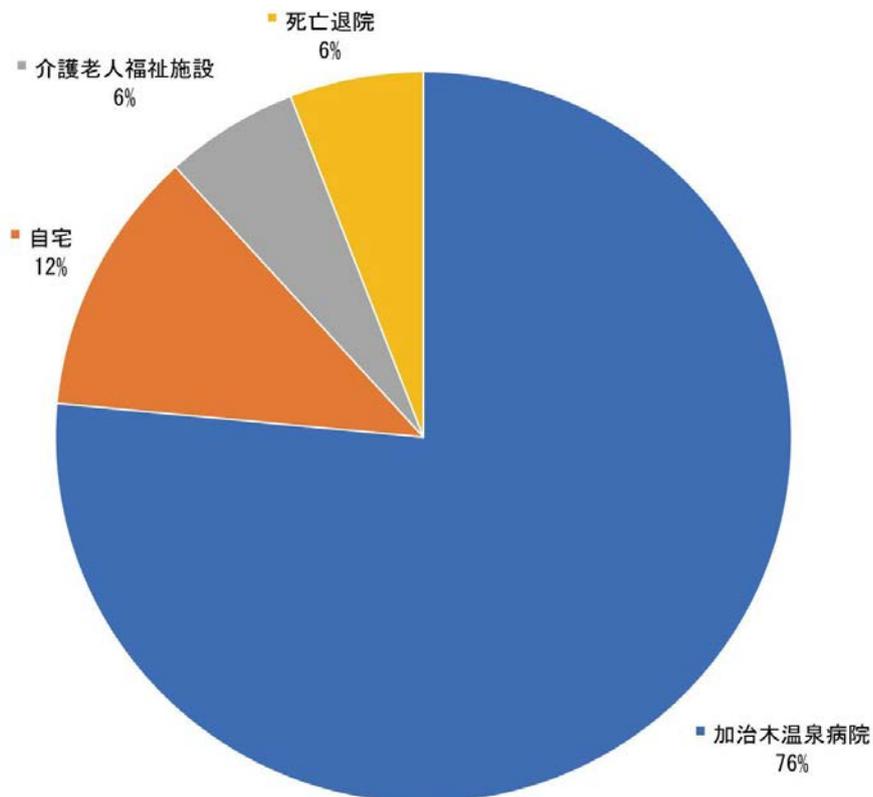
2024 年度 介護医療院おはな 介護度別分布



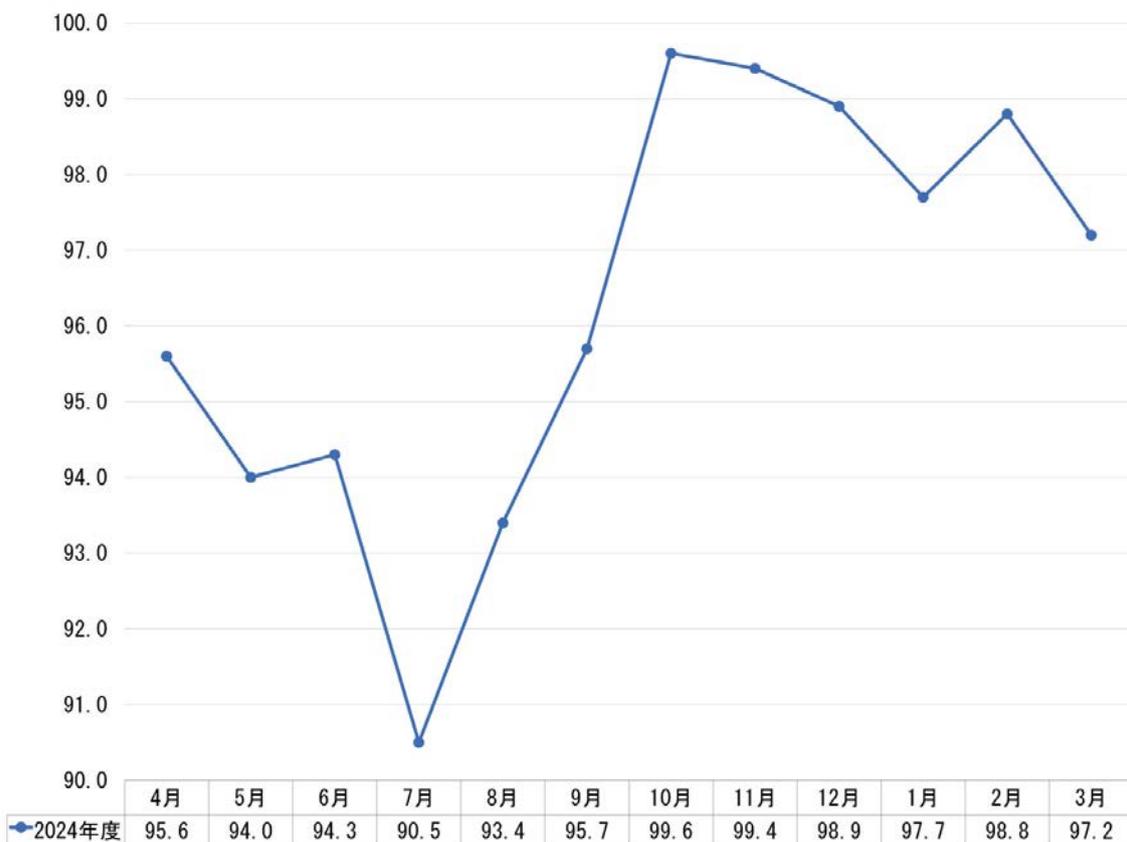
2024 年度 介護医療院おはな 紹介元別割合



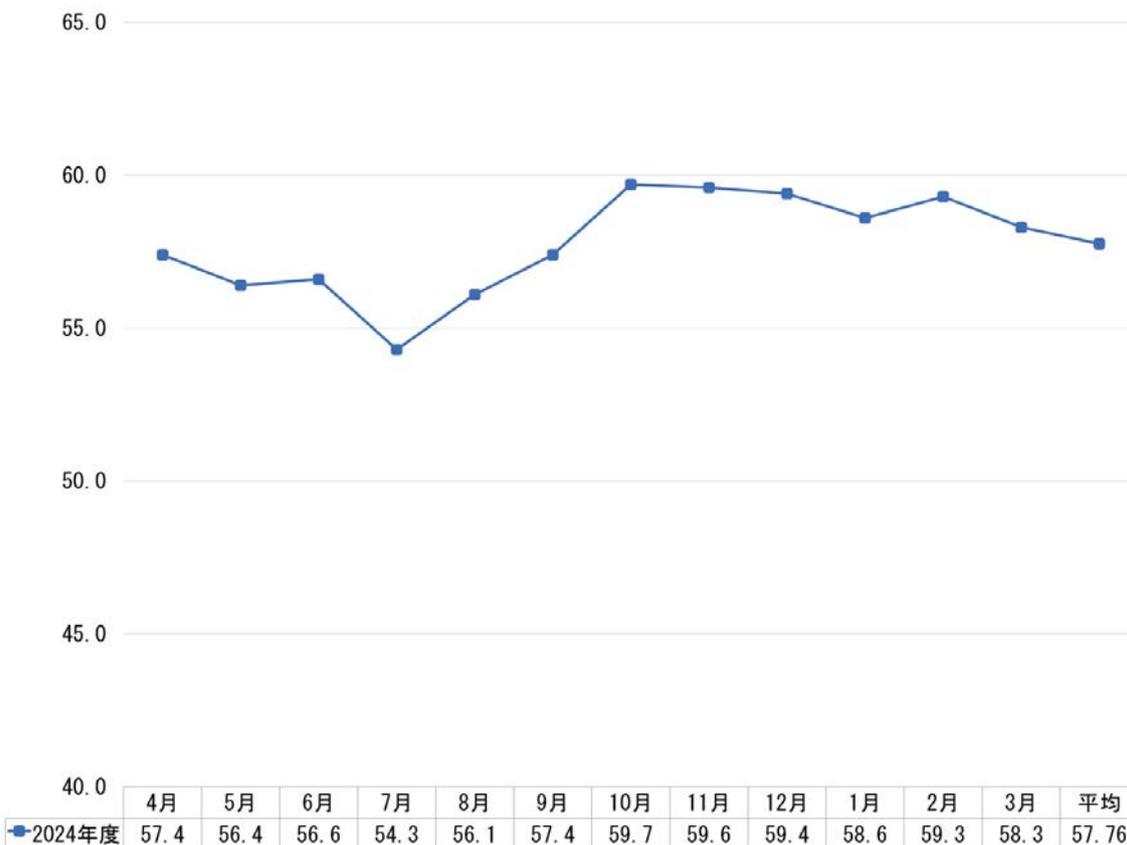
2024 年度 介護医療院おはな 逆紹介元別割合



2024 年度 介護医療院おはな 稼働率

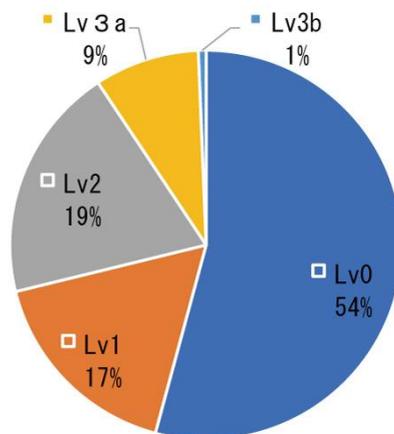


2024 年度 介護医療院おはな 平均入所者数



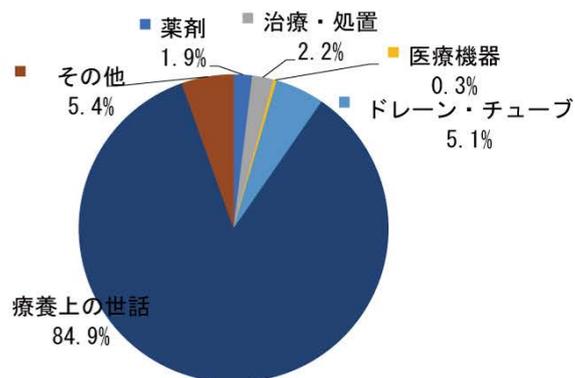
2024 年度 介護医療院おはな 事故レベル別件数

	件数
Lv0	169
Lv1	53
Lv2	61
Lv 3 a	27
Lv3b	2
Lv4	0
Lv5	0



2024 年度 介護医療院おはな 要因別発生件数

	インシデント	アクシデント
薬剤	6	0
輸血	0	0
治療・処置	3	4
医療機器	1	0
ドレーン・チューブ	16	0
検査	0	0
療養上の世話	244	21
その他	17	0



2024 年度 委員会・会議 一覧

	委員会名	開催日	目的
診療関係	栄養管理委員会	第2木曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施することにより円滑で適性な運営を図る
	口腔衛生管理委員会	第4木曜	口腔に関する現状を討議し、健全に維持するために職員の知識・技術向上を図ることを目的とする
	看護部記録委員会	第4木曜	看護記録について勉強会や監査を行い記録の充実を図る
教育関係	看護部教育委員会(合同)	3ヶ月に1回	看護職、介護職の知識・技術の向上と協同を目的とする
	看護部教育委員会(CW)	第1木曜	介護職の知識・技術の向上を目的とする
	看護部教育委員会(Ns)	第3木曜	知識・技術の向上、主体性と自主性のある看護職の育成
医療安全対策関係	褥瘡対策委員会	第2木曜	褥瘡を予防することを目的とする
	院内感染対策委員会	第4木曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	事故防止検討委員会	第3木曜	安全対策・事故防止に対する取り組みを行う
	身体拘束適正化検討委員会	第3木曜	身体的拘束等の適正化のための対策を検討し職員に周知徹底を図る
	虐待防止対策委員会	第3木曜	虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその発生を確実に防止するための対策を検討し、職員に周知徹底を図る
その他	介護医療院おはな運営会議	第4木曜	良質で安全な医療・介護サービスの提供と、安定的な経営の維持、問題解決を目指し介護医療院の運営方針の決定を行う
	生産性向上推進委員会	3ヶ月に1回 第4木曜	利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減を図る取組の改善を図る

医療法人 玉昌会

在宅事業

2024 年度 医療法人玉昌会 在宅事業

《経営理念》

「いつまでも健やかに・・・

ー私たちの願いです。」

「貴方らしく暮らすために・・・私たちは地域に貢献します。」

在宅事業の概要

名 称 医療法人玉昌会 在宅事業
開設者 高田 昌実

◇◇◇ 鹿児島地区 ◇◇◇

居宅介護支援事業所キラメキ
鹿児島市荒田1丁目16-3 YU FIRST BLDG. 4階 Tel.099-203-0172 1999年10月開設

訪問看護ステーション まむ鹿児島
鹿児島市堀江町6-3 Tel.099-248-8450 2012年7月開設
※まむ鹿児島はキラメキテラスヘルスケアホスピタルへ

キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗
鹿児島市高麗町22-16 Tel.099-230-7122 2021年3月開設

◇◇◇ 始良地区 ◇◇◇

居宅介護支援事業所 むく杜
始良市加治木町反土2156-5 Tel.0995-62-0106 1999年10月開設

訪問看護ステーション まむ
始良市西餅田202-3 Tel.0995-55-4649 2008年3月開設

住宅型有料老人ホーム おはな別館
始良市西餅田202-3 Tel.0995-65-2040 2011年6月開設

看護小規模多機能型居宅介護 お福
始良市西餅田202-3 Tel.0995-65-1234 2021年10月開設

在宅サービス事業部内研修

在宅事業内各事業所において、独自の取り組みや研究を行っており、年に一度、両地区で研究発表会を開催しています。

【各地区でコメディカル発表に参加】

○会 場：鹿児島地区（キラメキテラスヘルスケアホスピタル）
始良地区（加治木温泉病院）

≪演 題≫始良地区

A・B事業所協働の看取り対応について
～事業所間兼務業務を通して見えてきたこと～
看護小規模多機能型居宅介護 お福・有料老人ホームおはな別館

≪演 題≫鹿児島地区

「グリーンケアがもたらす高齢者の精神的健康状態に与える影響」
看護小規模多機能型居宅介護 キラメキテラス 麗

在宅勉強会

事業部内の勉強会も月1回のペースで開催。今期は以下のテーマで開催しました。

○主 催：在宅事業教育委員会

○実施日：毎月1回、定例的に実施

○対 象：在宅事業の職員

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施判断

【鹿児島地区・始良地区内容は順不同】

開催月	テーマ
4月	研究発表への取り組み方
5月	ハラスメント研修
6月	緊急時の対応（心臓マッサージ、AEDの使用方法について）
7月	感染シミュレーション
8月	認知症について
9月	食中毒予防について
10月	事業所内BCP訓練
11月	感染予防（インフルエンザ、ノロウイルス）
12月	感染シミュレーション
1月	身体拘束について
2月	高齢者虐待について
3月	接遇について

社会福祉法人 幸友会

社会福祉法人幸友会 かずみ保育園

○法人理念

B e H A P P Y

地域に愛され、地域に必要とされ、関わる全ての人々を幸せに導く法人を目指します。

○保育理念

乳幼児期の体験は一生の宝物

「子どもの限りない可能性を大切に」

○保育目標

子どもの成長を支える3つの約束

- 知・・・生きる力
- 徳・・・感謝の心、素直な心
- 体・・・元気に過ごせる体、基本的な生活習慣の自立

○保育方針

「豊かな人間性をもった、子どもを育成致します」

新保育指針の基に多様な保育ニーズに答え、より良い環境の中で充実した保育に専念していく所存でございます。

子どもはすばらしく、生きる才能を持っており、乳幼児期は特に生涯にわたる人格形成の基礎を培う、極めて大切な時期であります。

和やかな、家庭的な、楽しい雰囲気の中で子どもの発達段階に合わせ、自主性を大切に一人ひとりをよく見つめ、それぞれの個性（長所）を伸ばし、健康な体・豊かな心・創造力・思考力を育成していきたいと思っております。

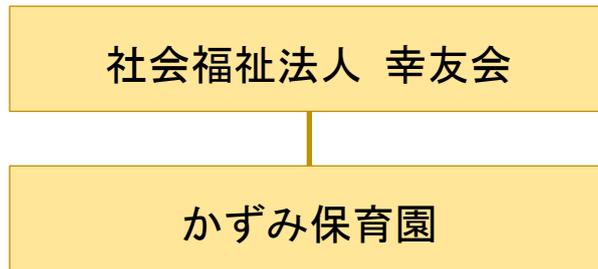
ご家庭で出来ないことを、私共で少しでもサポートしたいと考えております。

「心」のある保育をモットーに、子どもたちの健やかな成長と幸せを心から願っております。

○職員行動指針

他者を理解し、今ある環境に感謝する
私たちはこの指針を全職員の共通の目標とします

社会福祉法人幸友会 組織図



かずみ保育園の沿革

- 1979年 4月 社会福祉法人幸友会 かずみ保育園 開園 定員 60名
- 1990年 5月 保育にスイミングを導入
- 2001年 4月 保育に空手導入
- 2002年 4月 乳幼児専門保育 エミーズハウス 開設
- 2003年 6月 子育てサロン ひまわり 開設
- 2004年 2月 創立 25周年を記念してチャリティーリズム発表会を加音ホールで行う
- 2006年 11月 保育に子どもヨガを導入
- 2006年 12月 保育に硬筆を導入
- 2006年 12月 保育にカードあそびを導入
- 2010年 3月 加治木町社会福祉協議会より保育活動で行ってきた 1円献金の寄付に対し感謝状を頂く
- 2011年 3月 かずみグラウンド 駐車場整備
- 2014年 4月 虫歯ゼロを目指し フッ化物洗口を導入
- 2014年 5月 保育に英語あそびを導入
- 2014年 10月 大規模災害想定避難訓練 実施
- 2015年 4月 保護者向け メール配信システム導入
- 2015年 6月 事務所側エントランス整備
- 2015年 8月 かずみサマーキッズスクール開催（夏期休みに伴う学童保育）
- 2015年 8月 保育園正門扉整備
- 2015年 12月 かずみウィンターキッズスクール開催（冬期休みに伴う学童保育）
- 2016年 8月 コンビネーション遊具購入
- 2018年 5月 保育に言葉の教室導入（加治木温泉病院との連携）
- 2019年 4月 園長・副園長に医療福祉従事者を配置し、チーム保育の実践
- 2019年 9月 幼児教育・保育の無償化に関する説明会実施
- 2019年 10月 MBCラジオ「朝のモーニングスマイル」収録
- 2020年 1月 令和元年度 第3回 始良市幼保小連携研修会（加治木幼稚園ブロック）
公開保育にて近隣の小学校・保育園・幼稚園職員来園
- 2020年 9月 保育に運動の教室導入（ウェルビークラブとの連携）
- 2020年 10月 保育にプログラミング（ゲーム）導入
- 2021年 3月 積み木の贈呈式実施（株）浪漫 よかあんべさんより
- 2022年 1月 MBCラジオ「朝のモーニングスマイル」収録
- 2022年 3月 事務所横フリースペース改装
- 2023年 3月 かずみグラウンド人工芝スペース作成
- 2023年 7月 「かごしま健康企業宣言」参加
- 2024年 3月 健康経営優良法人 2024（中小規模法人部門）認定
- 2025年 1月 スポーツエールカンパニー2025 認定
- 2025年 3月 健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）ネクストブライト 1000 認定

かずみ保育園の概要

名 称 社会福祉法人幸友会 かずみ保育園

所在地 〒899-5231

鹿児島県始良市加治木町反土 1420 番地 1

Tel 0995-62-0657

Fax 0995-62-0659

E-Mail kids-world.kazumi@apricot.ocn.ne.jp

URL <http://www.kazumihoikuen.com>

園児定員	60 名	クラス数	6 クラス (年齢別)
開所時間	7:00am~6:00pm	延長保育	6:00pm~7:00pm

外部指導

〈こどもヨガ〉

- 正しい呼吸法を身につけ 体のバランスを整えることで、集中力が育ちます。

〈スイミング〉

- 水に親しむことで水への恐怖心をなくし、また 専門のスタッフの指導により、正しい泳法を学ぶことができます。

〈英 語〉

- ネイティブの外国人講師によるレッスンで、英語の正しい発音や基礎を身につけ、グローバルに羽ばたく子どもを育てます。

〈空 手〉

- 空手を通し、礼儀作法はもちろんのこと、たくましい体と心も育てます。

〈言葉の教室〉

- 言語聴覚士による正しい言葉の発音と、使い方等の基礎を学び育てます。

〈運動の教室〉

- フィットネスクラブのインストラクターが正しい体の使い方を学びます。

かずみ保育園 職員研修

◆園内研修

開催日	研修内容	参加人数
6月8日	感染研修	14
9月19日	医療的ケア児受け入れに対する心構え	13
10月17日	接遇研修	14
12月19日	AED研修	14

◆その他外部参加研修一覧

開催日	研修会名	主催	参加人数
8月22日	子どもたちの生きる力を育む遊び	鹿児島県教育委員会	1
9月4日	応急処置、感染予防研修会	鹿児島県保育連合会	1
9月18日	食育・アレルギー対応	鹿児島県保育連合会	1
11月9日	実践研究発表大会	霧島始良伊佐保育連合協議会	2
11月14日	始良市保育協議会視察研修	始良市保育協議会	2
1月11日	始良市における障害者の福祉の現状報告	始良市機関相談支援センター	1
1月27日	乳児保育	(株)ポピンズプロフェッショナル	1
2月4日・7日	保健衛生・安全対策	鹿児島県	1
3月4日	育て支援・保護者支援	(株)ポピンズプロフェッショナル	1
3月10日	障害児保育に関する現状と課題	鹿児島県	1

2024年度 主な年間行事

4月

入園式、春の遠足

5月

子どもの節句、前期園児健診

6月

運動会、歯科検診 消防立ち合い避難訓練

7月

七夕会、スペシャル保育(あお組)

8月

夏祭り

9月

十五夜会

10月

後期園児健診 保育参観懇談会

11月

秋の遠足、

12月

発表会、クリスマス会 餅つき

1月

鏡開き

2月

節分豆まき、

記念写真撮影 保護者懇談会

3月

雛祭り、お別れ遠足、卒園式

お皿作り(あお組)

毎月

誕生会、避難訓練、英語教室、空手教室、ヨガ教室、言葉の教室、運動の教室 スイミング



十五夜会



スペシャル保育



運動会



七夕



クリスマス会



遠足



リズム発表会



卒園式

株式会社 JOY

2024年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

株式会社JOY 代表取締役 高田 和美



2024年度も関係各位、皆様方には大変お世話になり誠に有難うございました。

皆様の多大なるご支援、ご尽力とご理解により、2024年度も無事に各事業部の運営を継続できましたこと、心より感謝申し上げます。

本年度、弊社は設立22年目を迎えることとなりました。創業以来、「すべての出会いを大切に」という想いのもと、地域に根ざした多様な事業を展開してまいりました。

その歩みの中では、街の小さなお教室をコンセプトとするカルチャー教室の運営に始まり、介護事業や地域交流センター、病院内売店・院内清掃・院内ギャラリーといった生活に密着したサービスの拡充を図って参りました。2017年には新事業として「ジョイタウンプロジェクト」が始動し、健康寿命の延伸に向けた社会課題の解決を目指す、フィットネスクラブや温浴施設、多目的貸しホールの運営を展開してまいりました。

こうした事業の根底にあるのは、弊社の理念「Make Your JOY」です。ご利用者様だけでなく、社員、地域社会すべての関係者にとって、“喜びや幸福につながるか”を判断基準としながら、一つひとつの取り組みに真摯に向き合ってきました。

この理念に共鳴し、ともに歩んでくださる職員の皆様、そして外部から支えてくださるステークホルダーの皆様の存在こそ、私たちの最大の財産であり、未来への希望でもあります。改めまして、これまでのご厚情に心より感謝申し上げます。

2025年度の弊社事業所の共通テーマは「一歩先のアクション」です。

現代の社会環境は日々変化し、複雑さを増しています。想定外の出来事や課題に直面することも少なくありませんが、そうした局面においてこそ、私たち一人ひとりの“あと一手”の行動が、結果に大きな違いをもたらします。

「一歩先のアクション」とは、決して大きな挑戦や華やかな成果だけを指すものではありません。ちょっとした気配りや声かけ。少し早めの準備。周囲の状況に気づく目線。その“小さな一手”の積み重ねが、組織の質を高め、信頼を育む礎になります。

職員ひとりひとりの行動が、JOYという組織の風土を創り、地域社会の信頼につながっていくことを意識しながら、より良いサービスの提供、健全な組織づくりを皆様と共に進めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、安心・安全・信頼ある事業活動を通じて、地域に愛され、必要とされる組織を目指し、社員一同一層の精進を重ねてまいります。

本年度も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

株式会社 JOY

経営理念

Make Your JOY

「あなたに会えてよかった・・・」と喜んで頂けることが私たちの喜びです。
私たちはそんな出会いの場とサービスを提供することを、もっとも大切な使命と
こころえています。

行動指針（姿勢、行動、挑戦）

1. 五つの出会いに、丁寧に向き合います。
2. お互いを敬い、学び合う相互理解の精神をモットーに出会いを大切にします。
3. いつも笑顔・身だしなみ・美しい言葉づかい・立ち居振る舞いに真心をこめてお
応えします。
4. 喜ばれるサービスの為に、日々学び研鑽します。

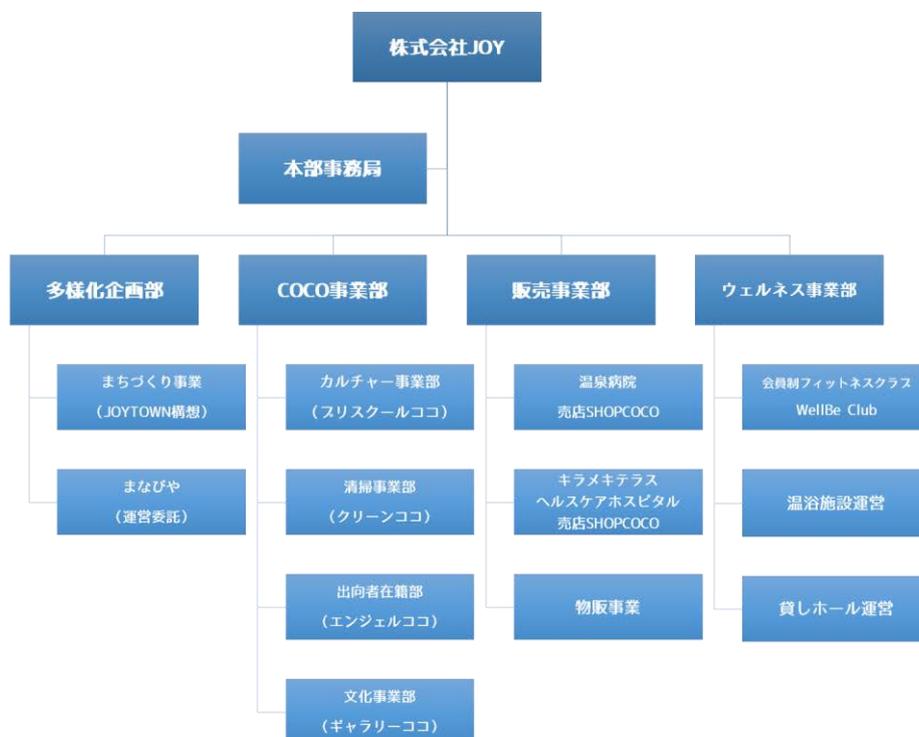
Important Things ～五つの出会い～

1. JOYとお客様の出会い
2. JOYと社員との出会い
3. 社員とお客様との出会い
4. お客様とお客様の出会い
5. 社員と社員の出会い

事業内容 ～持続可能な“wellness”環境の創出～



組織図



株式会社 JOY 各事業所の概要

COCO事業部 (Community・Communication)

〈カルチャー事業〉

街の小さなお教室 プリスクール・ココ

鹿児島市大黒町 1-3-8F TEL099-227-5535 2004年5月 開設

〈ギャラリー事業〉

ギャラリー・COCO

鹿児島市新町 5-19 TEL099-227-5535 2006年4月 開設

〈清潔環境応援隊〉

クリーン・COCO

鹿児島市新町 5-19 TEL099-227-5535 2009年10月 開設

〈業務サポートチーム〉

エンジェル・COCO

鹿児島市新町 5-19 TEL099-227-5535 2010年8月 開設

販売事業部

〈売店事業〉

加治木温泉病院 売店SHOP・COCO

始良市加治木町木田 4714 TEL0995-62-0001(内線 252) 2007年8月 開設

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 売店SHOP・COCO

鹿児島市高麗町 43番30号 TEL099-203-0727 2021年2月 開設

ウェルネス事業部

〈会員制フィットネスクラブ事業 / 温浴施設・多目的貸しホール運営〉

WellBe Club (ウェルビークラブ)

始良市東餅田 1181 TEL0995-65-2020 2017年11月 開設

2024 年度トピックス

■Global Wellness Day、ミニマルシェ開催



■ななほし保育園 親子運動教室



■ウェルFes!開催



■玉昌会グループ『ウェルネス フェスタ 輪』開催



■ WellBe Club アニバーサリーキャンペーン 特別プログラム「インサイドフローヨガ」、医療法人玉昌会 × WellBe Club キッズホスピタル、特別ステージショー開催



■ みんなの水辺サポート 推進事業の実施 別府川沿い防波堤清掃（ボランティア活動）



■ JAZZ LIVE 和田明・松本圭使



■ シルバーフェア参加（地域住民への健康指導の実施）



■ 「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門（ネクストブライト 1000）」）認定



■ 「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門（ネクストブライト 1000）」）認定



玉昌会グループ 2024年度 補足資料
(2024年4月1日～2025年3月31日)

発行日 2025年9月

発行者 医療法人玉昌会 理事長 高田昌実
鹿児島県鹿児島市泉町2番3号そうしん本店ビル4F
TEL 099-226-8036
FAX 099-226-8874